



平成29年11月30日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市山田地域整備協議会
会長 村上 曙生



嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について

平成29年6月30日付け、29嘉地第158号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本協議会において慎重に協議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、協議の資料等については、別添「協議会参考資料」の通りです。

記

【協議結果】

- 1 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
 - ・ 支所設置付近である山田生涯学習館や近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを目標に地域整備を行うこと。
 - ・ 子育て、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備を行うこと。
- 2 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること
 - (1) 整備方針について
 - ・ 山田庁舎については、建物の老朽化や耐震性を考慮し、除却することを前提とした活用を検討すること。
 - ・ 活用については民間譲渡区画として、分譲宅地や商業、高齢者用施設等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図ること。
 - ・ 公募がなかった場合は、分譲宅地や多目的広場、高齢者用施設等を想定した整備等を検討すること。
 - (2) 支所のあり方について
 - ・ 支所は山田生涯学習館と連携できるよう、雨避けを設置するなど容易に行き交いできることや、多目的トイレを共用するなど相互に補完できる施設を検討すること。

- ・ 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員１５人（正規職員数は１０人）が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- ・ 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- ・ ユニバーサルデザインに準じた、市民の利用しやすい支所とすること。

3 その他附帯意見

- ・ 定住促進に向け、交通利便性の向上を図ること。
- ・ 支所設置の際は近隣住民に十分配慮すること。
- ・ 支所設置に伴い減少する駐車場については、周辺施設との連携活用を検討すること。
- ・ 旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。

【協議会経過及び開催状況】

(1) 第1回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年6月30日(金) 19:00~20:30

各地域整備協議会と合同会議を実施、その後山田地域整備協議会を開催した。

<協議概要>

委員へ委嘱書の交付を行った。村上会長及び山藤副会長が選任された。
会長及び各委員に諮問を行い、スケジュールや協議内容の通知を行った。

(2) 第2回 嘉麻市山田地域整備協議会(合同視察)

日時 平成29年7月27日(木) 8:30~17:00

各地域整備協議会合同で熊本県玉名市に視察を行った。

<視察内容>

- ・玉名市文化センターで玉名市公共施設マネジメントの取組状況について説明を受け、質疑応答を行った。
- ・天水地域の視察。天水支所や公民館等を天水保健センターふれあい館へ機能移転する等の説明を受け、質疑応答を行った。
- ・横島地域の視察。横島支所、公民館、保健福祉センターが同一の敷地内に建設されており、現状についての説明を受け、質疑応答を行った。
- ・玉名市新庁舎の見学。議場で新庁舎建設の説明を受け、4階から1階まで下りながら各階の説明を受け、質疑応答を行った。

(3) 第3回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年8月4日(金) 19:00~20:50

<報告事項>

- ・第2回 嘉麻市地域整備協議会合同視察の報告。
- ・まちづくりの将来像に関する市民説明会の報告。

<協議事項>

- ・資料5について

⇒支所のあり方や機能について協議を行った。

- ・諮問について

⇒高齢者に目を向けた対応を検討してもいいのではないかといった意見や、山田のいいところを意識した跡地の利活用や、新しい山田らしさを見出したシナリオ作りが必要ではないかといった意見が出た。

(4) 第4回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年9月1日(金) 19:00～20:20

<協議事項>

- ・第1回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・支所の位置について協議を行った。

⇒山田生涯学習館敷地の案で概ね決定し、その他案との比較をすることとした。

- ・山田庁舎跡地の利活用について協議を行った。

⇒山田庁舎については全委員、除却で合意した。

⇒跡地活用の方向性については次回会議で決定することとした。

(5) 第5回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年10月6日(金) 19:00～19:45

<報告事項>

第2回 嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議の報告。

<協議事項>

- ・第3回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・支所の位置及び具体的な利活用について協議を行った。

⇒協議会案は山田生涯学習館横に決定した。

⇒山田生涯学習館と連携できるような工夫をしてほしい。

- ・庁舎敷地の具体的な利活用(案)について

⇒庁舎敷地の利活用は民間活力を活用することで一致した。

(6) 第6回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年11月2日(木) 19:00～20:10

<協議事項>

- ・第4回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・嘉麻市地域整備基本計画(案)等に関する答申について(案)

⇒内容は概ね合意し、修正を行った後各委員に配布することで一致した。

(7) 第7回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年11月30日(木) 19:00～19:30

<協議事項>

- ・第5回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

<答申>

- ・村上会長より市長へ答申が行われた。

【協議会委員名簿】

区 分	団 体 名	氏 名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井 原 徹	
2号委員	山田地区行政区長会	村 上 曙 生	会長
	山田地区行政区長会	山 藤 やす子	副会長
	嘉麻市教育委員会	佐 竹 正 利	
	嘉麻市 PTA 連合会	松 岡 広 樹	
	株式会社 福岡銀行	石 崎 聖 尚	
	嘉麻商工会議所	白 金 聖 臣	
	嘉麻市観光まちづくり協会	廣 瀬 公 彦	
	嘉麻市子ども会指導者連合会	伊 藤 文 聡	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	深 町 晴	
3号委員	公募委員	古 賀 稲 子	
	公募委員	高 倉 香 代 子	

山田地域整備協議会

参考資料

目 次

- 資料 0 1 委員名簿
- 資料 0 2 条例・規則
- 資料 0 3 事務フロー
- 資料 0 4 スケジュール
- 資料 0 5 山田地域整備基本計画（案）
- 資料 0 6 第 2 回 嘉麻市地域整備協議会合同視察報告書
- 資料 0 7 まちづくりの将来像に関する市民説明会の結果報告書
- 資料 0 8 諮問書
- 資料 0 9 年齢階級別人口
- 資料 1 0 山田市福祉のまちづくり整備基本計画について
- 資料 1 1 支所の位置
- 資料 1 2 山田庁舎跡地の利活用について
- 資料 1 3 第 2 回嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議報告書
- 資料 1 4 支所の位置及び具体的な機能
- 資料 1 5 庁舎敷地の具体的な利活用（案）
- 資料 1 6 山田庁舎の利活用にかかる概算費用
- 資料 1 7 嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について

嘉麻市山田地域整備協議会委員名簿

(平成29年6月30日)

区 分	団 体 名	氏 名
1 号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹
2 号委員	山田地区行政区長会	村上 曙生
		山藤 やす子
	嘉麻市教育委員会	佐竹 正利
	嘉麻市 PTA 連合会	松岡 広樹
	株式会社 福岡銀行	石崎 聖尚
	嘉麻商工会議所	白金 聖臣
	嘉麻市観光まちづくり協会	廣瀬 公彦
	嘉麻市子ども会指導者連合会	伊藤 文聡
	かま男女共同参画推進ネットワーク	深町 晴
3 号委員	公募委員	古賀 稲子
	公募委員	高倉 香代子

《区分別、順不同、敬称略》

※ 非常勤特別職である公人として委嘱される委員の氏名については、公開情報となりますことをご了承ください。

嘉麻市稲築地域整備協議会委員名簿

(平成29年6月30日)

区 分	団 体 名	氏 名
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹
2号委員	稲築地区行政区長会	平井 由子
		飯田 千鶴美
	嘉麻市教育委員会	辻田 喜美
	嘉麻市PTA連合会	野上 真吾
	株式会社 福岡銀行	芳司 修治
	嘉麻市商工会	原中 廣紀
	嘉麻市観光まちづくり協会	野見山 利三
	福岡県	田渕 慎一郎
	かま男女共同参画推進ネットワーク	有吉 直子
3号委員	公募委員	越岡 加代子
	公募委員	藤井 幹裕

《区分別、順不同、敬称略》

※ 非常勤特別職である公人として委嘱される委員の氏名については、公開情報となりますことをご了承ください。

嘉麻市碓井地域整備協議会委員名簿

(平成29年6月30日)

区 分	団 体 名	氏 名
1 号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹
2 号委員	碓井地区行政区長会	末吉 進一
		頼金 豊子
	嘉麻市教育委員会	犬丸 隆行
	嘉麻市 PTA 連合会	田中 豊和
	株式会社 福岡銀行	牛島 浩幸
	嘉麻市商工会	嶋田 尋美
	嘉麻市観光まちづくり協会	谷口 裕司
	株式会社 うすい	末田 恭介
	かま男女共同参画推進ネットワーク	齊藤 由美
3 号委員	公募委員	大里 由香
	公募委員	鹿江 由美子

《区分別、順不同、敬称略》

※ 非常勤特別職である公人として委嘱される委員の氏名については、公開情報となりますことをご了承ください。

嘉麻市嘉穂地域整備協議会委員名簿

(平成29年6月30日)

区 分	団 体 名	氏 名
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹
2号委員	嘉穂地区行政区長会	田中 穆
		大屋 瑞枝
	嘉麻市教育委員会	豊福 眸子
	嘉麻市PTA連合会	青柳 剛太郎
	株式会社 福岡銀行	寺田 秋雄
	嘉麻市商工会	松村 一弘
	嘉麻市観光まちづくり協会	安河内 隆
	大隈小学校跡地活用委員会	縄田 洋明
	かま男女共同参画推進ネットワーク	縄田 緑
3号委員	公募委員	浅田 美千代
	公募委員	櫛 悦子

《区分別、順不同、敬称略》

※ 非常勤特別職である公人として委嘱される委員の氏名については、公開情報となりますことをご了承ください。

嘉麻市地域整備協議会条例

平成 29 年 3 月 23 日

条例第 1 号

(設置)

第 1 条 嘉麻市内各地域の均衡ある活性化を目指し、地域特性をいかした地域整備のあり方等を協議するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、嘉麻市地域整備協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(名称及び協議区域)

第 2 条 協議会の名称及び協議区域は、次のとおりとする。

名称	協議区域
嘉麻市山田地域整備協議会	合併前の山田市の区域
嘉麻市稲築地域整備協議会	合併前の稲築町の区域
嘉麻市碓井地域整備協議会	合併前の碓井町の区域
嘉麻市嘉穂地域整備協議会	合併前の嘉穂町の区域

(所掌事務)

第 3 条 協議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査協議する。

- (1) 各地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること。
- (2) 各地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること。
- (3) その他各地域整備に関し、市長が特に必要と認める事項に関すること。

(組織)

第 4 条 協議会は、それぞれ委員 12 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 1 人以内
- (2) 公共的団体等が推薦する者 9 人以内
- (3) 市民からの公募による者 2 人以内

(任期)

第 5 条 委員の任期は、第 3 条に規定する諮問に係る事務が終了するまでの間とする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に、それぞれ会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(調整会議)

第8条 協議会相互の情報共有及び総合調整を図るため、嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

- 2 調整会議は、各協議会から選出される委員12人以内で組織する。
- 3 調整会議を兼ねる委員の任期は、第5条の規定にかかわらず各地域の全ての協議会の諮問に関する事務が終了するまでの間とする。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、主管課において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行に関し、協議会の運営に必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

嘉麻市地域整備協議会条例施行規則

平成 29 年 3 月 31 日

規則第 12 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、嘉麻市地域整備協議会条例（平成 29 年嘉麻市条例第 1 号。以下「条例」という。）第 10 条の規定に基づき、嘉麻市地域整備協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(招集通知)

第 2 条 会長は、会議を招集しようとするときは、あらかじめ、会議開催の日時、場所及び議題を委員に通知しなければならない。

(会議録)

第 3 条 会長は、嘉麻市審議会等の会議及び会議録の公開に関する規程（平成 22 年嘉麻市告示第 131 号）に準じて、会議録を作成しなければならない。

(調整会議の組織)

第 4 条 嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議（以下「調整会議」という。）は、条例第 2 条に定める各協議会の会長、副会長及び学識経験者をもって組織する。

(調整会議の委員長及び副委員長)

第 5 条 調整会議に、委員長及び副委員長 1 人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総理し、調整会議を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(準用)

第 6 条 第 2 条及び第 3 条の規定は、調整会議について準用する。この場合において、「会長」とあるのは、「委員長」と読み替えるものとする。

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、協議会に必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 29 年 6 月 30 日規則第 19 号）

この規則は、公布の日から施行する。

嘉麻市長

地域整備協議会

【協議会への諮問・答申】

協議会に諮問し、調査・協議結果である答申を尊重し、各施策に反映させます。

各地域専門部会

市役所内で組織された各庁舎周辺地域の専門的分野に詳しい検討組織

コンサルタント

様々な諸条件やアンケート、ヒアリングの結果などを検証・分析し、地域整備基本計画(案)について技術的見地から事業計画を整理します。

嘉麻市地域整備協議会(地域ごとに設置)

(1) 内容

各地域の地域特性をいかした地域整備のあり方や整備方針、支所のあり方を調査協議し市長に答申します。

(2) 委員構成

- ・学識経験者 1人以内
 - ・公共的団体等が推薦する者 9人以内
 - ・市民からの公募による者 2人以内
- 合計12人×4協議会

平成29年6月諮問
平成29年12月答申見込

連絡調整会議

4協議会の進捗状況の確認と協議会間の調整を行います。

諮問

専門分野依頼等

回答・提案等

調査・分析結果の提供

答申

随時

【議会への報告】

地域整備に関する進捗状況や決定事項を随時報告します。

進捗報告

嘉麻市議会

地域整備に関する進捗状況等について、報告を受けます。

【情報の提供】

地域整備課題に関し、嘉麻市広報誌、公式HP、回覧板等により、地域整備に関する情報を的確に提供します。

情報提供

ご意見等

市民

○情報の提供

市民のみなさまは、広報誌、ホームページなどにより地域整備について情報をご確認できます。

【事務の執行】

地域整備の課題について、協議会からの答申を尊重し、また、各専門的な調査検討結果を参照しながら、「**地域整備基本計画**」を策定し、その計画に基づき、事務を執行します。

計画の策定

※策定した計画に基づき今後の事業等の実施を行う予定です。

嘉麻市地域整備協議会スケジュール

資料 0 4

	6月 第1回	7月 第2回	8月 第3回	9月 第4回	10月 第5回	11月 第6回	12月 第7回	1月	備考
山田地域	30日 (金) 19時～ 合同会議	27日 (木) 8時半～ 視察研修 (近県)	4日 (金) 19時～	1日 (金) 19時～	6日 (金) 19時～	2日 (木) 19時～	1日 (金) 19時～		
稲築地域			30日 (水) 19時～	22日 (金) 19時～	27日 (金) 19時～	24日 (金) 19時～	22日 (金) 19時～		
碓井地域			17日 (木) 19時～	13日 (水) 19時～	11日 (水) 19時～	15日 (水) 19時～	13日 (水) 19時～		
嘉穂地域			18日 (金) 19時～	15日 (金) 19時～	20日 (金) 19時～	17日 (金) 19時～	15日 (金) 19時～		
地域整備協議会連絡調整会議	30日 (金) 協議会終了後			29日 (金) 開催予定 19時～		28日 (火) 開催予定 19時～	26日 (火) 開催予定 19時～		
その他		新庁舎施設整備等審議会開催予定		新庁舎施設整備等審議会開催予定					

嘉麻市山田地域整備協議会スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	備考
開催日時	30日 (金) 19時～	27日 (木) 8時半～	4日 (金) 19時～	1日 (金) 19時～	6日 (金) 19時～	2日 (木) 19時～	1日 (金) 19時～		
開催場所	碓井住民 センター	碓井 庁舎前							
内 容	第1回 合同会議	第2回 視察研修 (日中)	第3回 地域整備基本 計画(案)の 協議 他	第4回	第5回	第6回 協議の まとめ	第7回 答申		
地 域 整 備 協議会連絡 調 整 会 議	30日 (金) 協議会 終了後			29日 (金) 開催予定 19時～		28日 (火) 開催予定 19時～	26日 (火) 開催予定 19時～		
そ の 他		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定					

※第2回の視察研修については、大分県や熊本県などの近県への日帰り研修を予定しています。
 ※第7回の協議会を答申としていますが、協議の進行によっては、早く終わる場合もあります。
 ただし、地域整備協議会連絡調整会議に選任された委員の方は、すべての協議会が終了するまで委員の任に就いていただきます。

嘉麻市稲築地域整備協議会スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	備考
開催日時	30日 (金) 19時～	27日 (木) 8時半～	30日 (水) 19時～	22日 (金) 19時～	27日 (金) 19時～	24日 (金) 19時～	22日 (金) 19時～		
開催場所	碓井住民 センター	碓井 庁舎前							
内 容	第1回 合同会議	第2回 視察研修 (日中)	第3回 地域整備基本 計画(案)の 協議 他	第4回	第5回	第6回 協議の まとめ	第7回 答申		
地域整備 協議会連絡 調整会議	30日 (金) 協議会 終了後			29日 (金) 開催予定 19時～		28日 (火) 開催予定 19時～	26日 (火) 開催予定 19時～		
そ の 他		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定					

※第2回の視察研修については、大分県や熊本県などの近県への日帰り研修を予定しています。
 ※第7回の協議会を答申としていますが、協議の進行によっては、早く終わる場合もあります。
 ただし、地域整備協議会連絡調整会議に選任された委員の方は、すべての協議会が終了するまで委員の任に就いていただきます。

嘉麻市碓井地域整備協議会スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	備考
開催日時	30日 (金) 19時～	27日 (木) 8時半～	17日 (木) 19時～	13日 (水) 19時～	11日 (水) 19時～	15日 (水) 19時～	13日 (水) 19時～		
開催場所	碓井住民 センター	碓井 庁舎前							
内 容	第1回 合同会議	第2回 視察研修 (日中)	第3回 地域整備基本 計画(案)の 協議 他	第4回	第5回	第6回 協議の まとめ	第7回 答申		
地域整備 協議会連絡 調整会議	30日 (金) 協議会 終了後			29日 (金) 開催予定 19時～		28日 (火) 開催予定 19時～	26日 (火) 開催予定 19時～		
そ の 他		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定					

※第2回の視察研修については、大分県や熊本県などの近県への日帰り研修を予定しています。
 ※第7回の協議会を答申としていますが、協議の進行によっては、早く終わる場合もあります。
 ただし、地域整備協議会連絡調整会議に選任された委員の方は、すべての協議会が終了するまで委員の任に就いていただきます。

嘉麻市嘉穂地域整備協議会スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	備考
開催日時	30日 (金) 19時～	27日 (木) 8時半～	18日 (金) 19時～	15日 (金) 19時～	20日 (金) 19時～	17日 (金) 19時～	15日 (金) 19時～		
開催場所	碓井住民 センター	碓井 庁舎前							
内 容	第1回 合同会議	第2回 視察研修 (日中)	第3回 地域整備基本 計画(案)の 協議 他	第4回	第5回	第6回 協議の まとめ	第7回 答申		
地域整備 協議会連絡 調整会議	30日 (金) 協議会 終了後			29日 (金) 開催予定 19時～		28日 (火) 開催予定 19時～	26日 (火) 開催予定 19時～		
そ の 他		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定		新庁舎施設 整備等審議 会開催予定					

※第2回の視察研修については、大分県や熊本県などの近県への日帰り研修を予定しています。
 ※第7回の協議会を答申としていますが、協議の進行によっては、早く終わる場合もあります。
 ただし、地域整備協議会連絡調整会議に選任された委員の方は、すべての協議会が終了するまで委員の任に就いていただきます。

嘉麻市地域整備基本計画（案）

平成 2 9 年 3 月 3 1 日
嘉 麻 市

地域整備基本計画（案）

1 嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）

新庁舎建設に伴う課題の一つとして、従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な4つの地域として活性化され発展することについて、平成27年9月に嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）を公表し、庁舎建設に関するものの他、既存の庁舎場所の利活用について、支所のあり方、庁舎資産の活用方法等についての方向性を示し、検討を進めることとした。

2 嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（以下「審議会」という。）答申等

平成27年度の審議会において新庁舎施設整備の審議に伴い、上記1の嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）についても審議いただき、平成28年2月17日に「支所の設置場所、内容及び防災機能、災害時における支所の対応並びに地域の活性化の方向性等については、各種協議会等と連携し、地域の住民と協議・検討を行うこと。」との答申を受け、支所のあり方、庁舎資産の活用方法についても、地域と協議しながら方向性を整理することとした。

その後、市ではこの答申を最大限尊重し、平成28年3月に「庁舎課題に関する基本計画」を定め、答申のとおりさらに地域住民のみなさまと協議・検討し、今後の方向性を定めることとした。（※平成28年5月全市民対象に、リーフレットでお知らせ） ⇒ 別紙資料1

3 平成28年度の市民意見の集約等

平成28年度は、地域整備に関する市民意見を広く求め、集約するために、ワークショップを開催し、地域住民の生の声や、中学生から大学生まで、就学されている方々の貴重な意見などもいただくことができた。また、嘉穂地区については隣接する旧大隈小学校校舎の活用を検討する、大隈小学校跡地活用委員会などから、様々なご意見をいただいたところである。市ではこれらの意見を集約すると共に、各地域の利活用を調査検討する専門部会による協議を重ね、別添の各資料編のとおりとりまとめが終了した。

4 嘉麻市地域整備基本計画（案）について

この嘉麻市地域整備基本計画（案）については、上記1～3の検討過程において、調査項目や、様々なご意見、課題等がとりまとめられており、現状において特定地

の具体事業を示すことが困難であるため、これらのとりまとめをもって各地域の地域整備基本計画（案）とする。

今後は、これらの地域整備基本計画（案）を基に、具体的な調査検討を行う協議会を市民のみなさまと組織し、従来の庁舎があった地域が今後のまちづくりの重要な拠点として活性化され、発展するために、各地域の整備計画について議論し、平成29年度を目途に地域整備基本計画を定めるものとする。

— 資料編 —

- 別紙資料 1
- 山田資料編
- 碓井資料編
- 嘉穂資料編
- 稲築資料編

(各資料編については、平成 29 年 3 月各庁内専門部会整理)

- 「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」ワークショップの分類結果について
(平成 28 年 10～12 月実施のワークショップについて、
平成 29 年 3 月嘉麻市 庁舎・交通体系対策室 整理)
- 第 2 次嘉麻市総合計画【基本構想】 ※土地利用の方針抜粋
(平成 29 年 3 月議会 議決)

別紙資料 1

この別紙資料 1 は平成 27 年 9 月に公表した「嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）」を嘉麻市新庁舎施設整備等審議会における審議、答申により一部修正したもので、平成 28 年 3 月の「庁舎課題に関する基本計画」の中において示したものの抜粋である。

目 次

骨子案

1	全体事項	1
2	山田地域の項目	3
3	碓井地域の項目	4
4	嘉穂地域の項目	5
5	稲築地域の項目	6

骨子案

1 全体事項

従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な4つの地域として活性化され発展することが重要である。このことについては、新しい総合計画等において、今後のまちづくりの重要な拠点とし、市の全体ビジョンとして位置づけ、専門的な部署が配置され活性化を図る予定である。

支所のあり方、庁舎資産の活用方法等については、地域と協議しながら方向性を整理するものとする。

- (A) 支所設置：山田地区、嘉穂地区に支所を新設する。碓井地区については碓井庁舎の利活用計画も含め検討する。
- (B) 支所整備：支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また、地域振興やコミュニティ拠点として、職員15人（正規職員数は10人）の職員が勤務できる執務室、期日前投票や各公共的団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とする。支所の規模は概ね500㎡、RC構造を基本とする。
- (C) 郵便局での住民票等の交付：各庁舎位置から遠方にある地域においては郵便局等での住民票等の交付を行う。
 - ・対象：千手郵便局、宮野郵便局
 - ・開始年度：平成28年度に準備、周知、開始を予定
 - ・対象となる交付事務：住民票、印鑑証明
- (D) 循環バス：住民の利便性を図るため、市バス等の循環バスの運行を検討する。具体的な計画については、平成28年度に公共交通計画（地域公共交通網形成計画）を策定し実施を図るものとする。
- (E) 各庁舎の利活用計画等：各庁舎の利活用計画、実施については、庁内に専門の部署（係）を設置し、具現化を図る。

嘉麻市庁舎設置、資産利活用、交通ネットワーク全体イメージ



(1) 庁舎として

- (2) 関連施設として

- ### (3) 民間活用施設として

- ・民間譲渡区画として、分譲宅地、商業施設、工場団地等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図る。(P F I , P P P も検討)
- ・公募がなかった場合は、上記関連施設を除き、分譲宅地とし、定住化を図る。



(1) 庁舎として (1 階、2 階の一部、3 階の一部)

- ※庁舎資産利活用イメージ（碓井庁舎）



4 嘉穂地域の項目

(1) 庁舎として

- ・合併特例債の期限内に除却する。
- ・敷地の一部に支所の設置

(2) 民間活用施設として

- ・民間譲渡区画として、分譲宅地、商業施設、工場団地等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図る。(PFI, PPPも検討)
 - ・公募がなかった場合は、上記支所施設を除き、分譲宅地とし、定住化を図る。
- ⇒ 特に、隣接する旧大隈小学校の校舎敷地との一体的な整備計画が望まれる。



5 稲築地域の項目

(1) 庁舎として

- ・庁舎としては、残余年数から合併特例債が活用できる期限のうちに除却するのが最善と思われるため、これを前提として方向性を定める必要がある。

(2) 資産の活用として

- ・個別具体的な稲築地区庁舎資産関係の活用検討は、新庁舎の基本計画と一体性があるため、別途とする。

※ **PFI(Private Finance Initiative)**とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、又は、同一価格でより上質のサービスを提供する手法である。民間の資金、ノウハウ等の活用により、公共施設等の整備等にかかるコストの縮減ができる。

PPP(Public Private Partnership)とは、官と民がパートナーを組んで事業を行うという、新しい官民協力の形態である。たとえば水道など、従来地方自治体が公営で行ってきた事業に、民間事業者が事業の計画段階から参加して、設備は官が保有したまま、設備投資や運営を民間事業者任せに民間委託などを含む手法を指している。

PFIとの違いは、**PFI**は、国や地方自治体が基本的な事業計画をつくり、資金やノウハウを提供する民間事業者を入札などで募る方法を指しているのに対して、**PPP**は、たとえば事業の企画段階から民間事業者が参加するなど、より幅広い範囲を民間に任せる手法である。

嘉麻市地域整備基本計画 (案)

山田資料編

平成29年3月31日
嘉 麻 市

目 次

I 基本情報

1 利活用対象面積	1
2 山田庁舎の現況	3
山田庁舎の経年劣化、破損の状況	4
3 近隣の状況	5
4 地域の特性	6

II 山田庁舎資産利活用専門部会

1 支所の位置	8
2 支所設置候補地に関する課題点	15
3 山田庁舎跡地に関する課題点	18
4 山田庁舎跡地の利活用提案	20
5 山田庁舎跡地利活用に関する事業手法の検討	21
6 支所機能のあり方	22

III 市民等の意見

1 支所のあり方、庁舎資産の活用方法ワークショップ	22
---------------------------	----

I 基本情報

1 利活用対象面積

山田庁舎の敷地は13,430㎡（里道を含む）である。現庁舎敷地とは異なる敷地を支所の設置候補地と想定していることから現庁舎の敷地ほぼ全筆が利活用の対象となる。

しかし、敷地内にはケーブルステーション福岡嘉麻営業所（嘉麻市所有の建物）とケーブルステーションの機器が置かれている山田地域情報センターが存在しており、これらの建築物を除く残りの敷地が利活用の対象になると考えられる。また、庁舎の奥には民有地も存在しており、民有地から市道に出るための道路整備が必要不可欠な状況である。



図1 山田庁舎敷地と周辺図

山田庁舎



写真1 山田庁舎本館（上）別館（下左右）

表1

山田庁舎周辺敷地地番							
番号	項目	大字	地番	所有者	地目	面積 (㎡)	備考
①	山田庁舎敷地	上山田	377-3	山田市	宅地	4,192.73	
②	山田庁舎敷地	上山田	381-44	山田市	宅地	7,545.77	ケーブルステーション立地
③	山田庁舎敷地	上山田	392	山田市	宅地	1,006.23	
④	山田庁舎敷地	上山田	453-20	山田市	宅地	389.57	
⑤	山田庁舎敷地	上山田	454-3	山田市	宅地	19.91	
計		5筆				13,154.21	

2 山田庁舎の現況

昭和49年建築の山田庁舎は至る所で経年劣化や雨漏りによる外壁の剥離、天井の破損箇所を目の当たりにすることができ、建物はもとより設備等の老朽化も進み維持管理費も増大している（写真2～7参照）。耐用年数は、合併特例債の最終年度となる平成32年度において残り4年となるが、耐震診断の結果については一般的な建物の耐震基準を満たすものの、庁舎として必要な耐震基準を下回っているため、除却、若しくは、支所庁舎とは別の利活用方法を模索する必要がある。

表2

基本情報	
庁舎区分	山田庁舎
建築年	昭和49年
構造	本館 鉄筋コンクリート造 地上3階 搭屋1階 別館 鉄骨コンクリート造 地上2階
敷地面積	13,430㎡
庁舎延床面積	5,302㎡
経過年数	42年（平成28年末時点）
償却残余年数	平成32年度末時点で4年

※ 償却残余年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に定める鉄筋コンクリート造における耐用年数50年を基準としている。

耐震診断結果：Is 値0.82

※Is 値とは・・・耐震診断により建物の耐震性を示す指標で、Is 値が大きければ大きいほど耐震性が高いと判断される。

※一般的な建物においては Is 値 0.6 以上で耐震性の確保を満たすことができるが、庁舎となる施設においては、人命の安全や庁舎機能を確保しないといけないことから、基準値の 1.5 倍（0.9 以上）を確保する必要がある。

山田庁舎の経年劣化、破損の状況



写真2 雨漏りによる天井、外壁劣化剥離箇所



写真3 3F旧議場内雨漏り天井剥離



写真4 2F書庫奥部屋雨漏り壁亀裂・剥離



写真5 3F旧議場通路雨漏り



写真6 3F旧議場傍聴席通路壁亀裂



写真7 1F高齢者介護課横天井剥離

3 近隣の状況

山田庁舎は旧山田市中心部、上山田の小高い丘の上に位置している。庁舎には保育園、小学校が隣接している他、半径1.5kmの範囲にも私立幼稚園、中学校があり教育環境に恵まれている。また、山田市民センター、上山田住民ホール、山田生涯学習館、図書館等の施設も充実しており、市民の生涯学習、社会教育、文化活動の拠点として利用されている。

山田庁舎南東400m程の場所には体育館やプール、テニスコート、ジョギングロード等を兼ね備えたサルビアパークがあり、市民の健康増進、体力づくりの一助となっている。

さらに庁舎周辺には嘉麻赤十字病院を始めとする医療機関、福祉施設が多く存在していることも山田地域の特徴の一つである。

このように山田庁舎を中心とした比較的狭い範囲に行政機関や金融機関、教育機関、医療・福祉機関、飲食店等が集積しておりコンパクトなまちを形成している。

しかしながら、地域の少子高齢化や人口の減少に伴い、食料品や日用品など生活必需品を提供し、地域交流の場でもあった商店や食堂等の撤退は著しく、暮らしの維持に必要な機能が徐々に失われつつあるのも現状である。



写真8 庁舎東隣 どんぐり保育園



写真9 嘉麻赤十字病院



写真10 山田庁舎から市街地（柿の木付近）を望む



写真11 上山田の商店街

4 地域の特性

山田地域は炭坑開発の最盛期であった昭和33年には大小25の炭鉱が操業しており、人口39,000人あまりを有する炭都として発展してきた。明治31年には炭田の石炭輸送を目的に九州鉄道筑豊線臼井-下山田間が開通。明治32年には上山田駅も開設され、明治34年に筑豊線若松-上山田間が開通し多くの人で賑わった。しかし、エネルギー革命の影響を受け炭坑は次々と閉山。それに伴い人口は激減し、昭和末期には最盛期の3分の1程にまで減少した。人口の減少に伴い昭和63年には上山田線も廃線となった。現在の山田生涯学習館は、この上山田駅をモチーフにデザインされており敷地内には当時の遺構が残されている。熊ヶ畑地区には上山田から日田彦山線豊前川崎駅まで続く線路が当時のまま残されている。トロッコフェスタの際に解放され、多くの人で賑わっていた当時を偲ぶことができる。

現在では山田地域のみで3,876世帯、人口8,935人（平成27年国勢調査 平成27年10月1日現在）となっている。また、高齢化も顕著であり高齢化率は4地区の中において38.82%と最も高い値を示している。



写真12 熊ヶ畑へと続く旧上山田線線路跡



写真13 生涯学習敷地内 鉄道記念公園



写真14 炭鉱期の三菱ボタ山と帝王山



写真15 枕木をイメージした歩道（緑道公園内）

Ⅱ 山田庁舎資産利活用専門部会

本嘉麻市地域整備基本計画（案）山田資料編をまとめるにあたって嘉麻市新庁舎建設設置本部会議 庁内検討組織の一つである、山田庁舎資産利活用専門部会において6回の会議を開催し検討を重ねた。

次に専門部会での検討結果を記す。

表3

山 田 庁 舎 資 産 利 活 用 専 門 部 会	
設置日	平成28年7月12日設置
構成委員	企画財政課、管財課、産業振興課等から計11人
正副部会長	山田総合窓口課長、副部会長 管財課長
所掌内容	山田支所の設置に関すること 山田支所周辺の環境整備に関すること 支所機能に関すること 山田庁舎資産に関すること

表4

山 田 庁 舎 資 産 利 活 用 専 門 部 会 会 議 開 催 日		
回 数	場 所	日 時
第1回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成28年 7月12日（火） 9時30分～
第2回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成28年 8月29日（月） 9時30分～
第3回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成28年11月24日（木） 9時30分～
第4回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成29年 2月 3日（金）10時00分～
第5回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成29年 3月10日（金）10時00分～
第6回	山田庁舎2階福祉事務所長室	平成29年 3月27日（月）15時00分～

1 支所の位置

山田支所の位置については、山田生涯学習館の周辺を設置位置とすることを基本としているがその他候補地についても専門部会において提案が挙げられている。住民への行政サービスの低下を招くことなく、住民の利便性を考慮し、生活拠点の核及び交流の拠点となるよう、地域で協議を重ね決定していくこととする。

次に候補地について記す。

表5【提案された支所設置の候補地】

番号	支 所 設 置 候 補 地	概 要
①	山田生涯学習館敷地	生涯学習館の駐車場と正面の駐輪場付近
②	サワラテ緑道公園敷地	公園内に設置し駐車場を整備
③	山田消防署敷地	山田消防署移転後の敷地を活用し設置
④	山田図書館駐車場敷地	山田図書館の駐車場敷地内への設置
⑤	上山田住民ホール内	上山田住民ホール内に設置

表5のとおり支所設置候補地に関して5箇所の候補地が挙げられ、検討が行われた。

④山田図書館駐車場敷地内に関しては図書館利用者の駐車スペースを十分に確保できないという点、生涯学習館やバス事務所との一体的な利用を考えた際、位置的に離れた場所に位置することから設置の検討は行わないこととした。

⑤上山田住民ホール内に関してはどちらも生涯学習館やバス事務所から遠いこと、同敷地内において駐車スペースを十分に確保できないこと、事務所のスペースを確保できないこと等から設置の検討は行わないこととした。

以上の検討結果より①～③の候補地の中から支所の設置箇所の検討を行うこととした。

山田生涯学習館とサワラテ緑道公園 周辺位置図



図2 山田生涯学習館とサワラテ緑道公園 周辺位置図

表 6

山田生涯学習館・サワラテ緑道公園敷地情報							
番号	項目	大字	地番	所有者	地目	面積 (m²)	備考
①	山田生涯学習館 サワラテ緑道公園	上山田	1347-10	山田市	雑種地	7,692.00 m²	
②	サワラテ緑道 公園一部	上山田	1334	山田市	雑種地	427.00 m²	
計		2 筆				8,119.00 m²	

候補①－ 1 山田生涯学習館敷地



(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い
- ・バス事務所裏の敷地も併せて活用を検討できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで駐車場の確保がしやすい

(デメリット)

- ・設置の際に倉庫の除却が必要であり設置に手間と時間がかかる
- ・倉庫（車庫）の代替施設が必要
- ・駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる
- ・敷地裏に民家がある

山田生涯学習館敷地①－ 1 周辺の様子



写真 16 敷地から西向きに撮影



写真 17 敷地内から北向きに撮影



写真 18 敷地内から南西を撮影



写真 19 隣接する敷地に保管されている市バス

候補①－２ 山田生涯学習館敷地



(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い。
- ・会議室は生涯学習館を利用できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで解決できる。(駐車場の確保がしやすい)
- ・公用車等の駐車場は学習館の車庫で代用できるかもしれない(前の壁を除却できると更に使いやすい)

- ・金融機関が近い

(デメリット)

- ・設置の際に駐輪場の除却が必要である
- ・青空フェスタの開催に一部支障がでる？
- ・学習館の景観に支障を来す可能性がある

山田生涯学習館敷地①－２周辺の様子



写真 20 図書館付近から北向きに撮影



写真 21 生涯学習館正面から南向きに撮影



写真 22 道路側から撮影



写真 23 駐輪場

候補② サワラテ緑道公園敷地



(メリット)

- ・土木課所有地(公園)で造成がしやすく施工が容易であり設置も早い
- ・駐車場のスペースが確保できる
- ・市バスの停留所が近い

(デメリット)

- ・生涯学習館、図書館との距離は遠くなる

サワラテ緑道公園敷地周辺の様子



写真 24 公園内から北側を撮影



写真 25 交差点付近から南向きに撮影



写真 26 公園内から学習館側を撮影



写真 27 タイムカプセル

山田消防署敷地 周辺位置図

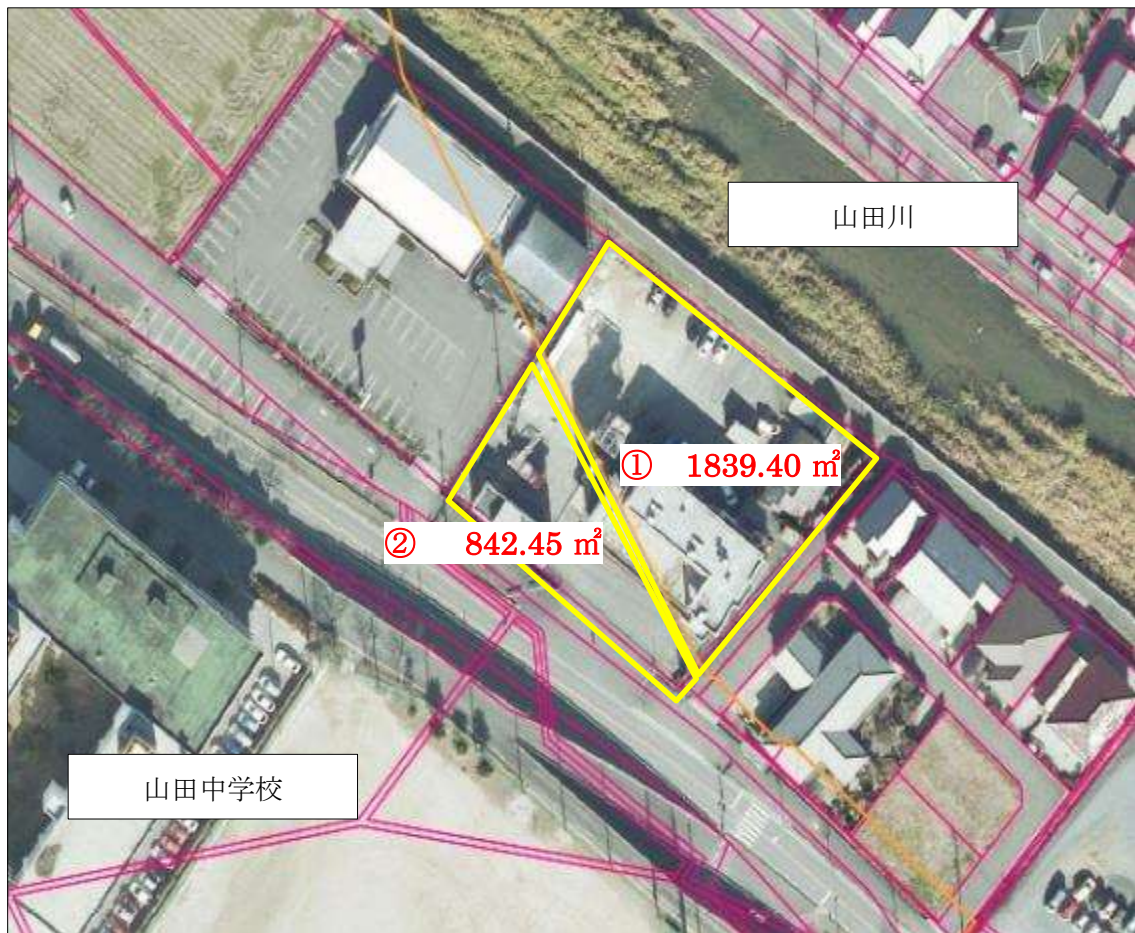


図 3 山田消防署敷地 周辺位置図

表 7

山田消防署敷地情報						
番号	項目	大字	地番	所有者	地目	面積 (㎡)
①	山田消防署敷地	上山田	1200-1	飯塚地区消防組合	宅地	1,839.40 ㎡
②	山田消防署敷地	上山田	8-1	飯塚地区消防組合	宅地	842.45 ㎡
計		2 筆				2,681.85 ㎡

候補③ 山田消防署敷地



(メリット)

- ・上山田と下山田の中間付近に位置しており住民の方の利便性は良い。

(デメリット)

- ・コンパクトなまちからはやや離れた場所に位置
- ・金融機関から遠くなる。

山田消防署敷地周辺の様子



写真 28 敷地正面から撮影



写真 29 敷地正面から撮影



写真 30 敷地から道路挟んで西側 山田中学校



写真 31 敷地正面から南向きに撮影

2 支所設置候補地に関する課題点

支所設置候補地に関しては支所の設置や整備に当たりいくつかの課題点が存在している。次に課題点について記す。

山田生涯学習館・嘉麻市立山田図書館



写真 32 山田生涯学習館正面

表 8

所在地	福岡県嘉麻市上山田 1347 - 10
工期	平成 12 年 5 月～平成 13 年 3 月
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上二階
生涯学習館	視聴覚室（108 席） 研修室（2 分割可能 24 席 2 室） 和室（8 畳＋6 畳） 市民ギャラリー 事務室
駐車場・駐輪場	駐車場（70 台） 駐輪場（52 台） 職員用駐車場・屋外付属建物（倉庫）

支所設置候補地内 市バス車両



表 9

車種	車両番号	定員	初年度登録	H24. 4	H25. 4	償還期限	備考
プジョー	筑豊 200 す 2	20 人	平成 16 年 3 月 15 日	登録抹消	—	H29. 3. 31	起債
プジョー	筑豊 200 セ 3	20 人	平成 16 年 3 月 30 日	登録抹消	—	H29. 3. 31	起債
プジョー	筑豊 200 す 1	20 人	平成 16 年 3 月 15 日	—	登録抹消	H29. 3. 31	起債

※車両の減価償却は 1 2 年

山田生涯学習館敷地①－ 1 には登録抹消になった市バスの車両が保管されている。表 6 のように償還期限は平成 2 9 年 3 月 3 1 日であるため、支所の設置箇所や駐車場として検討していく際、市バスの移動または処分が必要となる。

山田生涯学習館車庫・倉庫



山田生涯学習館敷地①－ 1 内には山田生涯学習館の車庫及び倉庫が存在している。本敷地の整備を実施するには車庫及び倉庫の除却が求められることから生涯学習課との協議が必要となる。

サワラテ緑道公園敷地内タイムカプセル及びモニュメント



表 10

設置者	設置日	開封日
ありがとう山田市実行委員会	平成 18 年 3 月 5 日	平成 48 年 3 月 9 日

平成 18 年の合併に伴い旧山田市の歴史や思い出を後世に残すことを目的に「ありがとう山田市」実行委員会により平成 18 年 3 月 5 日にサワラテ緑道公園内に設置されている。

開封日は平成 48 年 3 月 9 日と設定されていることから整備を行う際には現状のまま保存、別の敷地への移設等が考えられる。いずれにしても整備前には実行委員会との協議が必要となる。

緑道公園内モニュメントは都市計画・公園係の所管である。地元からの要望により平成 29 年度予算でモニュメント（枕木）の修繕を行う予定としている。支所の設置、駐車場の整備に当たっては担当課との協議が必要となる。

山田消防署敷地



支所の設置に当たり敷地の購入、建物の除却等に関して所有者である飯塚地区消防組合との協議が必要となる。

3 山田庁舎跡地に関する課題と提案

冒頭でも述べたが山田庁舎跡地に関する課題に関しては次の3点が挙げられる。これらの課題点に関して検討を重ね跡地の利活用を実施する。

ケーブルステーション福岡嘉麻営業所



表 11

物件名	ケーブルステーション福岡嘉麻営業所
所 有	嘉麻市（無償貸付）
所 在	嘉麻市上山田 392 番地
建築年	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建
延床面積	171.5 m ²
貸付期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

（課題） 庁舎跡地全体での一体となった利活用は困難となる。除却中の業務、敷地への出入り、駐車場の確保等に関して協議が必要となる。

（提案） 基本、現状のまま敷地内に残ることを想定し利活用を行う。取付道路は民家からの取付道路と一体的に考える。

庁舎裏民有地からの道路整備



（課題） 現在庁舎敷地内を通り道路に出ているが利活用によっては困難となる。事前に道路の位置を決定し整備を行う必要がある。

（提案） 取付道路は民家に向かって敷地の淵に沿ったかたちで設置すれば有効に敷地を利用できると考えられる。（取付道路によって庁舎の敷地が分割されないような配慮）

山田地域情報センター



表 12

物件名	山田地域情報センター
所 有	嘉麻市
所在地	嘉麻市上山田 392 番地
構 造	鉄骨造 3 階建
延床面積	279.71 m ²
設 備	機材置場、ヘッドエンド、会議室

(課題)：ケーブルステーション福岡嘉麻営業所が 2 階の 1 室にヘッドエンド設備を設置しており 1 階部分には機材等を置いている。ケーブルステーション内にはヘッドエンド設備を設置するスペースはなく、移設先も現時点ではないと考えられる。ケーブルステーションからのヒアリングや今後の協議が必要となる。

構造的に庁舎とは接合していないがケーブルステーションと接合している。また、庁舎側から 3 階会議室への進入は可能であるが庁舎除却後は不可能となる。内部から 3 階に昇る階段は設置されていないため、建物を残す際には外に設置された階段を残す必要がある。現在の所有は嘉麻市であるが今後の所有を考える必要もある。

(提案)：ケーブルステーションとセットで残し所有を考える。



写真 33 機材置き場



写真 34 ヘッドエンド設備



写真 35 ヘッドエンド設備



写真 36 2 階庁舎からの入口付近



写真 37 庁舎との接合部分



写真 38 3 階入り口

※ 写真 34 は嘉麻市所有、35 はケーブルステーション所有のヘッドエンド設備

4 山田庁舎跡地の利活用提案

山田庁舎跡地の利活用については様々な提案があり、専門部会で出された提案、企業等からいただいた提案の中から取捨選択し活用を見出していくこととする。以下に専門部会の際に提出した検討項目を列記する。

表13

山田庁舎資産利活用専門部会での提案
・定住化促進住宅と商業施設 ・1階部分にスーパーやコインランドリー等の商業施設、2階以上が定住化促進住宅（家族向け）

庁舎のあり方専門部会（あすみ会）
・高齢者の生活に寄り添う住宅環境の整備 ・宿泊施設 ・インドアスカイダイビング ・プレイヴィル構想（町の中で人々が自然に集う場所づくり） ・高齢者でルームシェアを行う施設づくり ・自動車関連産業誘致 ・観光名所（観光花園）と簡易宿泊施設（テントサイト） ・研究室の設置による人の集う場づくり ・日本版 CCRC（総合相談窓口を中心に、元気な高齢者が生涯定住できる高齢者用複合施設）

中学生（インターンシップ生）の提案
・YAMADA ドーム球場化構想

企業からの提案
・大型商業施設 ・スマートウェルネスシティー構想 （サービス付き高齢者向け住宅＋多世代交流施設）

5 山田庁舎跡地利活用に関する事業手法の検討

骨子案において山田庁舎跡地の事業手法として民間活力の導入が挙げられている。近年、施設の設計・建設から維持管理、運営に至る一連の業務に民間の資金、経営能力、技術的能力を活用するPFI方式などの導入を検討する事例も増えており、山田庁舎の跡地においても、次のような事業手法が想定され導入について検討していくこととする。

① 直接建設方式

通常の公共事業の実施手法で、市の財政資金を用いて設計、建設、維持管理及び運営業務について、それぞれの民間事業者へ委託・発注する方式です。

② PFI方式

・PFI法に基づく方式

民間事業者が自ら資金調達を行い、設計・建設業務を一体的に行い、施設整備直後に所有権を市に移転したのち、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方法でBTO方式と呼ばれています。

[Build（建設）Transfer（譲渡）Operate（運営）]

・PFI法に基づかない方式

市の財政資金を用いて、施設の所有権を有したまま民間事業者に設計、建設、維持管理及び運営業務を一体的に委ねるDBO方式や設計・建設業務の一括方式として、DB方式もあります。

[Design（設計）Build（建設）Operate（運営）]

③ リース式

市は、市有地を民間事業者に低廉で貸与し、民間事業者は、施設の設計、建設及び維持管理業務を行う方式（普通借地権）

6 支所機能のあり方

- 支所機能については、すべての支所において同一の業務を行うことを基本とする。会計窓口（出先金融機関）、宿直については、山田支所においても配置する方向で検討する。
- 地域のコミュニケーションを図るため、各団体が使用できる会議室の設置を検討する。

窓口業務
(会計も検討)

宿直の配置

市民団体が使用
できる会議室

Ⅲ 市民等の意見

1 支所のあり方、庁舎資産の活用方法ワークショップ

平成28年10月から12月にかけて、「第2次嘉麻市総合計画」「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」ワークショップを開催し、延べ193人の参加をいただいた。その中で「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」についての提案を552票いただいた。

山田地域では「山田市民センター」で昼夜2回開催し、市民のみなさまから意見をいただいたところである。

なお、詳細な内容及びその他会場での意見を含めたワークショップの報告書については添付の資料に掲載している。

これらの提案も参考にし、地域整備基本計画を策定することとする。

ワークショップ提案 分類結果報告書

平成29年2月28日

庁舎・交通体系対策室

目次

はじめに	1
1. 分類と整理の手順について	2
2. 分類結果表の見方	4
3. 分類結果	7
庁内開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	9
庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ	10
庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	11
碓井会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	13
碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ	14
碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	15
山田会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	17
山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ	18
山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	19
嘉穂会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	21
嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ	22
嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	23
稲築会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表	25
稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ	26
稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表	27
庁内開催分 提案シート	29
碓井会場分 提案シート	30
山田開催分 提案シート	32
嘉穂開催分 提案シート	34
稲築開催分 提案シート	36

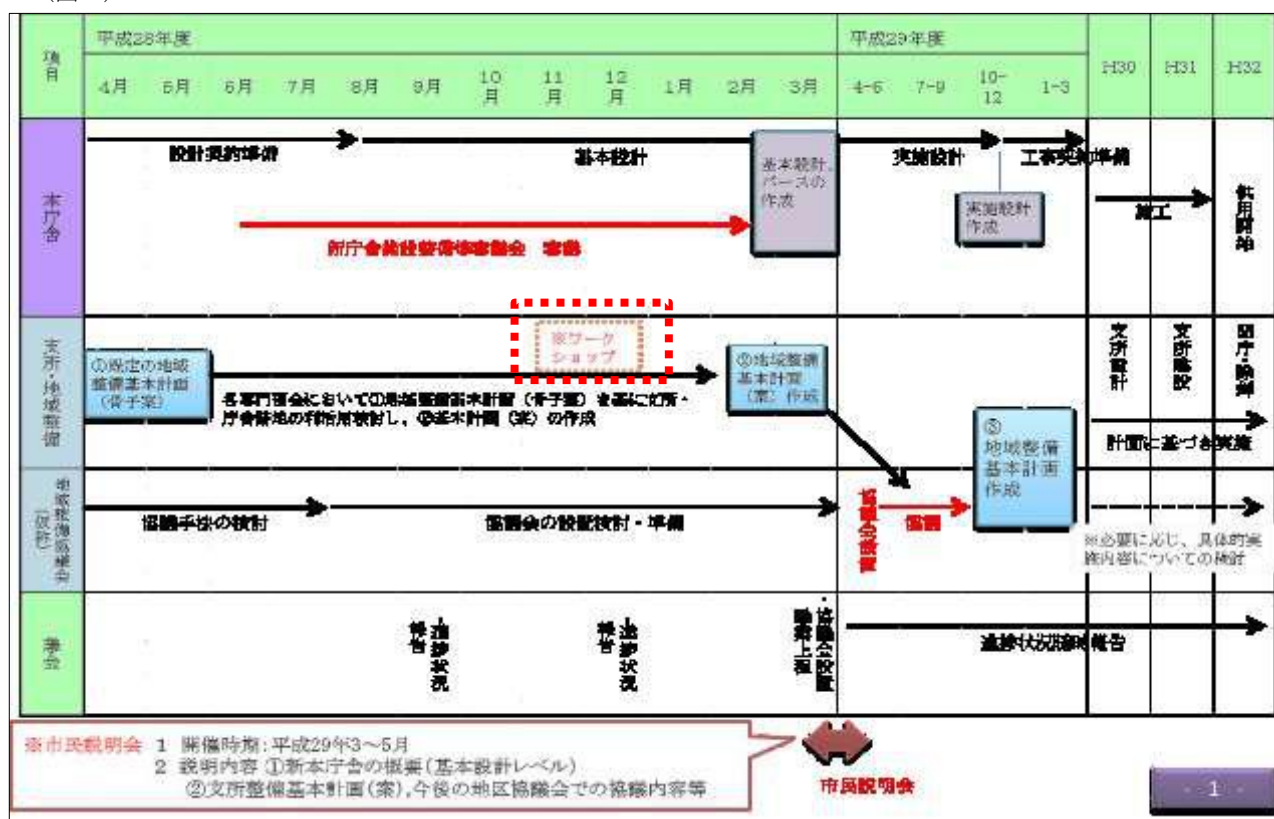
はじめに

庁内職員対象ワークショップ1回、各地区におけるワークショップ8回（夜の部4回、昼の部4回）合計9回に亘って開催された「第2次嘉麻市総合計画」「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」ワークショップにおいては193人の参加者の方から1,340票ものご提案を頂いた。

本報告書はそこから「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」分に提案された552票の提案を対象に分類を行い、参加者みなさまの「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」分に対する提案の傾向やニーズを表したものである。

本分類結果を踏まえ、図1のとおり各専門部会、地域整備基本計画（案）の策定、来年度に予定をしている地域での協議会等において参考資料として活用させていただき、「嘉麻市地域整備基本計画」を策定していくものである。

（図1）



平成28年12月13日 庁舎特別委員会への提出資料 1Pより

今回のワークショップでは会場エリアだけに留まらず、市内外から多数の方にご参加を頂いた。必ずしも会場エリアに限定しない多種多様な提案が数多く出されていた。

本報告書においては各会場での結果を会場エリアに対する結果と捉えず、各会場で実施されたワークショップにおける傾向として公表する事とした。

本報告書中においては票数表示や色分け等の手法も用いているが、あくまで整理を行い、参考資料として利用していただく事を目的としたものである。

1. 分類と整理の手順について

多数の意見、アイデアを考察する場合や問題の解決を考える際に用いられるのがKJ法（注1）である。KJ法はラベル（今回のワークショップではポストイット）と呼ばれるデータ要素を表札（大まかなくくり）という上位概念を用いて共通点でグループ化し、関係性や重要度を探り課題を解決していく手法のことである。今回は途中段階までこのKJ法の手法を用いて分類を行うこととした。

【 分類の手順 】

- ① 模造紙に貼られたポストイットの内容を各会場の班毎にパソコンに入力した。提案は全てポストイットに記入された原文のまま入力した。（図2）⇒（図3）
- ② 入力されたシートより「支所のあり方、庁舎資産の活用方法」に対する552提案のみを1提案ずつはさみで切り分け模造紙の上に広げた。（図4）
- ③ 切り分けたシートの提案内容を見ながら、関連性のある提案をグループにし、内容を表す表札をつけていった。
- ④ ③で作ったグループの表札と他の表札を見比べながら、互いに親近性のあるグループを更にまとめていった。この作業を繰り返し最終的に20個程のグループにまとめた。（図5）
- ⑤ 本来のKJ法であればこれ以降、論理的整序の段階に入っていくが今回の分析の目的は答えを出すのではなく、検討材料として参考資料を示すことであるためこの作業段階までとした。（図5）
- ⑥ この分類段階においては「庁舎資産の活用方法」に関する提案と「支所の機能、あり方」、「その他」の提案に関して明確に分類し別々に整理していくこととした。

（図2）



ワークショップで出された提案（ポストイット）

（図3）



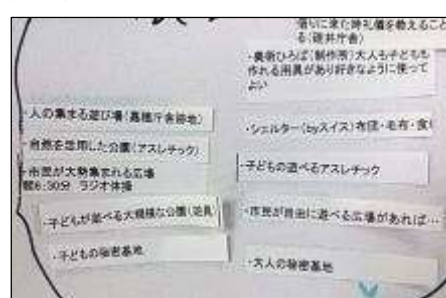
ポストイットの内容をパソコンに入力

（図5）



グループ分けが終了した段階

（図4）



シートを1提案ずつ切り分けた状態

（注1） KJ法：収集した多量の情報を効率よく整理する際によく用いられる。収集した情報をカード化し、同じ系統のものでグループをつくり、図解し、情報の整理、分析を行う。考案者の川喜田二郎氏の頭文字 KJ から命名されている。

【 分類の整理 】

- ⑦ 図5において手書きで分類を行った結果を図6の様にパソコンに入力した。

上部には表札名、表札名の右隣に分類された提案の数、下部に各提案を1つずつ記入した。

(図6)

公園・広場・キャンプ場	
・やすらぎ、自然に恵まれた総合型、レジャー、サイクリング、多自然型河川、自然を活用した公園(アスレチック)、市民が自由に遊べる広場があれば、子ども(親子)で過ごすことができる場所(遊具)、市民が気軽に集まれる広場 朝6:30分 ラジオ体操	・人の集まる遊び場(高層庁舎跡地)、多自然型河川、子どもが遊べる公園(遊具)、子どもが遊べるアスレチック、キャンプ、グラウンドが利用できる(アスレチックの設置市員より)オムロン健康室、健康室

(図7)

- ⑧ 図6の様に分類された表札を図7の様に左上から票数の多い順に並べていった。

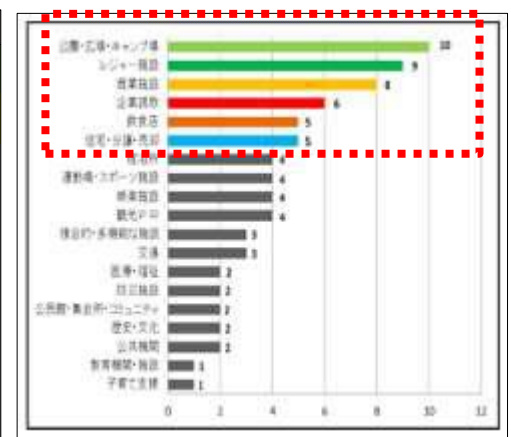
- ⑨ 提案数の多かった各会場上位5提案については表札名の部分に色を入力した。
表札に入力した色は下に示したとおりである。

公園・広場・キャンプ場	公民館・集会所・コミュニティ		
教育機関・施設	商業施設	歴史・文化	飲食店
住宅・分譲・売却	観光PR	企業誘致	娯楽施設
医療・福祉	レジャー施設	支所の機能	その他

(図8)

赤(地域整備基本計画)			
・登山者向け商店(高層)	・商業施設(人、食、住、遊)	・水行、各支所の中央に民間の施設	・電機屋、やすらぎ、自然(1/1000)総合型、サイクリング、水、多自然型河川
・水行、各支所の中央に民間の施設	・大型商業施設	・宿泊所	・飲食店、レジャー施設、多自然型河川
・市内全域対応の施設を設ける(山田)	・観光の拠点	・観光の拠点	・観光の拠点
・旧足立小学校を宿泊施設に	・観光の拠点	・観光の拠点	・観光の拠点
・宮野小学校、宮野分校	・各キャンプ場	・地域のいっしょ、ばあちゃんを雇用	・地域のいっしょ、ばあちゃんを雇用
・レジャー施設、水行、各支所の中央に民間の施設	・大型商業施設	・大型商業施設	・大型商業施設
・アスレチック施設、水行、各支所の中央に民間の施設	・大型商業施設	・大型商業施設	・大型商業施設

(図9)

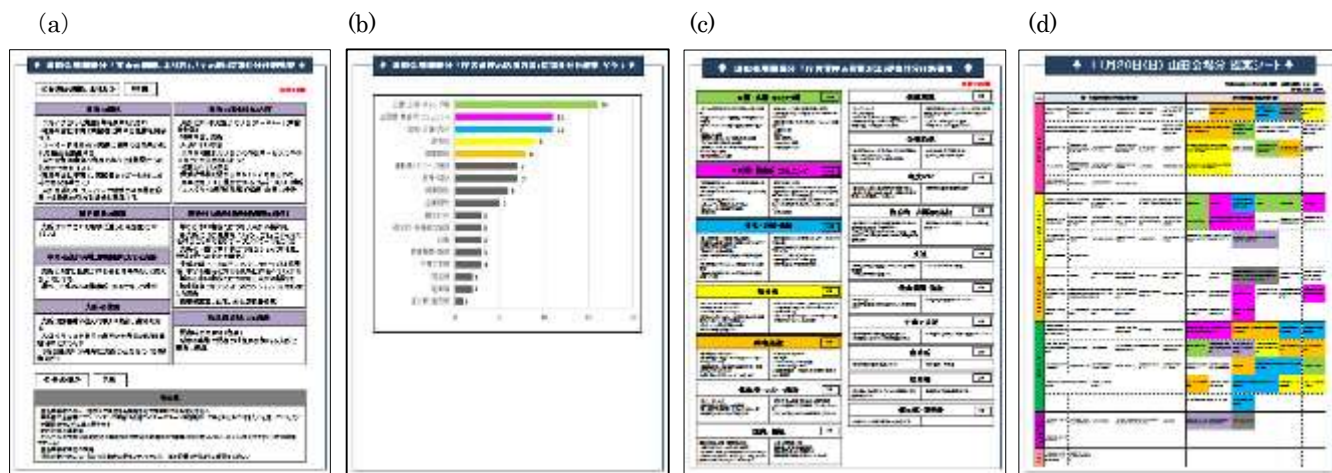


- ⑩ 図8の分類において上位5つのグループに分類された各提案に限り、表札名に入力した色と同じ色を提案シートの各提案部分に入力した。(図8)
- ⑪ 票数をグラフ化し、棒グラフの棒の部分にも上位5つの表札名に色を入力した。(図9)
- ⑫ 提案の分類において「支所の機能、あり方」、「その他」に分類されたものに関しては別途分類を行い、提案シートの各提案の部分に色を入力した。(5P 参照)

2. 分類結果表の見方

分類結果に関しては下4つの表に分けて示すこととし、各表の見方を次に記した。

【各結果表の見方】



(a) 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表

支所の機能やあり方についての情報を項目ごとに分類しており、参加者の支所に対する多様な考え方を把握することができる。

(b) 各会場における「庁舎資産の活用方法」に関する分類結果グラフ

(c) における結果を可視化することができるため、最初のつかみとして簡潔に内容、傾向を読み取りやすい。詳細な結果の把握のためには (c) を参考にする必要がある。

(c) 各会場における「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表

各会場における全提案をグループごとに分類し、提案数の多い表札順に並び替えている。各会場においてどのような意見が多く出されていたのか、どのようなニーズが存在するのか傾向を読み取ることができる。

(d) 各会場分類結果 提案シート ※補足資料

各会場における全提案を示している。上位5つの項目に分類された提案に関しては1提案毎に色を入力している。参加者の方の提案がどこに分類されているのか確認することができ、提案者の意図する事が把握できる。

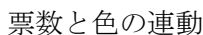
(图 10)

右上の赤い文字は「支所の機能、あり方」、
「その他」票数の合計を示している

上段の 色の部分に「支所の機能、あり方」について分類している。

下段の 色の部分に「その他」提案について分類している。

(1 1)



提案票数

棒グラフの右隣に示した数字は提案票数を表している。

【 結果表のグループの見方 】

(図12)

右上の赤い文字は各表の票数の合計を示している

グループは左上から多い順に並んでおり
左列最下段から右列最上段に移動

表札名と色

飲食店		5票
- 居酒屋やファミレス等が欲しい - ママ友が集えるカフェ(調理室)子どももOK - 大きな公園と食事処がセットになっているパン屋がバイキング(嘉穂支所)	- おいしい食べ物に出会える(山田) - 市民農園付バイキング店(地産地消)料理もできたら面白そう	

提案票数

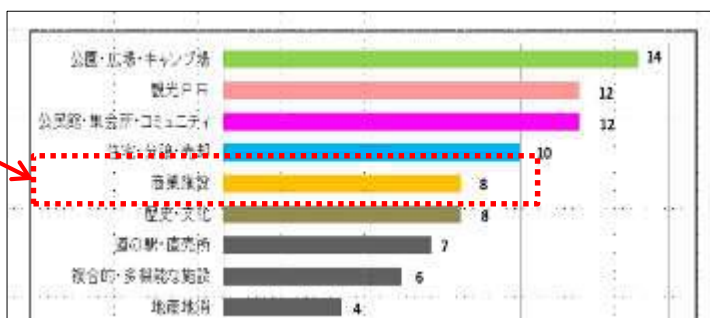
提案シートより分類された各提案

【 色分類の見方 】

(図13)

票数と色の連動

商業施設		8票
- 商業施設(イオンなど) - 庁舎跡地に大型スーパーをつくる(イオン、ゆめたうん)など - 文房具屋をつくる(飯塚に最近できた玉置とカフェ付のものなど) - レストラン、カラオケ、ゲームセンター	- ショッピングセンター - 店(雑井) - スーパーなどの店を設置 - スポーツ店(ヒマラヤ) - 大型商業施設・交通体系の充実・地域の人の交流	



上位5つのグループに分類された提案に関しては色付けによる分類が行われている。色分類の見方は上図のとおりである。グラフの色は全て連動するように表されており図13を例にした際、提案シートの提案に付けられたオレンジ色は商業施設（オレンジ）グループの中に分類されていることを示している。また、グループの票数と色はグラフとなって可視化されておりグラフの棒部分にもオレンジ色が示されている。

3. 分類結果表

分類結果表は以下の順に示している。

(表 1)

庁内開催分 分類結果	頁
庁内開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」 提案分類結果表	9
庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果 グラフ	1 0
庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果表	1 1

(表 2)

碓井会場開催分 分類結果	頁
碓井会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」 提案分類結果表	1 3
碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果 グラフ	1 4
碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果表	1 5

(表 3)

山田会場開催分 分類結果	頁
山田会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」 提案分類結果表	1 7
山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果 グラフ	1 8
山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果表	1 9

(表 4)

嘉穂会場開催分 分類結果	頁
嘉穂会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」 提案分類結果表	2 1
嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果 グラフ	2 2
嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果表	2 3

(表 5)

稲築会場開催分 分類結果	頁
稲築会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」 提案分類結果表	2 5
稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果 グラフ	2 6
稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」 提案分類結果表	2 7

(表 6)

各会場分類結果 提案シート（補足資料）	頁
庁内開催分 提案シート	2 9
碓井会場分 提案シート	3 0
山田開催分 提案シート	3 2
嘉穂開催分 提案シート	3 4
稲築開催分 提案シート	3 6

庁内開催分 分類結果

- 庁内開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ●
- 庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ●
- 庁内開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ●

《支所の機能、あり方》

12票

合計19票

支所の機能

- ・支所は窓口業務に絞り最小の規模で

課や職員の配置

- ・専門的な知識を持った人員の配置
- ・支所の職員は地域づくりができる人でいてほしい

支所の位置

- ・嘉穂支所は夢サイト内に設置 跡地は公園のある住宅へ
- ・山田支所は生涯学習館内に設置し跡地は大型ショッピングモール

防災拠点としての支所

- ・各支所には防災資機材AED24時間多目的トイレなどがあると良い
- ・避難所(支所)にも使える会議室があると良い

支所の基本的なあり方

- ・支所ではほとんどの住民サービスができる
- ・高齢者が活用しやすい
- ・支所には地域の悩みを聞く場所があったらいい
- ・市民が頼れる場所になる(相談しやすい)
- ・移動支所バス機能あり

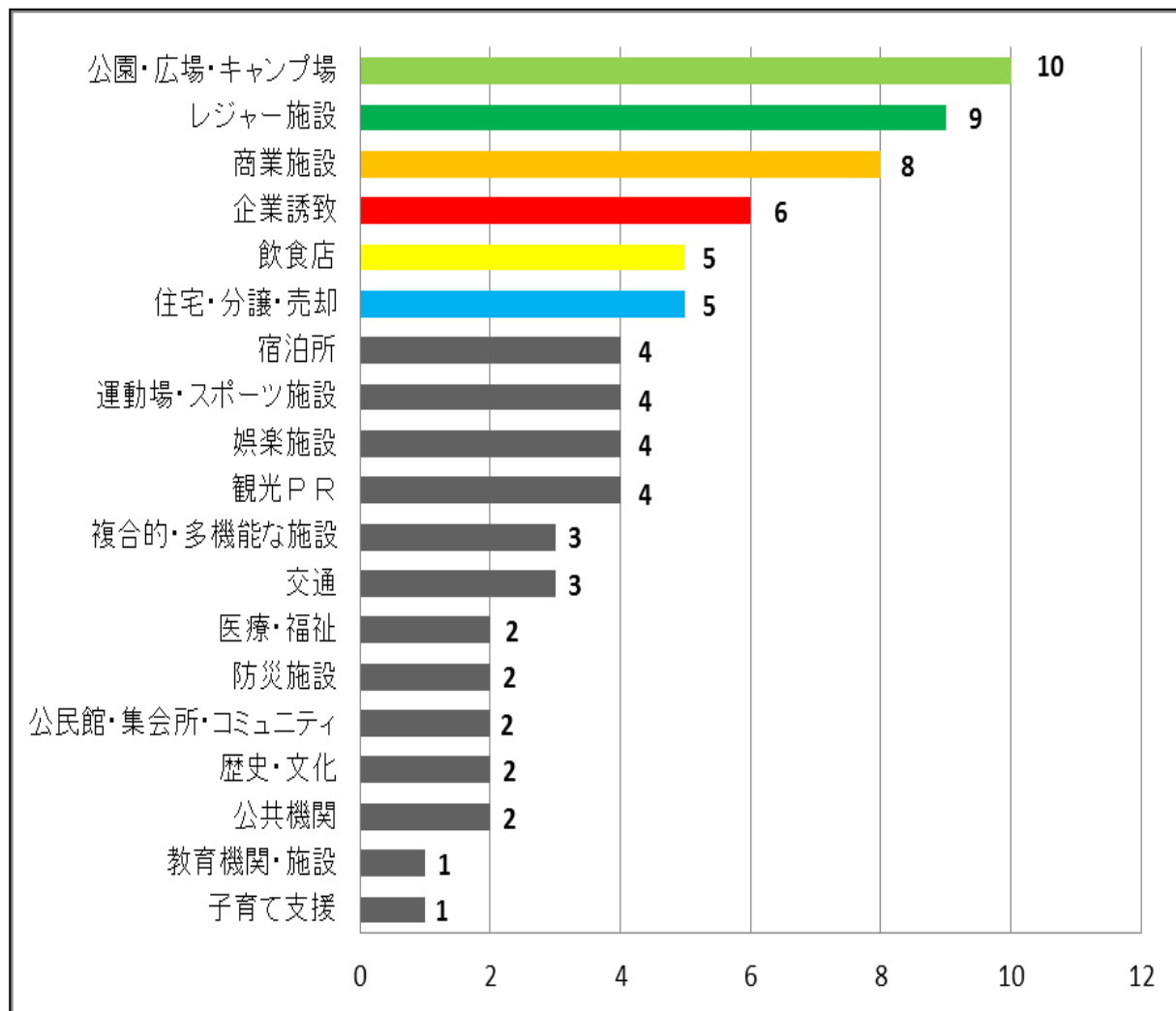
《その他》

7票

その他

- ・本庁舎、各支所を結ぶ道路建設
- ・宣伝はローマ字でYOUTUBEで
- ・宮野小学校、宮野分校も
- ・本庁舎、各支所の中央に民間の施設
- ・スロープ(新庁舎)
- ・トイレの数を増やす(新庁舎)
- ・あったかいご飯が食べられる食堂 市民もOK(新庁舎)

合計 77票



● 市内開催分「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ●

合計 77票

公園・広場・キャンプ場 10票	
・やすらぎ、自然(1/fゆらぎ)総合ハブ、レンタサイクル、水路、多自然型河づくり ・自然を活用した公園(アスレチック) ・市民が自由に遊べる広場があれば... ・子ども(親子)で過ごすことができる場所(碓井) ・市民が大勢集まれる広場 朝6:30分 ラジオ体操	・人の集まる遊び場(嘉穂庁舎跡地) ・各キャンプ場 ・子どもが遊べる大規模な公園(遊具) ・子どもの遊べるアスレチック ・キャンプカーが停まるところ(スタバの武雄市長より)オムツ換え室、授乳室

レジャー施設 9票	
・アスレチック施設 今流行のボルダリング、スケボー等ができるように ・自転車のレンタル場 子どもたちが借りに来た時礼儀を教えることもできる(碓井庁舎) ・ロッククライミング登山 ・嘉穂の林道をマウンテンバイク、モトクロスバイクのコースに	・フットサル場 ・釣り ・ロードバイク ・東京五輪に採用されたエクストリームスポーツを中心に自然を活かしたまちづくり ・山の頂上からパラグライダー ・アスレチック(糸島)誘致(嘉穂)

商業施設 8票	
・登山者向け商店(嘉穂) ・大型商業施設 ・市内全域対応の配達をしてくれるスーパー等... ・レンタルビデオ店 田川 小石原からの集客も ジム帰りに立ち寄れる→返却ついでに再びジムへ(山田 嘉穂)(庁舎)	・電機屋(ヤマダ電機、エディオン、ベスト電器) ・経費で出店ができる商業スペースなど... ・大型商業施設誘致(コストコ等)集客力のある業種(山田庁舎跡) ・嘉穂陸上競技場近くにお店(嘉麻市の予算PR)

企業誘致 6票	
・農業生産法人(会社) 嘉穂 ・狩猟者育成施設 会社(嘉穂) ・IT企業など誘致(各庁舎) ・スポンサーにレッドブル	・次世代エネルギー生産プラント(水素、エタノール)(山田) ・ジャパネットタカラ(山田庁舎)

飲食店 5票	
・居酒屋やファミレス等が欲しい ・ママ友が集えるカフェ(調理室)子どももOK ・大きな公園と食事処がセットになっているバン屋かバイキング(嘉穂支所)	・おいしい食べ物に出会える(山田) ・市民農園付バイキング店(地産地消)料理もできたら面白そう

住宅・分譲・売却 5票	
・環境対応型住宅 ・魅力のある住宅(新しい町並み) ・高級高齢者マンション(春の桜はとても美しく見晴らし良い)(山田)	・分譲地と整備(安く売る)(山田) ・住宅地として

宿泊所 4票	
・宿泊所 ・宿泊施設で提供する食材等地産地消で	・旧足白小学校を宿泊施設に ・スポーツクラブ合宿地誘致

運動場・スポーツ施設 4票	
・嘉穂小も近く子どもたちの運動能力UPにも(嘉穂庁舎) ・住民ホールのボルタリング施設化(中心に観客席)ボルタリングのメッカ	・ボルダリング(各庁舎、学校) ・嘉麻市にしかないスポーツ施設

娯楽施設 4票	
・山田庁舎に映画館 ・子どもの秘密基地	・嘉穂プールをスケボーのパークにBMS ・大人の秘密基地

観光PR 4票	
・りんごやナシ等のフルーツの物産館 ・歴史資料館、美術館のPR	・観光の拠点 ・海外からの観光客も

複合的・多機能な施設 3票	
・大任物産館(子どもの遊び場、食事、お風呂)(碓井) ・大隈小跡地と全体的に整備し支所を文化館、バイキングレストラン(嘉穂)	・複合施設(直売所・支所・病院・交通(バス)宿泊)

交通 3票	
・交通手段の整備 ・バスセンター(ターミナル)(嘉穂)	・碓井庁舎前へバスセンター(西鉄・市バス)(嘉麻の交通拠点)碓井

医療・福祉 2票	
・健康面で色々(検診、運動等)できる施設	・地域のじいちゃん、ばあちゃんを雇用

防災施設 2票	
・防災センター(山田)	・シェルター(byスイス)布団・毛布・食料

公民館・集会所・コミュニティ 2票	
・高齢者や子どもが集まれる交流スペース(調理室欲しい)	・美術ひろば(制作所)大人も子どもも作れる用具があり好きにように使ってよい

歴史・文化 2票	
・歴史探索ができる拠点となる場所	・古い町並みを残しつつ環境の中心となる庁舎(嘉穂地区)

公共機関 2票	
・他の行政部署が入ることのできる建物(総合支所のような建物)(総合庁舎のようなもの)	・警察との連携 交番、(新庁舎)

教育機関・施設 1票	
・体験型の博物館などの学習施設	

子育て支援 1票	
・子ども食堂(北九州)共食の場所	

碓井会場開催分 分類結果

- ◆ 碓井会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆
- ◆ 碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆
- ◆ 碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

◆ 碓井会場開催分「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆

《支所の機能、あり方等》

7票

合計15票

支所の機能 ・支所は日祝も空いている(休日に市民が相談できる) ・お年寄りや女性のための何でも窓口をつくる→社協→もっと良く聴ける	課や職員の配置 ・支所は総合窓口と地域の特性に即した係を置く(支所の方が地域に密着したサービスをするべき)(支所と本庁の役割分担を明確にしてほしい)
防災拠点としての支所 ・本庁と支所の役割分担を明確にする(災害時を想定)	支所の基本的なあり方 ・支所に市の車を1台は置く
複合的な支所(支所と他施設の併用) ・美術(芸)に親しむ支所	市民の憩いの場、活動拠点としての支所 ・地域の憩い(ロビー、新聞、カフェ)(各支所)

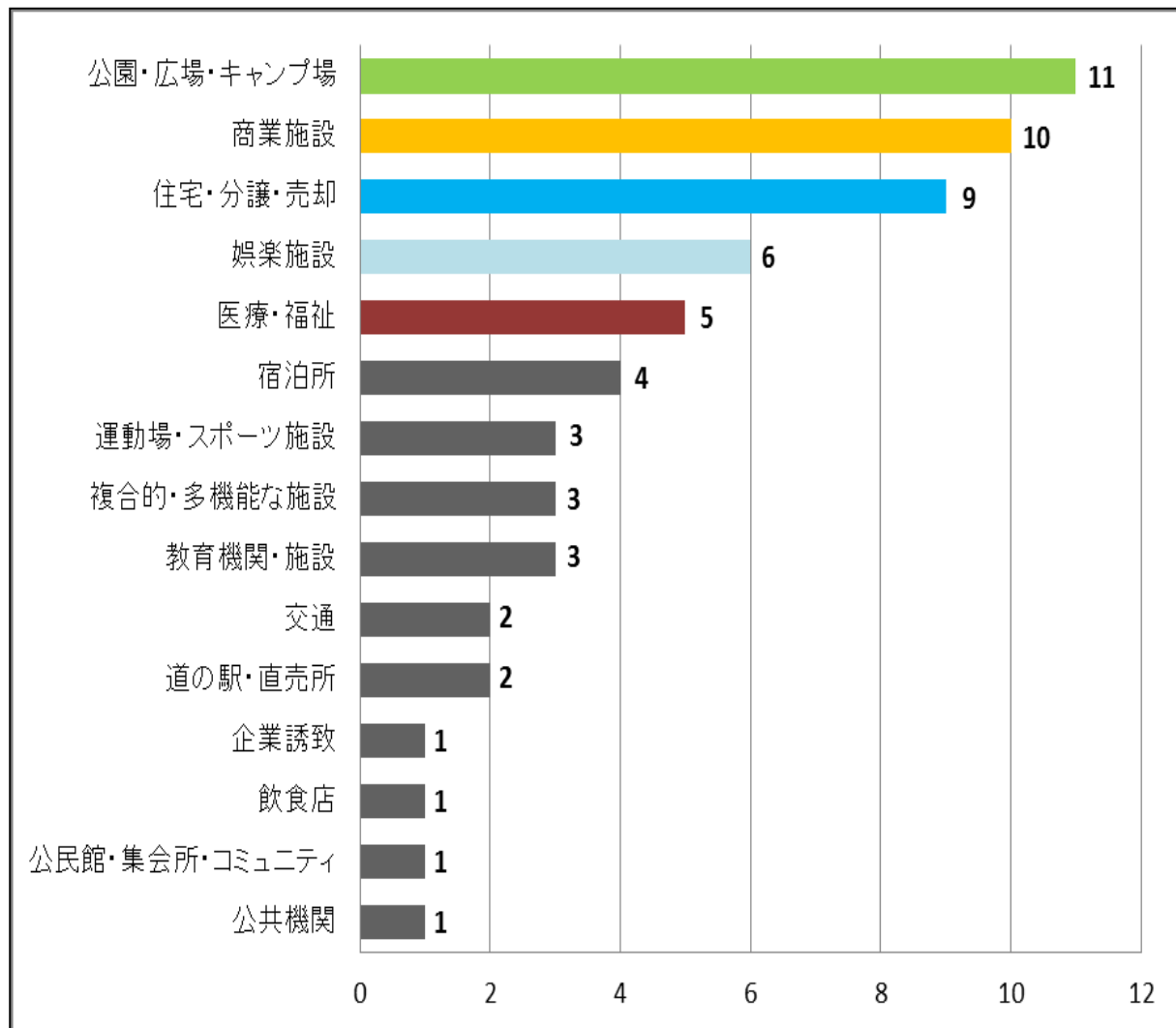
《その他》

8票

その他
・先進地、先進国で視察に行き再生組織イベント会社を立ち上げる ・森林浴 ・専門店 ・有名デザイナー、アーティストに移り住んでもらい地域活性化を図る ・嘉麻市にしかない公衆トイレ ・大隈小学校の跡地は住宅にしない方が良い運動場くらい離れていればいいかな。 ・妖怪ウォッチやポケモンなど街に出てくる設定のものとコラボした建物 ・美術館などでアンパンマンや仮面ライダー等の展示

◆ 碓井会場開催分「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆

合計62票



◆ 碓井会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

合計62票

公園・広場・キャンプ場 11票	
・道の駅との連携、広場、駐車場の拡大(碓井) ・道の駅との連携サイクリング(碓井)サイクリングコース ・子どもたちが長期休暇中にまわって遊べる場所。大きな公園とか(小学校跡地) ・野外で遊べる施設 ・道の駅と連動した遊び場(碓井)	・子どもが安全に遊べる場所 ・雨の日でも遊べる大きな子育て広場 ・公園 ・遊び場として利用 ・子どもが安全に遊べる広場(公園) ・子どもたちが自由に遊べる施設や場

商業施設 10票	
・商業施設 ・嘉穂イオン ・イオンをつくって欲しい ・商業施設 広い駐車場(碓井) ・市場 ・店	・道の駅があるのでショッピングセンター(碓井) ・ショッピングセンター(碓井庁舎) ・ショッピングセンター ・大型ショッピングセンター

住宅・分譲・売却 9票	
・住宅の増加 ・住宅地(山田) ・シェアハウス ・家を建てる土地として売り出す ・宅地分譲地をつくって欲しい	・古民家の紹介(田舎暮らし) ・アパート、マンション、住宅地(嘉穂、山田) ・市役所の上にマンション ・宅地分譲

娯楽施設 6票	
・映画館 娯楽施設 ラウンドワン ・映画館 ・テーマパーク ・映画館	・温泉のようなものに ・ドライブシアターをつくって欲しい(碓井)

医療・福祉 5票	
・いきいきサロン 高齢者の交流の場 ・高齢者向けマンションと複合施設 ・保育所があるので公園、デイケアセンター等グループホーム(嘉穂庁舎)	・病院 ・病院

宿泊所 4票	
・若い人たちが宿泊できる施設(小学校跡地)海外をターゲットに集客を！福岡、北九州にも近いので滞在の拠点にしてみることが可能では？	・体験型施設(宿泊、農業等) ・学校の再利用スペースイベント宿泊施設へ ・宿泊施設(嘉穂・碓井)

運動場・スポーツ施設 3票	
・競技場 ・体育館(健康づくり)	・総合的な運動ができる場所

複合的・多機能な施設 3票	
・多くの企業や地元と連携をして一体的な開発をしていけば(たとえば稲築庁舎前のJAのところとか) ・公園+カフェ 全天候型施設 外+中	・体育館を作り直してライブやコンサートができる場所

教育機関・施設 3票	
・文化施設(碓井) ・図書館	・塾

交通 2票	
・交通センター(バスセンター)	・大型バスの停車場

道の駅・直売所 2票	
・大規模な道の駅をつくる(馬古屏、道の駅うすいを合併する)地域に散らばる多くの魅力を一堂に集める→交通の要衝に！	・道の駅の拡大(碓井)

企業誘致 1票	
・コールセンターの誘致	

飲食店 1票	
・碓井庁舎の駐車場にレストラン(バイキング)	

公民館・集会所・コミュニティ 1票	
・お年寄りの方が集まってゲームをしたりお話をしたりする場所	

公共機関 1票	
・嘉穂警察署を取り壊す。支所の跡地に移設する(稲築庁舎跡)安心安全な庁舎環境を実現！	

山田会場開催分 分類結果

◆ 山田会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆

◆ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆

◆ 山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

《支所の機能、あり方》

29票

合計36票

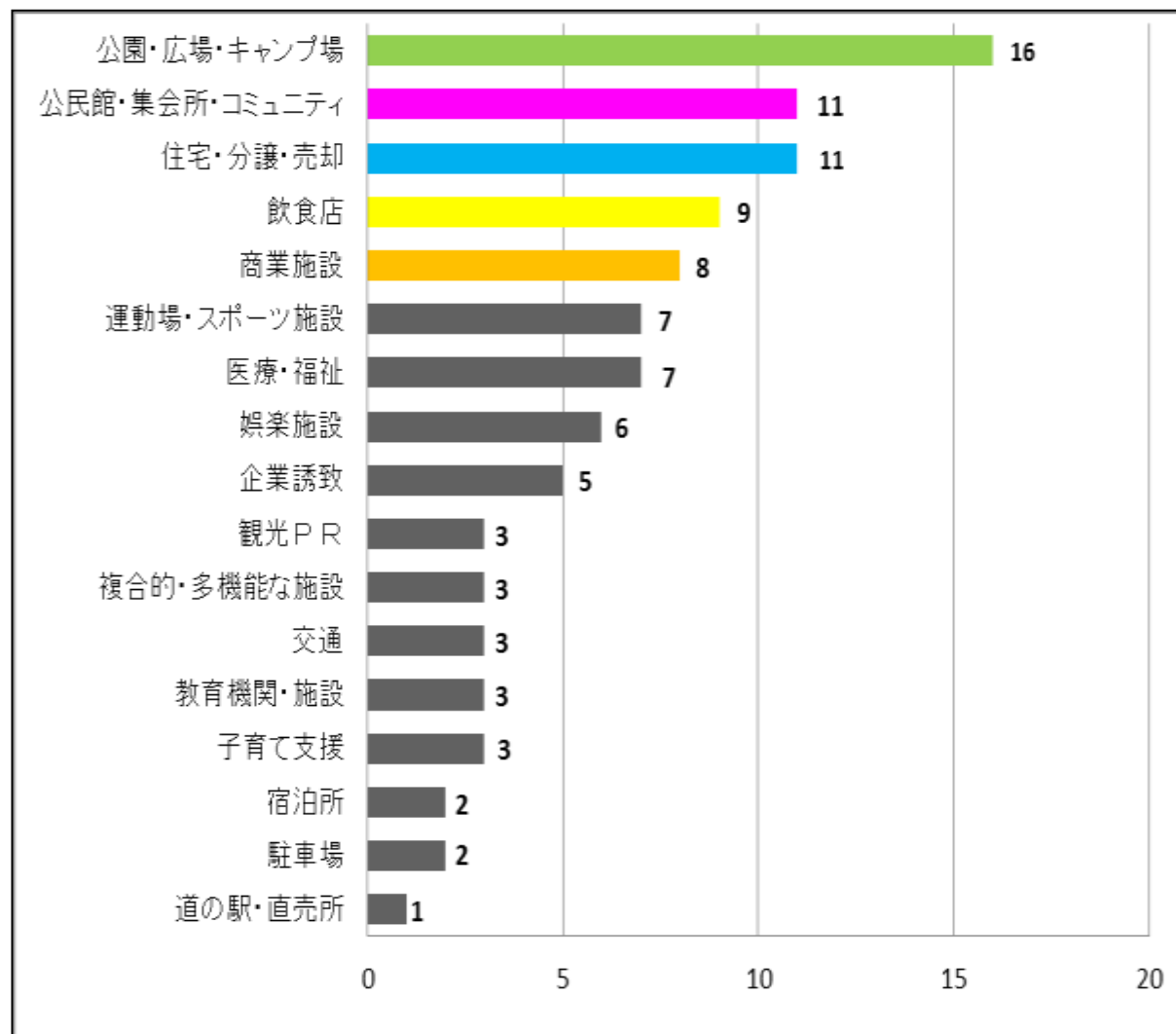
支所の機能	支所の基本的なあり方
・スカイプ(テレビ電話)等を利用した窓口 ・碓井庁舎に子育て高齢者に関する組織を統合する ・スーパーや地域の公民館に自動で住民票の取れる機会を設置する ・支所は証明書発行程度で本庁と直接繋がった処理ができればよい ・碓井庁舎に子育て、高齢者までが一体的に対応できる組織づくり ・支所を減らす スーパーや地域の公民館に自動で住民票の取れる機械を設置する	・支所は日・祝も空いている(3人⇒4人)(高齢者対策) ・移動庁舎、支所 ・入りやすい庁舎 ・本庁から離れているので行政サービスに不公平なことが起きないように ・相談しやすい庁舎 ・県消防学校と繋がる何か(日赤もあるので) ・用事はないけど誰かがおるけん行くという場所 ・コンパクトな支所(生涯学習館)山田の場合
課や職員の配置	複合的な支所(支所と他施設の併用)
・支所は市民窓口と地域に適した係を置く(10～15人)	・単なる窓口業務だけでない支所の機能を ・各支所には物産館を入れる、コミュニティバスを待つことができるオープンスペースをつくる ・支所の一階に買い物ができるショップ(地産、趣味で作ったものを販売) ・支所の隣に小さなテーマパークをつくる(遊園地)子ども連れの方でも支所に行きやすいから ・単なる窓口業務だけではない支所の機能を ・観光拠点となりうるようなコンシェルジュを配置した支所 ・健康相談室、血圧、食生活改善相談
市民の憩いの場、活動拠点としての支所	
・支所の1階に住民が待ち合わせ場所として使えるようにする ・県外、市外の人の休憩所 おもてなしの場所	
支所の位置	防災拠点としての支所
・支所は図書館の並びで良い(銀行、農協もある) ・人口バランスや利用の便利さを考えた配置(嘉穂地区は2つとか) ・できる限り多くの地域に支所の出先をつくる(移動支所)	・災害時の司令塔(拠点) ・緊急な事態や災害の時住民が頼れる支所と職員の配置

《その他》

7票

その他
・生涯学習館のキャパを広げて周辺を再開発させて商業的にも活性化させる ・美術館の企画展にアンパンマンの原画や仮面ライダーのスーツ等を展示して子どもたちに行きたいと思っていただく ・全国放送テレビに道の駅を出す ・地区対抗の運動会 ・それぞれの支所は各地区の1等地なので市民の財産なので簡単に切り売りしない。じっくり考えて下さい(市の財産ですから) ・生涯学習館周辺の開発 ・社協が老朽化しているので災害時のボランティアセンター等を設置できるように頑張ってもらいたい

合計100票





山田会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表



合計100票

公園・広場・キャンプ場 16票	
・子どもの広場(のびのびと安全に遊べる場所) ・お金のかからない遊園地 夜須高原のような施設 ・自然いっぱい公園や施設(家族で遊べる) ・緑豊かな公園 ・嘉麻市に意外とない遊具のある公園 ・子どもが遊べる大きな公園 ・定期的にふれあい市場や市民参加型のイベント広場に活用 ・自然を利用した公園	・何も無いけど使い勝手の良い広場 ・夜須高原みたいな施設(学校の給食が食べられる) ・道の駅が近いのでイルミネーションや公園をつくる ・公園(かほ) ・広場 ・集える広場 ・ちょっとした公園 ・公園を造って欲しい

公民館・集会所・コミュニティ 11票	
・家庭農園(様々な人たちが集まる場所。異年齢の交流の場。) ・絵の展示やミニコンサートができるような場所がある ・人が集まる工夫のもの ・コミュニティの拠点にしてほしい ・文化ホール(稲葉町庁舎跡) ・交流の場	・市民の集いの場 ・嘉麻市みんなが集まれるような公民館 ・地域内でも地域外の人とでも交流できる場所(サロンのような開放的さ) ・老人が集まって話したり簡単なゲームをしたりする場所(トランプ、だるまさんが転んだ) ・3世代交流

住宅・分譲・売却 11票	
・個人事業者への貸出(廃止施設) ・旧支所は若者対象の分譲地にすれば子どもも増え定住に望まれる。 ・定住のための住宅地 ・山田・嘉穂支所は宅地化し交通網を整備する ・庁舎跡地にマンション、団地をつくる(山田地区) ・定住化を促進するための宅地分譲(賃貸住宅→分譲)	・自然を活かしたお洒落なシェアハウスができる住宅 ・碓井庁舎周辺の宅地開発を進め住みよいまちづくり ・ものすごく高いビルをつくる ・行政主体でのアパート運営 ・若者定住化(庁舎跡地利用)

飲食店 9票	
・おいしいレストラン お洒落なバー ・飲食店(ランチバイキング) ・グルメ街(ラーメン、うどん) ・市に住んでいる人たちが出せるようなお店を作った(食べ物屋さん) ・スターバックスがほしいカフェ ・喫茶や食堂を設置する	・かましちゃん顔のご飯とかましちゃんや嘉麻市に何かあるものが食べられるレストランやカフェ ・有名な(行列ができる)スイーツ店orパン屋 ・ご飯がおいしいから飲食店

商業施設 8票	
・商業施設(イオンとか...) ・庁舎跡地に大型スーパーをつくる(イオン、ゆめたうん)など ・文房具屋をつくる(飯塚に最近できた玉置とカフェ付のものなど) ・レストラン、カラオケ、ゲームセンター	・ショッピングセンター ・店(碓井) ・スーパーなどの店を設置 ・スポーツ店(ヒマラヤ) ・大型商業施設 交通体系の充実・地域の人の交流

運動場・スポーツ施設 7票	
・スポーツセンター ・運動場をつくるまたは体育館 ・陸上競技場の設置 トラック(400m)青 ・体育館とかボレーン場をつくる	・雨の日でも練習できるような屋内施設 ・色々な運動ができる場所 プール スケート ・子どもが遊べるように体育館などをつくる

医療・福祉 7票	
・高齢者集合住宅 商店等もある ・公的な老人ホームのような施設 ・各支所に薬局とか介護予防につながったハローワーク的なステーション、子どもの一時預かり所のつなぎのステーション	・大きな病院をつくる ・高齢者と児童の供用施設 ・現山田庁舎は介護施設に ・高齢者向け集合住宅みたいなもの

娯楽施設 6票	
・テーマパーク ・溪流釣り施設 ・ケーブルステーションが配置されているので映画村?みたいなものはどうか? ・市民の憩いの場を作る(銭湯等)	・支所の隣に小さなテーマパークをつくる(遊園地)子ども連れの方でも支所に行きやすいから ・流れるプールをつくる(室内) ・カラオケのような施設が少ない

企業誘致 5票	
・今の庁舎はケーブルテレビのほか民間会社が入ってくれたらいいな ・若い人が務めやすい会社の誘致 ・大きな会社	・大きな会社の工場をつくる ・ビール工場の誘致(花畑)

観光PR 3票	
・道に迷った時や観光案内で利用できる ・森の中で遊べるようなもの 外国人の観光客のための施設、パンフレット	・嘉麻市物産館(嘉穂庁舎跡)

複合的・多機能な施設 3票	
・道の駅うすい周辺に産直営業レストランや温泉施設を建設 複合的なもの ・コミュニティ型モールタウン「住宅、公園、小さなスーパー」→支所の一部が販売所(嘉穂庁舎跡)	・自然食レストラン付団地 スケート場や温泉をつくる

交通 3票	
・支所と本庁との直通シャトルバスを1時間1本程度 ・本庁と支所間の送迎バス	・バスのターミナル(嘉穂)

教育機関・施設 3票	
・大学が欲しい ・碓井庁舎周辺の箱物を活かした教育環境づくり	・もっと大きな図書館にしてほしい

子育て支援 3票	
・碓井庁舎横の療育施設を拡充する ・保育園とかをつくれれば待機児童が減る	・保育園など子育て支援の建物にしてほしい

宿泊所 2票	
・宿泊可能な施設(温泉もある)	・宿泊施設 食事処

駐車場 2票	
・雨が降っても行きやすいように屋根つきの駐車場をつくる	・駐車場は立体駐車場にする

道の駅・直売所 1票	
・大任みたいなの道の駅をもっと大きくする	

嘉穂会場開催分 分類結果

- ◆ 嘉穂会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆
- ◆ 嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆
- ◆ 嘉穂会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

《支所の機能、あり方》

29票

合計39票

支所の機能

- ・支所最低限の窓口業務は残すべき
- ・各支所は日、祝も開ける 公用車も置く(地域密着)
- ・高齢者が多いのだから常務手続きが1カ所でできる工夫

支所の基本的なあり方

- ・庁舎は小さなものに変える
- ・気軽に来れるような庁舎
- ・嘉穂支所は県道からすぐ見えるようにできたらいい(前の家)
- ・市庁舎をバックアップできる支所は必ずいる耐震構造
- ・地域の核になるような支所
- ・3地区には支所を残してほしい

市民の憩いの場、活動拠点としての支所

- ・地域の情報が集まりまた発展していける。市民のネットワークが広がる。
- ・支所は待ち合わせができる場所
- ・支所は市役所というよりも人々が気軽に交流できる場所

支所の位置

- ・新支所はこの夢サイトの近くに設置
- ・夢サイトの近くに支所を置く今の支所は宅地化する
- ・嘉穂中学校の辺り(水害に強い)嘉穂支所
- ・嘉穂庁舎は夢サイトの並びの方が良いのでは(嘉穂地区の人で決める)

課や職員の配置

- ・農業、林業を中心とした産業振興課を置く(嘉穂庁舎)
- ・嘉穂庁舎は地元の環境から産業振興課を担う課があつたらいい
- ・嘉穂の特色、農林業、自然を活用できる新しい係を新設して支所に置く
- ・支所の重点的な任務として農林業を活かす課を置く
- ・新しい支所に市長の机スペースを備える

複合的な支所(支所と他施設の併用)

- ・各支所を医師が巡回する診療所的な施設
- ・支所、庁舎、市民のコミュニティセンターとして
- ・この二つの跡地の一角に支所を造るそして広く空いたところに人々が集える場所や子どもの遊び場をつくる

防災拠点としての支所

- ・支所+防災拠点(嘉穂支所)
- ・支所はとくに防災や小集団の相談場所として
- ・新庁舎と支所との情報格差が生じないシステムを構築する。とくに災害時を想定。
- ・防災機能を備えた支所であってほしい(器具、防災用品の備蓄、宿泊できる)
- ・防災棟をつくる(避難所)

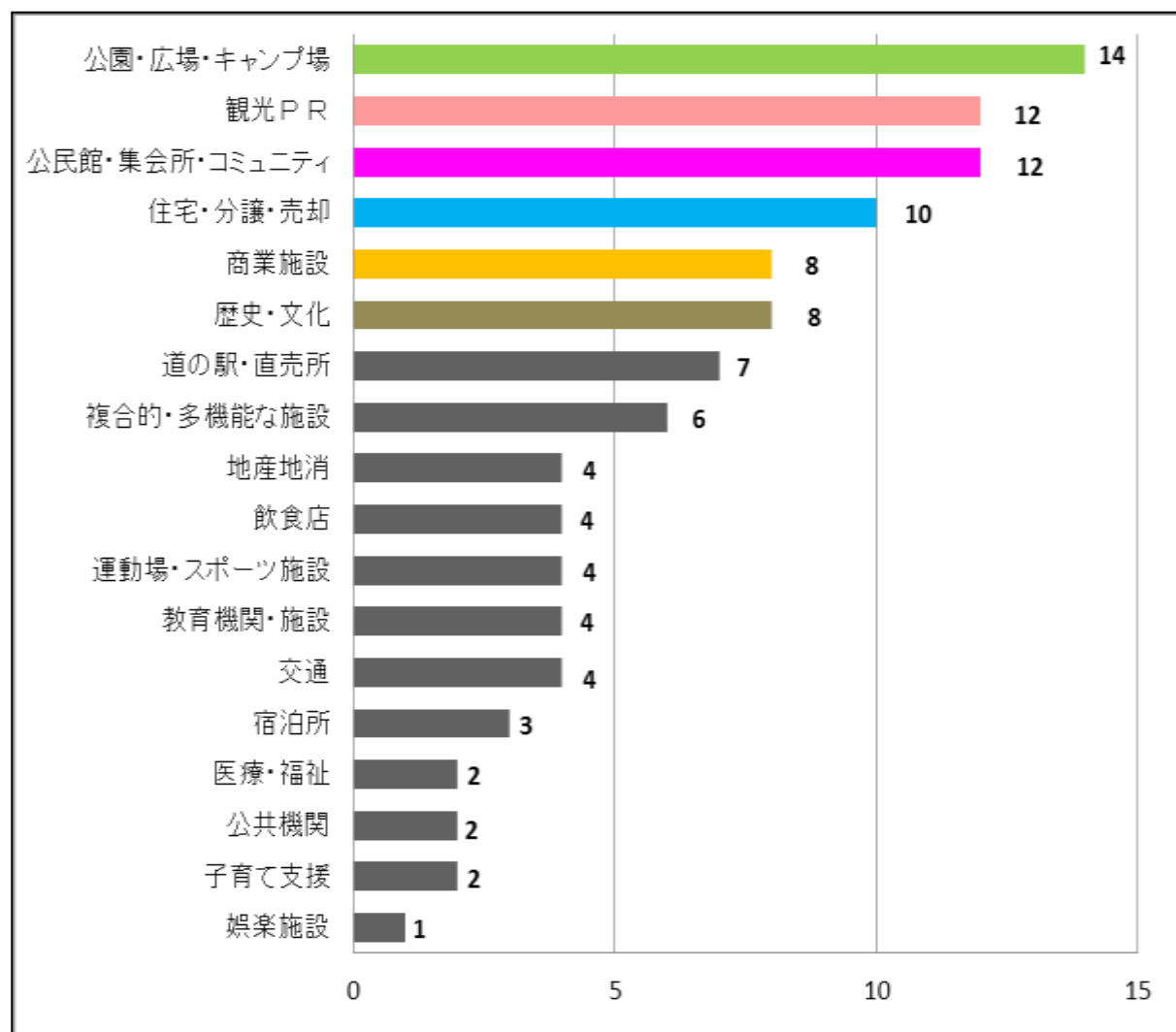
《その他》

10票

その他

- ・山田は高台なので眺めを利用した仕掛けを作る(春…桜 冬…イルミネーション等)
- ・新庁舎は嘉穂庁舎近くにしてはどうか
- ・敬老祝い金→子育て支援へ
- ・碓井庁舎についても嘉穂、山田、稲築庁舎の撤去と同時期にすべきである
- ・新庁舎建設と同時に3分庁舎を解体する
- ・支所の跡地(嘉穂地区)の利活用について住民にはいろんな意見があるまずそれを聞くところから
- ・より多くの施策を達成するために庁舎のみに経費を投入しない
- ・八丁トンネルの有効利用を
- ・空き家の有効利用
- ・支所については嘉穂庁舎…教育機関の誘致、山田庁舎…分譲地、碓井庁舎…警察

合計107票



合計107票

公園・広場・キャンプ場 14票	
・碓井庁舎 道の駅とコラボした子どもたちが遊べる公園 ・癒しがあって週末リフレッシュできる場所 例えば学校跡地をレンタル菜園(農業体験) ・大きな大きな公園(遊具)あえてなし。周囲ジョギングコース→半野外 フットサル、バスケットコート※後メンテナンス少なく ・室内で遊べる施設 ・筑豊緑地に負けない公園 ・大隈小跡地の利活用については足白小と連携した市以外から来ても楽しめるような公園の整備 ・子どもたちが遊べる公園等(嘉穂庁舎) ・嘉穂庁舎 公園	・嘉穂は緑が多く敷地が広いのでアドベンチャー的な公園(フォレストアドベンチャー) ・碓井は道の駅が近いので買い物のに遊んで帰れる遊具施設 ・老朽化している庁舎なので全て解体しとりあえずなんにでも活用できるように多目的広場としておく(芝生広場) ・大隈小の跡地は大人も子どもも利用できる運動公園にする(空き家が増える中住宅建てる必要ない) ・嘉穂 子どもたちの集まれる公園 ・小学校跡地 都会の小学校にキャンプ地として利用していただく
観光PR 12票	
・自然、農業という嘉穂の魅力を活かせる場(嘉穂支所) ・嘉穂庁舎 農村体験 山登りなどの自然を活かした体験施設 ・特産品の販売 ・近くに道の駅もあるので嘉麻市の良さをPRできるようなスペース(碓井支所) ・役所に用がなくて人が集まれる場所 公園や観光スポットを併設 ・動物や牛を楽しめる場所	・まちライブラリー ・322号線→跡地 →足白小跡地 →織田美術館 →運動公園 ・城山等町並みや嘉穂三山を活かす取組 ・農業と観光の文化が中心になる(嘉穂支所)地域全体を見据えて ・322号線から他地区の人々も立ち寄って楽しめる ・嘉穂アルプス(山岳遺産認定)も取り入れて
公民館・集会所・コミュニティ 12票	
地域の方で自由に活用できる場所が欲しい(高齢者の交流) ・高齢者の健康増進のための施設 ・寺子屋的な月毎にしめ縄作りとか手作り遊び道具 ・市民の皆さんが交流できる場 ・市民が自然に集まることのできるサロンのな活用ができればいいか ・嘉穂庁舎 公民館 大隈分館⇒ふるさと交流館	・地域のコミュニティの拠点であるべき ・まちづくりについて意見交換ができるようなコーナーづくり ・現在地に支所機能及び(大隈分館、他3地区は館がある) ・各地域で自由に活動ができる場所 ・文化施設、住宅、公園・トイレ・食堂(跡地利用) ・コタツのある部屋 オレンジサロン、公民館、集いの場所
住宅・分譲・売却 10票	
・分譲地(嘉穂庁舎跡) ・民間への譲渡の場所を宅地へ 土地代無料(10年以上住む、子どもさんがいる人連etc) ・碓井は場所や周辺の店も併せ良い環境にある→遊ぶ場所等 もしくは住む所に ・嘉穂庁舎周辺は学校、保育所、銀行、郵便局などに近いのでそれを活かして人々が住めるような建物を造れば良いと思う	・貸家、アパート建設 ・旧支所跡地は旧大隈小学校跡地に住宅用地を造成する ・若い家族が住み続けるためには嘉穂庁舎と大隈小学校跡地の利活用にかかっていると思う ・宅地造成(嘉穂支所) ・山田庁舎の利用 宅地にする(土地無料)家は...自分で。人口増が目的 ・ちょっとおしやれな住宅
商業施設 8票	
・商業施設として活用 マーケット多目的 ・買い物ができる拠点 ・嘉穂支所の近くに買い物ができるような場所があって欲しい ・大型のショッピングモール(アウトレット店みたいな)	・碓井庁舎前アンテナショップ ・学校は商店にしようか ・買い物難民を作らない市 ・買い物ができる場所
歴史・文化 8票	
・大きな歴史史料館をつくる ・歴史史料館をつくる ・文化施設として交流の場所 ・嘉麻市の歴史を紹介する展示室兼公文書館としての活用 ・お金を無駄に使わずに文化施設の設置を	・嘉穂庁舎の利用 嘉麻市博物館 ・嘉穂→体育館+グラウンド+建物の場所を歴史資料 ・文化サークルなどで作った作品を展示するスペース
娯楽施設 1票	
・ラウンドワン	

道の駅・直売所 7票	
・誰でも売ったり買ったりスペースにする(外国の人も) ・道の駅は碓井だけでいい ・メガ道の駅 嘉麻市特産品、名産品販売(公園) 嘉穂庁舎跡地 ・高齢者ができる範囲で働ける喫茶店や包丁研ぎや手芸品広場など	・小さな道の駅 ・道の駅(馬古屏が心配) ・碓井庁舎の利用として道の駅を広げる(現道の駅うすい)
複合的・多機能な施設 6票	
・市民の人が利用できる場所 例)図書室・歴史室・運動するところ・市民の運動会・災害避難場所 etc ・小さな支所も入っている、ショッピングモール、病院(子ども)も入っていると良いかも ・庁舎内に馬古屏のような場所	・支所に色々な機能を持たせる・スポーツジム・サロン(お茶のみ場等)誰でも利用可 ・観光施設、商業施設、多目的施設 ・支所+道の駅のようなところ
地産地消 4票	
・開催される日時限定で食堂開店(嘉麻市の野菜使用) ・嘉穂の野菜を使ったカフェやパン屋がある自然豊かな公園	・食事ができる場所(嘉穂の直産市場も) ・碓井支所 農家の方が作ったたくさんのおかず(無農業)等揃った店を作る
飲食店 4票	
・TUTAYA コーヒーショップ(稲葉庁舎跡地) ・飲食店街	・皆が語れる一時休憩所(カフェ) ・嘉穂庁舎(各団体の施設)飲食店
運動場・スポーツ施設 4票	
・珍しいスポーツができる施設 ・嘉穂庁舎跡は卓球場(ラージボール)大隈小跡グラウンドゴルフ場	・山田 スポーツ(野外)ができる場所 ・大隈小学校の体育館を使って地域の方々とスポーツを通じ交流できるようなもの
教育機関・施設 4票	
・支所で学習塾(大手)みんな飯塚まで送迎で行っているの ・教育機関	・休日でも勉強を教えてくれる人がいる勉強スペース ・勉強のできる場所
交通 4票	
・交通(公共)優先順序 1食 2病院 ・買い物バス	・交通が便利になるような拠点 ・買い物ができるバス路線
宿泊所 3票	
・自然が活用できる学校(宿泊できるもの) ・嘉穂庁舎 宿泊施設や体験施設	・外から帰った人の宿泊場所
医療・福祉 2票	
・充実した医療施設	・発達支援施設
公共機関 2票	
・山田庁舎 県や国の施設の誘致	・嘉穂庁舎は農業研修センター等に(全国的なもの)(県)
子育て支援 2票	
・嘉穂庁舎跡地と大隈小跡地を合わせて子育て中の若い家族が楽しめる場所になったらよい(若い人たちが他地区へ出るのを食い止める)他に地区からも流入する ・嘉麻市立保育所	

稲築会場開催分 分類結果

◆ 稲築会場開催分 「支所の機能、あり方」、「その他」提案分類結果表 ◆

◆ 稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果 グラフ ◆

◆ 稲築会場開催分 「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ◆

《支所の機能、あり方》

17票

合計24票

支所の機能

- ・支所は窓口業務 会議のできる部屋
- ・支所にはAED、多目的トイレがある(24時間利用可)

支所の位置

- ・一極集中(支所はほんとの一部最低限必要なもの)
- ・支所は夢サイト(かほ)山田は生涯学習館に(山田)

市民の憩いの場、活動拠点としての支所

- ・支所を住民交流の場に

複合的な支所(支所と他施設の併用)

- ・交通の拠点となる庁舎や支所
- ・夜遅くまで利用できる学生が飲食できる(本庁舎や支所)

防災拠点としての支所

- ・支所は4つの避難所にする
- ・緊急時のために生活空間があったら どの支所にも
- ・全ての支所で防災の格差はなくしたい
- ・防災の拠点となる庁舎
- ・防災の本部、支部、設備等の完備

支所の基本的な在り方

- ・ハード面に加えてソフト面の充実
- ・人が集まりやすい庁舎や支所
- ・本庁と支所とのつながり方
- ・支所は土曜日は休みでも日・祝は空ける(本庁舎もトイレ休憩ができる)
- ・庁舎を利用する方が年に何度も行くことがない

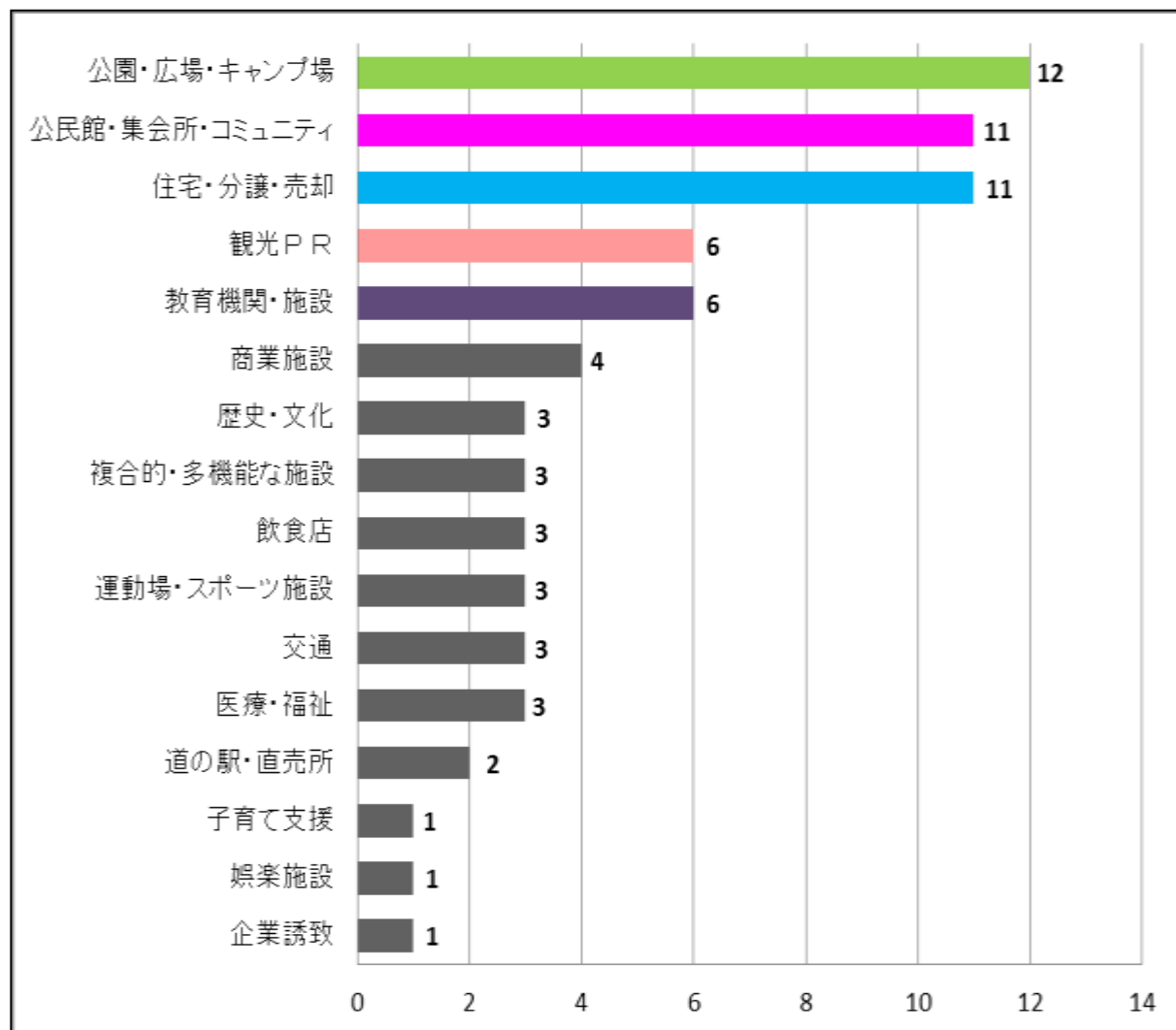
《その他》

7票

その他

- ・行政の手続きを様々な場所で 新たに支所をつくる必要があるか
- ・支所の住民への活用を考える
- ・庁舎資産のスクラップアンドビルド ※公共施設の全て
- ・本庁舎に食堂など
- ・庁舎をシティマラソン、高校のマラソンの時に泊まれるようにする
- ・稲築本庁舎広場で野菜の産直ができる
- ・本庁舎への通勤は市バスを利用(飲食店ができる)

合計73票



♥ 稲築会場開催分「庁舎資産の活用方法」提案分類結果表 ♥

合計73票

公園・広場・キャンプ場 12票	
- 子どもが遊べる場所に利用 広いスペース - 庁舎資産の広い面積はとりあえずそのままにしておく - 広い公園(管理されている) - 本庁舎裏の親水公園に遊び場(吊り橋など) - イベントができる広場の確保⇒祭り - プレイパーク(公園等の広場) - ゲートボール場(かほ) - 安全な公園	- 子ども、高齢者誰もが利用できる(交流)遊び場 - 多目広場(緑のある公園) - 公園(道の駅との連携 大任の道の駅みたいな。(イルミネーション) 多目的な道の駅(うすい) - 嘉穂か碓井 車を長期停車できる広場

公民館・集会所・コミュニティ 11票	
- お年寄り子どもたちが一緒に集える場所 - 公民館を隣につくって欲しい(稲築) - 子どもと地域住民がふれあえる場所 - 図書館、公民館等の地元の人たちのコミュニティの場(稲築) - 子どもたちが学校終わりに利用する場所(児童館みたいな) - 稲築庁舎の跡は公民館と住民ホール	- 集まって話せる場所(公民館)etc - 講座を開く場所(子ども大人問わず) - 人が集まりコミュニティを深める施設の設置 - コミュニティセンター - 支所と公民館は同じ建物が隣りあわせが良いのでは?

住宅・分譲・売却 11票	
- 土地は無料で家を建てて⇒将来のキャッシュバックを考えて 年齢制限あり - 宅地分譲 - 定住促進となる宅地分譲やマンションの誘致 - 住宅地として活用 - 若年層向けの賃貸住宅(碓井) - 住宅地としての対応	- 稲築庁舎跡はマンション(民間)+ファーストフード店 - 山田、碓井、嘉穂の土地は基本売却 - 定住促進の機会拡大のため宅地造成、マンション建設 - 分譲地+公園(稲築)(山田) 家、バスセンターのようなものを...どこでもオツケー

観光PR 6票	
- 道の駅と連動して観光の拠点 - 観光拠点の施設にしたい(駐車場含めて)(嘉穂地区) - 町並みを活かした観光施設(かほ)	- 観光案内所(かほ) - 観光遊歩道の中継場所的役割 - 市内内外の人の集まる場の整備(観光施設)

教育機関・施設 6票	
- 大学の誘致 - 近代的な図書館が欲しい 学習スペースを広くとって欲しい - 小学生が夏休み等の学習の場にもなり一人親世帯等の子どもの学力向上の場になる	- 図書館を広くしてほしい(稲築支所) - 図書館を早急に(新庁舎と一緒に)建ててほしい - 図書館

商業施設 4票	
- スーパー(ショッピングモール) - 劇場かイオン等人の集まる活動できる場所があるといいな。(稲築)	- 大型商業施設の誘致 - 大型スーパー(山田)(嘉穂)

歴史・文化 3票	
- 町並み保存と庁舎跡地は歴史を伝える場(かほ) - 歴史文化を学べる発表するところ	歴史を残した施設、公園(川遊びそうめん)、駐車場(かほ)

複合的・多機能な施設 3票	
- 公園、カフェ。図書(かほ) - 病院、福祉施設、学校、商店等を一カ所に集積する	生活用品コーナー、病院、学校、保育園、イキイキサロン(一緒に)

飲食店 3票	
- 放課後の食堂 - その地区の中心であるので喫茶店的なのがあると良い	飲食店

運動場・スポーツ施設 3票	
- 介護(軽度)とスポーツ施設を合わせた施設の運営 - スポーツ施設(嘉穂体育館のような)	市庁舎ができるのと体育館が壊されるのでそれに代わる運動のできる場所

交通 3票	
バスセンター化、集会所併設	- 交通の乗継場 - 地域内外移動に係る交通拠点の整備

医療・福祉 3票	
高齢者、障害者などのバックアップの拠点(社協との連携を含めた)	- 生活拠点となる総合福祉施設の誘致 - 総合病院

道の駅・直売所 2票	
大型の直売所を設置(山田)	道の駅の拡充(碓井)

子育て支援 1票	
子育て支援センター(鴨生にもあるけど...また別のもの)(お年寄りも来れる乳幼児と学童→昔遊び体験⇒味噌造り、米作り体験など)	

娯楽施設 1票	
室内で楽しむことができる場所をつくる	

企業誘致 1票	
企業誘致(山田)	

各会場分類結果 提案シート

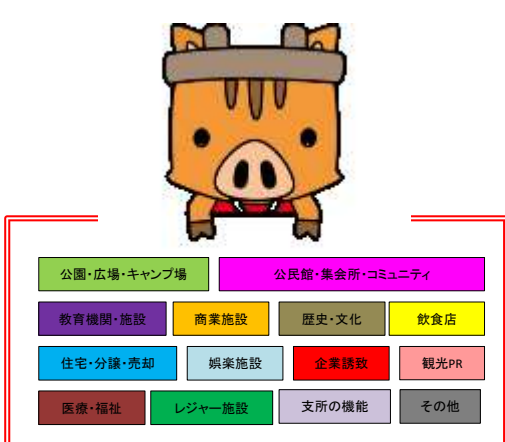
10月20日(木) 庁内開催分 提案シート

平成28年10月20日(木) 庁内分 15:00～
参加人数22人

項目	青 (第2次嘉麻市総合計画)					赤 (地域整備基本計画)				
I 産業振興と雇用	・高層マンション	・就職ができるような企業があるといいな	・企業が元気なまち 税収増	・働く場所のある嘉麻市	・商業施設増加	・商業施設	・登山者向け商店 (高橋)	・農業生産法人 (会社) 高橋	・本庁舎、各支所の中央に民間施設	・電機屋 (ヤマダ電機、エディオン、ベスト電器)
	・買い物ができる場所のある嘉麻市	・スーパーが増えてほしい	・県下で一番話題をさらう	・バイキング (地産地消) のおいしい店ができる	・「いつもなにかやっているとねえ嘉麻市」と言われる。		・次世代エネルギー 太陽プラント (水素、エタノール) (山田)	・狩猟者育成施設 会社 (高橋)	・大型商業施設	・宿泊所
II 子育てで高齢者への支援						・旧足白小学校を宿泊施設に	・人の集まる遊び場 (高橋庁舎跡地)	・観光の拠点	・複合施設 (直売所、支所、病院、交通 (バス) 宿泊)	・大任物産館 (子どもの遊び場、食事、お風呂) (碓井)
						・宮野小学校、宮野分校も	・各キャンプ場	・地域のじいちゃん、ばあちゃんを雇用	・ジャパネットタカタ (山田庁舎)	・山田庁舎に映画館
III 教育や文化的な環境	・子どもの姿を多く見かける (出生率の増加)	・お隣の賑わいがある街 地域	・子どもとお年寄りもみんな仲良く暮らせるまち	・教育が充実した田舎ならではの教育が話題となり子育て世代がたくさん移住する	・子どもの笑顔がたくさんあるまち	・市民が自由に遊べる広場があればいい	・高齢者が活用しやすい支所	・移動支所 バス機能あり	・木 ログハウス	・子ども食堂 (北九州) 共食の場所
	・森の幼稚園とかある	・子育て環境の充実 (医療・保育・遊び場)	・子どもたちがたくさんいる	・老人も元気でいてもらわないと本当に困る	・高齢者が在宅で生活しやすい	・地域で子どもを見守ることができる嘉麻市	・歴史資料館、美術館のPR	・美術ひろば (制作所) 大人も子どもも作れる用具があり好きなように使ってよい	・歴史探索ができる拠点となる場所	・古い町並みを残しつつ環境の中心となる庁舎 (高橋地区)
IV 生活環境	・子どもが大勢いる嘉麻市	・市立中学校の学力向上 (人口増)	・いじめゼロの市	・稲葉志緒館をもっと盛り上げる	・幼、保、小、中の恵まれた環境のあるまち	・イベント (例: スポーツ大会) 選手への宿舎 (山田高校跡)	・高橋陸上競技場近くにお店 (嘉麻市の予算PR)	・フットサル場、釣りロードバイク	・東京五輪に採用されたエクストリームスポーツを中心に自然を活かしたまちづくり	・古い町並みを残しつつ環境の中心となる庁舎 (高橋地区)
	・イベントがたくさんある嘉麻市	・学力向上	・自然保育園 目指せ家族の時間	・特色ある教育 学力向上	・スポーツによる交流の拠点になったらいいな	・嘉麻市から様々な分野で活躍する人材が出る	・高橋の林道をマウンテンバイク、モトクロスバイクのコースに	・子どもが遊べるアスレチック	・山の頂上からハラハラライダー	・ボウリング (各庁舎、学校)
V 市民と協働の	・タレントたさん	・学生さんが勉強できる場所 (場所、交通) 図書館、コミュニティセンター	・自己肯定力高い子ども どんな状況に置かれてもしなやかに生きる	・森林に木を植えてほしい (どんぐりの木とか)	・住民の道徳心の高い嘉麻市	・防災センター (山田)	・交通手段の整備	・本庁舎、各支所を結ぶ道路建設	・環境対応型住宅	・トイレの数を増やす (新庁舎)
	・上下水道の整備	・ネット環境整備	・市民が遊べる場所が増えてほしい	・飲み屋街など・静かな嘉麻市	・一人暮らしのできるアパート	・子ども (親子) で過ごすことができる場所 (碓井) 市民もOK (新庁舎)	・あったかいご飯を食べられる食堂	・警察との連携 (交通、新庁舎)	・他の行政部署が入ることのできる建物 (総合庁舎のようなもの)	・魅力のある住宅 (新しい町並み)
その他	・治安のよい嘉麻市	・電車 (バス) が増えてほしい	・交通手段整備・住居増加	・公共交通機関がある嘉麻市	・きれいな自然が保たれているまち	・高橋陸上競技場 (香の桜はとても美しく見晴らし良い) (山田)	・住宅地として	・碓井庁舎前へバスセンター (西鉄、市バス) (嘉麻の交通拠点) 碓井	・高橋支所は夢サイト内に設置跡地は公園のある住宅街へ	
	・自然を保護し整備されている	・川がきれい (自然が豊か)	・人の賑わい 灯り遊び場	・山のアクティビティとがある (馬見山)	・国道322号 八丁トンネル化工事進行中に大規模な写真撮影会	・子どもが安心して学べる、遊べる、地域学校などがある	・駅が欲しい あったらいいな			
その他	・有名な方が住むいっぱい	・住みやすい市 N o.1に選ばれる嘉麻市	・交通手段が便利になる (私用車以外で)	・子どもが安心して学べる、遊べる、地域学校などがある	・駅が欲しい あったらいいな	・支所ではほとんどの住民サービスが完了	・大層小跡地と全体的に整備し支所を文化館、バイキングレストラン (高橋)	・各支所には防災備蓄 AED、多目的トイレ等 24h 使える工夫	・支所では地域の悩みを聞くところであってほしい	・市民農園付バイキング店 (地産地消) 料理もできたら面白そう
	・買い物に困らない嘉麻市	・交通網が整備されている嘉麻市	・空き家対策が進んで活用されている (？)	・バイクの国際イベント 林道を走る	・地域 (ママ友とか) キズナ	・高橋ロックフェス	・大きな公園と食料品がセットになっている「ハッピーバイキング」 (高橋支所)	・市民が頼れる場所になる (相談しやすい) 精神衛生	・支所の職員は地域づくりができる人であってほしい	・キャンプ場 (カーが停められるところ (スタバ) の武蔵市長より) オムツ換え室、授乳室
その他	・世界一のものがある嘉麻市	・風力発電	・特色のあるまち	・みんな笑顔	・知名度アップ	・誰でも知っている嘉麻市	・嘉麻市にしかないスポーツ施設	・子どもの秘密基地	・大人の秘密基地	・バスセンター (ターミナル) (高橋)
	・車いすバスケ	・交通面が良くなればよい (J.R等)	・交通手段がたくさんある	・日本一の幸福なまち	・人口増加		・支所は窓口業務に絞る最小規模で			・アスレチック (糸島) 施設 (高橋)

◆ 10月25日(火) 碓井会場分 提案シート ◆

平成28年10月25日(火) 碓井会場 19:00～
参加人数 16人

項目	青（第2次嘉麻市総合計画）						赤（地域整備基本計画）					
Ⅰ 産業振興や雇用	・交通の便の良い嘉麻市	・東西南北を走る大きな道路	・企業誘致・お店の増加	・大型ショッピングセンター等があるといい（イオンモール）	・商業施設	・バスの本数	・大規模な道の駅をつくる（馬古屏、道の駅すいを合併する）地域に散らばる多くの魅力を一室に集める→交通の要衝に！	・道の駅との連携、広場、駐車場の拡大（碓井）	・道の駅との連携サイクリング（碓井）サイクリングコース	・支所に市の車を1台は置く		
							・若い人たちが宿泊できる施設（小学校跡地）海外をターゲットに集客を！福岡、北九州にも近いので滞在の拠点にしてもらうことが可能では？	・多くの企業や地元と連携をして一体的な開発をしていくべき（たとえば稲葉庁舎前のJAのところとか）	・碓井庁舎の駐車場にレストラン（バイキング）	・コールセンターの誘致	・体験型施設（宿泊、農業等）	
							・子どもたちが長期休暇中にもとまどて遊べる場所。大きな公園とか（小学校跡地）	・いきいきサロン 高齢者の交流の場	・高齢者向けマンションと複合施設			
Ⅱ 子育て・高齢者への支援												
Ⅲ 教育や文化的な環境	・文化施設（碓井）	・競技場	・美術（芸）に親しむ支所 織田美（碓井）									
Ⅳ 生活環境	・交通環境が整備されるまち	・自然の多いところが注目され有名になって欲しい	・街灯が多く夜道を安心して歩ける街	・防災対策完備	・買い物に困らない地域	・嘉麻警察署を取り壊す。支所の跡地に移設する（稲葉庁舎跡）安心安全な庁舎環境を実現！	・学校の再利用スペースイベント 宿泊施設へ	・お年寄りや女性のための何でも窓口をつくる→社協一もつとよく聴ける	・住宅の増加			
	・福岡市との繋がりを強くするの嘉麻市独自の市としての方向性を決めるべき	・空き家の再利用	・自然と町が共存	・Wi-Fiがどこでも繋がる	・自転車で安全な道	・支所は日祝も空いている（休日市民が相談できる）	・住宅地（山田）	・交通センター（バスセンター）	・嘉穂イオン	・イオンをつつて欲しい		
	・交通の便が良くなる	・交通の便が良くなると思う	・買い物がしやすい所	・気軽に体を動かせる施設（24Hフィットネス）	・買い物するところがたくさんある	・野外で遊べる施設	・シェアハウス					
	・市内の全ての人が自由に移動できる嘉麻市	・交通の便が良くなってほしい（駅、バスの本数を増やす）	・自然を活かした施設	・交通の便が良くなる								
	・子どもたちが遊べる場所（公園等）がある	・老若男女が住みたくなる町	・大型ショッピングモールができてほしい	・ショッピングモールを作って欲しい	・駅							
Ⅴ まちづくりと協働の	・経済的格差を減らす	・精神的思考を向上させる	・人口減少の少ない3万5千人維持	・宿泊施設	・イベント（中体連、高校駅伝）が盛ん	・有名デザイナー、アーティストに移り住んでもらい地域の活性化を図る。	・本庁と支所の役割分担を明確にする（災害時を想定）	・先進地、先進国へ視察に行き再生組織、イベント会社を立ち上げる				
							・宿泊施設（嘉穂・碓井）	・地域の望い（ロビー、新聞、カフェ）（各支所）				
その他	・情報格差をなくしていく	・未来への投資を積極的に	・嘉麻市の未来を見据えた方向性への投資			・映画館 娯楽施設 ラウンドワン	・森林浴	・家を建てる土地として売り出す	・宅地分譲地をつつて欲しい			

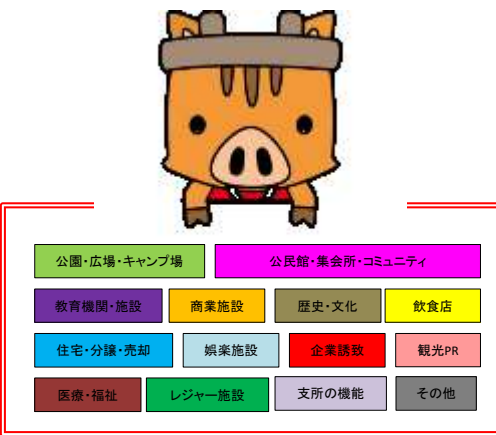
◆ 12月11日(日) 碓井会場分 提案シート ◆

平成28年12月11日(日) 碓井会場 10:00～
参加人数 13人

項目	青 (第2次嘉麻市総合計画)						赤 (地域整備基本計画)					
Ⅰ 産業振興や雇用	・人が集まってくるような施設をつくる	・観光のまち	・嘉麻市のPR	・有名なおいしいお店	・大きな道の駅(遊び場もある)	・映画館	・道の駅と連動した遊び場(碓井)	・古民家の紹介(田舎暮らし)	・商業施設 広い駐車場(碓井)	・市場	・映画館	・店
	・大きい企業をたくさん	・文化財のネットワーク	・飲食店(カフェ、レストラン)	・ショッピングセンター	・大きなお祭り	・5年に一回くらい大きなイベントをする	・ショッピングセンター(碓井庁舎)	・道の駅があるのでショッピングセンター(碓井)	・テーマパーク	・道の駅の拡大(碓井)		
	・活気のある街	・働く場所がたくさんある	・人口十万人				・妖怪ウォッチやポケモンなど街に出てくる設定のものとコラボした建物					
Ⅱ 子育てで高齢者への支援	・高齢者が病院に行きたいと思うようにしてほしい。	・介護しやすい街づくり(相談すること)	・高齢者の安心と信頼	・子どもが安心して外で遊べる環境	・待機児童ゼロ		・体育館(健康づくり)	・お年寄りの方が集まってゲームをしたりお話をしたりする場所	・保育所があるので公園、デイケアセンター等グループホーム(嘉穂庁舎)			
	・保育所の入所と安心											
Ⅲ 教育や文化的な環境	・人が集まるコミュニティの場の充実	・利用しやすい図書館など(学習室)	・立派な野球場	・校区を考え直す	・碓井小と碓井中の小中一貫校	・私立高校	・公園+カフェ全天候型施設外+中	・遊び場として利用	・子どもが安全に遊べる広場(公園)	・図書館	・塾	
							・美術館などでアンパンマンや仮面ライダー等の展示					
Ⅳ 生活環境	・交通機関の充実	・外遊びできる場所がたくさん	・遠賀川を綺麗に	・古民家カフェ	・交通整備	・交通の便が良い	・アパート、マンション、住宅地(嘉穂、山田)	・大型バスの停車場	・嘉麻市にしかない公衆トイレ	・病院	・大型ショッピングセンター	・ショッピングセンター
	・駅があったらよいと思う	・高齢者の交通の安心	・イルミネーション	・遊べる場所がたくさんある	・流れるプール	・施設(公園、商業施設などあるまち)	・総合的な運動ができる場所	・子どもたちが自由に遊べる施設や場	・体育館を作り直してライブやコンサートができる場所	・市役所の上にマンション	・専門店	
	・駅がある	・生活しやすいまち	・友達と気軽に集まれる場がある	・動物と住む			・映画館	・病院	・大隈小学校の跡地は住宅にしない方がよい。運動場くらい離れていればいいかな?	・温泉のようなものに		
Ⅴ まち民と協働の							・子どもが安全に遊べる場所	・雨の日でも遊べる大きな子育て広場	・公園	・宅地分譲		
その他	・子どもがたくさん	・市民増加、活気がある街	・若い人を増やしていきたい				・ドライブシアターをつかって欲しい(碓井)					

♣ 11月8日(火) 山田会場分 提案シート ♣

平成28年11月8日(火) 山田会場 19:00～
参加人数 23人

項目	青（第2次嘉麻市総合計画）					赤（地域整備基本計画）				
Ⅰ産業振興や雇用	・生活できる産業の育成（企業誘致）	・嘉穂の自然を活かした施設『持つてくる人』が集まる街	・観光名所	・たくさんの人が訪れるまち	・観光振興・名物	・個人事業者への貸出（廃止施設）	・おいしいレストラン お洒落なバー	・商業施設（イオンとか…）	・今の庁舎はケーブルテレビのほか民間会社が入ってくれない	・若い人が務めやすい会社の誘致
		・人口3万5千は維持	・観光のキーワード	・中絶（断念）めすい	・高市（平等）につ	・大きな会社	・ビール工場の誘致（花畑）	・宿泊可能な施設（温泉もある）	・家庭農園（様々な人たちが集まる場所。異年齢の交流の場。）	・子どもの広場（のびのびと安全に遊べる場所）
Ⅱ子育て高齢者への支援										
Ⅲ教育や文化的な環境	・学力No1	・若者の定住増	・農業体験を利用した観光	・文化財を活用した観光	・いろんな幸せを感じられる	・短歌の里				
	・子どもたちに誇れる大人社会	・教育レベルを上げて他市町村より転入してきてほしい	・子ども自身が将来に夢が持てる環境に	・体育館あり ジムあり アスレチックあり サイクリングロードあり			・旧支所は若者対象の分譲地にすれば子どもも増え定住に望まれる。	・自然いっぱい公園や施設（家族で遊べる）	・緑豊かな公園	・スポーツセンター
	・子どもたちがイキキと学べる学校づくり	・13校の小中学校が全て英語で学習している市	・豊かな教育文化（行事等）	・気軽にスポーツが楽しめる公園						
Ⅳ生活環境	・交通の充実	・交通体系の整備	・公共交通の充実（市バスの充実）	・公共交通機関の整備	・子どもが安心して遊べる	・車がなくても生活できるまち	・生涯学習館のキャバを広げて周辺を再開発させて商業的にも活性化させる	・できる限り多くの地域に支所の出先をつくる（移動支所）	・テーマパーク	・生涯学習館周辺の開発
	・公共交通が便利になる（通学、通勤）	・綺麗な水 ゴミのないまち	・災害に強いまち	・買い物難民をなくす（高齢者が多い）	・医療施設の充実（移住してくる人に対して）	・程よい田舎日本一	・定住のための住宅地	・宿泊施設 食事処	・嘉穂支所は観光拠点	・災害時の司令塔（拠点）
	・懐の深い嘉麻	・車に乗れなくなることを想定してHPや買い物ができるような小回りの利く乗り合いバス	・道路が整備された安全な道路環境	・災害に強いまち	・ゴミや雑草のないきれいな街	・道に迷った時や観光先案内で利用できる	・嘉麻市に意外な公園（遊具のある公園）	・支所は図書館の並びでよい（銀行、農協もある）	・入ロバランスや利用の便利さを考えた配置（嘉穂地区は2つとか）	・移動庁舎、支所
	・公共交通網が整備されること	・交通の便が悪い	・交通の便が悪いのでよくなって欲しい	・住宅地の開拓	・温泉施設の充実や露店レストラン	・若い人が定住できる	・支所と本庁との直通シャトルバスを1時間1本程度	・本庁と支所間の送迎バス	・コンパクトな支所（生涯学習館）山田の場合	・山田、嘉穂支所は宅地化し交通網を整備する
	・便利な公共交通	・交通の便が良くなってほしい	・ずっと住んでいたい街	・医療機関の充実	・川で遊べる市	・大きな道の駅	・支所は証明書発行程度で本庁と直接繋がった処理ができればよい	・渓流釣り施設	・単なる窓口業務だけでなく支所の機能を	・緊急な事態や災害の時住民が頼れる支所と職員の配置
	・移動販売車（移動コンビニ）	・レンタルショップ（ゲオ）	・自然の中で遊べる場所	・大型のスーパー（そのスーパーで全ての買い物ができるような）	・JRの駅があったらいいです	・子どもが遊べる大きな公園	・飲食店（ランチバイキング）	・各支所には物産店を入れる、コミュニティバスを待つことができるオープンスペースをつくる	・コミュニティ型モールタウン（住宅、公園、小さなスーパー）支所の一部が販売所（嘉穂庁舎跡）	
	・コミュニティバスの運行、買い物病院、楽しみ場所に行ける	・HPの中で買い物ができるように	・買い物に困らないように身近な所に店	・バスなどの交通	・緑豊かで現在ホテルが乱舞している地域の保存	・バスのターミナル（嘉穂）	・ケーブルステーションが配置されているので映画村みたいなものはどうかな？			
Ⅴ市民と協働の	・手作りの農業したい	・行政職員の日ごろから地域割割制（災害時に有効）	・市職員の休憩時間を2時間にして嘉麻を満喫				・定期的にふれあい市場や市民参加型のイベント広場に活用	・何もないけど使い勝手の良い広場	・支所は日祝も空いている（3〜4人）（高齢者対策）	・支所は市民窓口として（10から15人）
	・人の集まる場所	・笑顔があふれるまち	・一人じゃないと言え	・全ての市民に必要な情報が共有できる	・若い人が働きやすい環境		・コミュニティの拠点にしてほしい	・用事はないけど誰かがおるけん行こうという場所	・スカイ（テレビ電話）等を利用した窓口	・本庁から離れているので行政サービスに不公平な事が起きないように
その他	・キャラのたつた街	・人が住みたくなる町人口維持	・多市町村よりたくさん転入してきてほしい				・それぞれの支所は各地域の一等地なので、市民の財産なので簡単に切り売りしない。じっくり考えて下さい（市の財産ですから）	・県消防学校と繋がるなか（日赤もある）		

♣ 11月20日(日) 山田会場分 提案シート ♣

平成28年11月20日(日) 山田会場 10:00～
参加人数 20人

項目	青 (第2次嘉麻市総合計画)					赤 (地域整備基本計画)				
I 産業振興や雇用	・嘉穂牛が全国的に有名に	・雇用の場 若い人も若い人も働くことができる場があると良い	・人口増加についてどうすればよいのか?	・働く場所をつくる (会社、工場)	・ツリーハウスのお店カフェなど (エレベーターと梯子)	・大きな会社の工場をつくる	・庁舎跡地に大型スーパーをつくる (イオン、ゆめたうん) など	・庁舎跡地にマンション、団地をつくる (山田地区)	・全国放送テレビに道の駅を出す	・グルメ街 (ラーメン、うどん)
	・市外で働き住むところは嘉麻市・転入人口が増える・県外の市内出身者を活用する	・珍しいポケモンが出やすい等、ポケモンGOを使った嘉麻市の観光に力を入れる	・交通の便が悪い	・電車がなくて飯塚などに引越す人が増えると思う	・文房具屋をつくる (飯塚に最近できた玉置とカフェ付のものなど)	・夜須高原みたいな施設 (学校の給食が食べられる)	・森の中で遊べるようなもの・外国人の観光客のための施設、パンフレット	・自然食レストラン付団地・スケート場や温泉をつくる		
	・企業の誘致・映画館	・道路 (幅員) 拡張・皆が遊べる公園 (レストランも欲しい)	・お祭り等の行事がたくさんある	・飛行場をつくる 外国 (海外線) や国内線のあるもの	・カラオケボックスゲームセンター	・お店がもっと多くあって欲しい	・かましちゃんのお店のご飯などかましちゃんや嘉麻市に関係あるものが食べられるレストランやカフェ	・大任みないな道の駅をもっと大きくする	・道の駅が近いのでイルミネーションや公園をつくる	・レストラン、カラオケ、ゲームセンター
	・おいしい食べ物	・高齢化が進むのでよそから仕事に来るような産業	・仕事が安定して安心して暮らせる	・飯塚市に負けない人口増加	・人口が増加	・嘉麻市のPR、CM	・市に住んでいる人たちが出せるようなお店を作ったい (食べ物屋さん)			
	・日本で嘉麻市の事を知らない人がいない	・町に活気がない	・外国人観光客がいる	・若い人の働くところ						
II 子育て高齢者への支援	・相談所、生活の中で困ったことを土曜や日曜も受け付けてくれる場所があること	・子どもが生きやすい、子育てしやすい地域で見守る	・教育推進	・子育てしやすい環境をつくる (支援センターを置く、公園などの遊ぶ場所をつくる)	・公園 (かほ)	・交流の場	・定住化を促進するための宅地分譲 (賃貸住宅一分譲)	・広場	・集える広場	・3世代交流
	・高齢化率を下げるため少子化対策	・交通体系の充実 (買い物、病院、通学、通学)	・子どもと高齢者がふれあえる場所、機会	・高校生が高校に通学しやすいように (バスなど)	・安全に自然と十分にふれあえる場所 (公園等)	・ちょとした公園	・老人が集まってお話しし簡単なゲームをしたりする場所 (トランプ、だるまさんが転んだ)	・大きな病院をつくる	・保育園とかをつくらば特機児童が減る	・保育園など子育て支援の建物にしてほしい
	・孫たちが皆社会人となって結婚しひ孫の誕生	・交通の利便性 (買い物等)	・何か年寄り元気が	・保育園など増やしてほしい	・子育てサロンがたくさんある	・支所の隣に小さなテーマパークをつくる (遊園地) 子ども連れの方でも支所に行きやすいから	・雑井庁舎に子育て、高齢者までが一体的に対応できる組織づくり			
	・子育ての環境日本一	・何かお母さんが元気が								
III 教育や文化的な環境	・市内の高校を多く	・学力向上	・プロジェクトKの推進	・魅力ある自然、建造物の保存、利用	・校区を考え直す	・学びやすい環境を地域でつくる	・大学が欲しい	・流れるプールをつくる (室内)	・美術館の企画展にアンパンマンの原画や仮面ライダーのスーツ等を展示して子どもたちが行きたいと思っていただく。	・運動場をつくるまたは体育館
	・子どもがいっぱい遊べる場所をつくって欲しい	・学校やお店系が少ないので人口が増えるので高校大学をつくらせたりして学力を上げると人が集まるので人口が増える	・子どもが多くスポーツなどが活気あふれる市	・市民がもっと他県の流れを見る	・何か中学生が元気が	・駐車場は立体駐車場にする	・陸上競技場の設置トラック (400m) 青	・市民の集いの場	・子どもが遊べるように体育館などをつくる	・雑井庁舎周辺の箱物を活かした教育環境づくり
	・プロスポーツ選手が出る	・ノーベル賞受賞者が出る	・ギネスの記録が100回	・もっともっと行事を増やしてほしい		・もっと大きな図書館にしてほしい	・体育館とかボーリング場をつくる	・文化ホール (稲葉町庁舎跡)		・嘉麻市のみんなが集まれるような公民館
IV 生活環境	・嘉麻市の中学校 (小学校) が有名になる (スポーツ、学力)	・本物が鑑賞できる	・川がきれいに	・大型ショッピングセンターがある町	・駅がある町	・駅がある町 (電車)	・地域内でも地域外の人とでも交流できる場所 (サロンのような開放的)	・大型商業施設・交通体系の充実・地域の人の交流	・行政主体でのアパート運営	・若者定住化 (庁舎跡地利用)
	・通学、通院、買い物等への交通機関の充実	・交通体系の充実	・新たな商店街	・もともと地球になる (嘉麻市は人間も動物も一緒に暮らす)	・水がきれいなまちであってほしい	・自然を利用した公園	・健康相談室、血圧、体重、食生活改善相談	・県外、市外の人の休憩所 おもてなしの場所	・有名な (行列ができる) スイーツ店 (おみやげ)	・スポーツ店 (ヒマラヤ)
	・若い方が住みやすい環境づくり	・交通の便が良い市	・川や山がゴミのないきれいな場所	・駅があって欲しい	・移動販売を行って欲しい	・遠賀川の水質がもっとよくなる	・カラオケのような施設が少ない	・雨の日でも練習できるような屋内施設	・店 (雑井)	・自然を活かしたお洒落なシェアハウスができる住宅
	・嘉麻市のみんなで行うゴミ拾い活動をたくさんする	・街灯をもっと増やしてほしい					・スーパーなどの店を設置	・市民の憩いの場を作る (銭湯等)	・雑井庁舎周辺の宅地開発を進め住みよすづくり	・ご飯がおいしいから飲食店
							・色々な運動ができる場所 プール スケート	・ものすごく高いビルをつくる		・スターバックスがほしいカフェ
V 市民づくりに協力の	・人口減少がストップ (増える)	・人口が増えて今よりもっと活気ある町	・交流人口増加	・人と金が少なくなるため人と人との繋がりがあるまち、コーディネート	・市民の協力	・支所を減らす スーパーや地域の公民館に自動で住民票の取れる機械を設置する	・地区対抗の運動会			
	・市民ボランティアが多くなれば									
その他	・かましちゃんを全国に売り出したり外国に売り出す	・嘉麻市だけにしかない「何か」「魅力」PR								

34

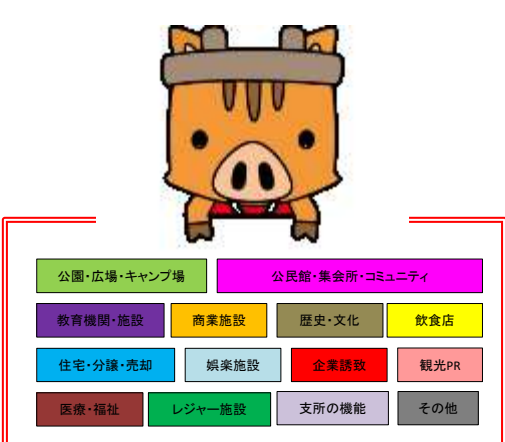
♠ 12月4日(日) 嘉穂会場分 提案シート ♠

平成28年12月4日(日) 嘉穂会場 10:00～
参加人数 23人

項目	青 (第2次嘉麻市総合計画)						赤 (地域整備基本計画)					
Ⅰ 産業振興や雇用	・歴史観光都市	・佐賀、福岡、北九州を結ぶ中間都市	・空き家対策(リノベーション⇒地域業者)	・農業を中心とした観光の取り組み	・空き家の利用⇒体験活動 指導者	・雇用の場が確保できる嘉麻市であって欲しい	・確井は場所や周辺の店も併せ良い環境にある一遊ぶ場所等もしくは住む所に	・城山等町並みや嘉穂三山を活かす取組	・観光施設、商業施設、多目的施設	・農業と観光の文化が中心になる(嘉穂支所)地域全体を見据えて		
	・働く場の確保(人口減対策)	・若い人が働く場所	・観光に力を入れてほしい	・農業にバックアップ 特産物を見つける	・農家の方が多くいのでそれを利用した商業 例えば数多くのおかずを作った店など…		・皆が語れる一時休憩所(カフェ)	・食事ができる場所(嘉穂の直産市場も)	・322号線から他地区の人々も立ち寄って楽しめる	・確井支所 農家の方が作ったたぐんのおかず(無農産)等揃った店を作る		
	・飲食店もお店も賑わっている嘉麻市	・この自然を活かした施設 例えば温泉、バイキング	・自然あふれる嘉穂 もっとアビール	・宿泊するところを増やすこと ※民泊を増やす	・若者が嘉麻市で働ける	・若者が働ける場所	・確井庁舎の利用として道の駅を広げる(現道の駅うすい)	・嘉穂庁舎 宿泊施設や体験施設	・道の駅(馬古屏が心配)	・支所+道の駅のようなところ	・庁舎内に馬古屏のような場所	
Ⅱ 子育て高齢者への支援	・高齢者と子育て世代の交流の場	・子ども、老人が共存する明るいまち	・若い家族も住み続ける嘉麻市	・子育てしやすい嘉麻市	・高齢者が一人で暮らしているのそのサポートを徹底的に		・買い物ができるバス路線	・嘉穂 子どもたちの集まれる公園	・嘉麻市立保育所	・発達支援施設		
	・保育所・小学校で行っているコーディネーションをもっと進めていきイキイキとした子どもたちの姿を見たい			・保育士相談員の充実	・福祉の面で高齢の方が心配なく過ごせること	・市庁舎隣接で保育施設						
	・高齢者の見守りサービス事業への参入(市主導型)		・公民館を中心におせっかいなおじさんおばさんがあふれる嘉麻市									
Ⅲ 教育や文化的な環境	・大学など教育機関が設置され人口も教育水準も向上		・オリンピック選手が輩出できる環境が整備される		・情報交換が素早くできる嘉麻市のシステムづくり		・教育機関	・支所については嘉穂庁舎…教育機関の誘致、山田庁舎…分譲地、確井庁舎…警察		・文化施設、住宅、公園・トイレ・食堂(跡地利用)	・子どもたちが遊べる公園等(嘉穂庁舎)	
	・大学を造って欲しい	・大学を誘致する	・教育環境への投資	・大ホール			・勉強のできる場所	・休日でも勉強を教えてくれる人がいる勉強スペース	・嘉穂庁舎は農業研修センター等に(全国的なもの)(県)	・山田 スポーツ(野外)ができる場所	・文化サークルなどで作った作品を展示するスペース	
							・嘉穂庁舎の利用 嘉麻市博物館	・嘉穂庁舎 公民館 大隈分館⇒ふるさと交流館				
Ⅳ 生活環境	・スーパーを増やしてほしい	・交通の接続などが良くなる	・バスの本数を増やしてほしい	・大型店舗が設置され税収アップ	・中高生が遊べる場所が欲しい	・自然環境を活かした町へ	・地域の核になるような支所	・嘉穂庁舎周辺は学校、保育所、銀行、郵便局などに近いのでそれを活かして人々が住めるような建物を造れば良いと思う			・大隈小学校の体育館を使って地域の方々とスポーツを通じ交流できるようなもの	
	・公園を造って欲しい	・リユース・リサイクルetcも含めてもったいないことをしないように有効活用したい			・上下水道の拡大	・住宅施設(他市、他県から移住しやすいように)	・嘉穂一体育館+グラウンド+建物の場所を歴史資料	・貸家、アパート建設	・旧支所跡地は旧大隈小学校跡地に住宅用地を造成する	・新支所はこの夢サイトの近くに設置		
	・安全第一で防災etc	・若年世代の定住	・自然環境の維持	・税金の負担の少ない	・毎月5万円で生活できる環境	・お祭り等楽しい生活	・支所+防災拠点(嘉穂支所)	・交通(公共)優先 順路 1食 2病院	・コタツのある部屋 オレンジサロン、公民館、集いの場所	・若い家族が住み続けるためには嘉穂庁舎と大隈小学校跡地の利活用にかかっていると思う		
	・電車の本数を増やしてほしい	・自然を活かした住みよい街(外に出た子どもたちが戻ってこれるような)	・交通の便を良くする工夫(市バス活用)	・福岡市との繋がりを強くしていくまちづくり	・中央集団団 なるべく集団に生活する	・この二つの跡地の一角に支所を造るそして広く空いたところに人々が集える場所や子どもの遊び場をつくる	・小学校跡地 都会の小中学校にキャンピング地として利用していただく	・動物や牛を楽しめる場所	・買い物バス			
	・アフリカ原住民集落風	・ショッピングモール	・商業施設	・大型ショッピングモール	・市営バスを利用し嘉麻市以外のショッピングができればいいと思う(お年寄り対策)		・宅地造成(嘉穂支所)	・山田庁舎の利用 宅地にする(土地無料)家は…自分で。人口増が目的	・ちょっとおしゃれな住宅	・嘉穂庁舎 公園		
Ⅴ 市民と協働のまちづくり	・市民の意見が反映されるような仕組み	・人との繋がりを重んじるように	・公民館活動の工夫で他世代交流を	・若い世代が魅力ある住宅	・住みやすい暮らしやすい	・嘉麻市が大好きという人がいっぱいになって欲しい	・外から帰った人の宿泊場所	・嘉穂アルプス(山岳遺産認定)も取り入れて	・嘉穂庁舎(各団体の施設)飲食店			
	・若者が住みたい嘉麻市	・こうゆうワークショップ等に議員さんたちの参加があれば良いと思う										
その他	・桂川町と合併し福岡市へのアクセス増大	・交通機関(特に高齢者や学生さんのため)	・交通アクセスを良くし自然の美しさを皆に知らせる	・高速道路の充実			・交通が便利になるような拠点	・市庁舎をバックアップできる支所は必ずする 耐震構造	・支所はとくに防災や小集団の相談場所として	・新しい支所に市長の机スペースを備える		
							・新庁舎建設と同時に3分庁舎を解体する					

♥ 11月1日(火) 稲築会場分 提案シート ♥

平成28年11月1日(火) 稲築会場 19:00～
参加人数 17人

項目	青 (第2次嘉麻市総合計画)					赤(地域整備基本計画)				
I 産業振興や雇用	・新庁舎の川の右岸側に何らかの集積地(田)	・大きな工場をつくって。仕事の場がある。	・市の職員を半日勤務に。雇用の増進につなげる。	・市の目玉となる施設	・やっていることが繋がっていくまち	・特色ある遊び場(珍しいスポーツ)があると良い	・土地は無料で家を建てて一将来のキャッシュバックを考えて 年齢制限あり	・道の駅と連動して観光の拠点	・稲築本庁舎広場で野菜の産直ができる	
II 子育て高齢者への支援						れあつ	・介護(軽度)とスポーツ施設を合わせた施設の運営	・子どもが遊べる場所に利用 広いスペース	・子ども、高齢者誰もが利用できる(交流)遊び場	・庁舎資産の広い面積はとりあえずそのままにしておく
						が元境	・高齢者、障害者などのバックアップの拠点(社協との連携を含めた)	・子育て支援センター(鴨生にもあるけど…また別のもの)(お年寄りも来れる乳幼児と学童→遊び体験→味増造り、米作り体験など)		・放課後の食堂
						やす	・子どもたちが学校終わりに利用する場所(児童館みたいな)	・お年寄り子どもたちが一緒に集える場所		
III 教育や文化的な環境	・学力の向上 負の連鎖を断ち切るべき	・もっとスバルタ教育が必要 時代の風潮もあるが	・歴史や文化を大切にするまち	・誰もが声を掛け合う思いやりのある(溢れる)嘉麻市	・地域の特徴を大切にするまち	・文化のある魅力的まち	・スポーツ施設(嘉穂体育館のような)	・大学の誘致	・稲築庁舎の跡は公民館と住民ホール	・公民館を隣につくって欲しい(稲築)
	・福岡県内で学力ナンバー1の市	・教育レベルの向上(全国平均にに対して)								
IV 生活環境	・明るく豊かな嘉麻市になって欲しい(大きな図書館)できればよい。多目的ホール	・住みやすい街(交通、施設)	・バスの始発場所等があったら	・交流しやすい町(交通も含めて)			・全ての支所で防災の格差はなしにしたい	・行政の手続きを様々な場所で新たに支所をつくる必要があるか	・庁舎を利用する方が年に何度も行くことがない	・支所にはAED、多目的トイレがある(24h利用可)
	・青空と風の心地よい嘉麻市	・自然が守られきれいな川が流れるまち	・ごみのない	・買い物がしやすいイオン等の大きな店が1つでもあったらいい	・電車での交通アクセスが便利になる		・総合病院	・支所は4つの避難所にする	・支所と公民館は同じ建物がありわががよいのでは？	・防災の拠点となる庁舎
	・戻ってきたい郷土(ふるさと)	・住みやすい市。交通の便が良い	・住んでみたいと思う人が移住できる町(人が増える)	・JR下鴨生の開発	・駅ができて都会に近いまち	・買い物に困らない街(交通便利)	・図書館を広くしてほしい(稲築支所)	・広い公園(管理されている)	・交通の拠点となる庁舎や支所	・稲築庁舎跡はマンション(民間)+ファーストフード店
	・たくさんのお店があったらいいな						・図書館を広くしてほしい(稲築支所)	・広い公園(管理されている)	・交通の拠点となる庁舎や支所	・稲築庁舎跡はマンション(民間)+ファーストフード店
							・図書館を広くしてほしい(稲築支所)	・広い公園(管理されている)	・交通の拠点となる庁舎や支所	・稲築庁舎跡はマンション(民間)+ファーストフード店
							・図書館を広くしてほしい(稲築支所)	・広い公園(管理されている)	・交通の拠点となる庁舎や支所	・稲築庁舎跡はマンション(民間)+ファーストフード店
V まち民づくり活動	・災害時における本庁と支所との情報システムの構築						・多目広場(緑のある公園)	・集まって話せる場所(公民館)etc	・講座を開く場所(子ども大人問わず)	
その他	・合併後の遊休資産(公共建物)の統廃合						・一極集中(支所はほとんど一部最低限必要なものだけ)	・山田、碓井、嘉穂の土地は基本売却		

♥ 12月18日(日) 稲築会場分 提案シート ♥

平成28年12月18日(日) 稲築会場 10:00～
参加人数 24人

項目	青（第2次嘉麻市総合計画）					赤（地域整備基本計画）					
Ⅰ 産業振興 や雇用	・農業を仕事に	・若者が働く場	・スローフード カフェ	・工業団地（働く場）	・IT関連とかの工場誘致して若い方の職場づくり	・大企業（雇用）	・企業誘致（山田）	・道の駅の拡充（碓井）	・町並み保存と庁舎跡地は歴史を伝える場（かほ）	・大型商業施設の誘致	・定住促進となる宅地分譲やマンションの誘致
	・他市町村からわざわざお越しいただけるような道の駅	・地域活性化（イベントたくさん）の嘉麻市	・子育て中の人が働ける場所	・若者の働く場所（企業誘致）対策と方針	・新しく交流できる場が（自由にできるように）	・定住促進の機会拡大のため宅地造成、マンション建設	・大型の直売所を設置（山田）				
	・道の駅、馬古原地産地消と生産者スーパーの充実（地元さん）	・空き地利用 カフェ、飲食店等	・定住促進のため雇用機会の拡大	・若者が定住できる教育、労働環境の整備	・企業誘致の立地（地元の働き場）						
	・地域出身者の雇用の充実										
Ⅱ 子育て 高齢者への 支援	・介護タクシーの充実・高校生に不便	・高校に行きやすくなる（負担軽減）	・近くの大学まで行きやすい（大学誘致）交通便良く	・外国人も多く集まる大学を建ててほしい（交通不便）	・高齢者対策（合併して不便になりました）	・ゲートボール場（かほ）	・安全な公園				
	・合併後は交通の便が悪くて（動けない老人）間にしに多くなった	・子育て支援サークル	・地域で地域の子育てや高齢者を支える地域づくり	・母子家庭、父子家庭をもっと良くしてもらう事	・高麻市にあればここで楽しめる」という施設の充実						
	・子どもや孫世代が長く居つづ環境⇒市場（働く場所）魅力ある街づくり	・子育てしやすい（支援イベント）									
Ⅲ 教育や文化的な 環境	・自然や歴史文化を活かした観光コースを整備した嘉麻市	・第1希望に進学できる学力をつける学校づくりを目指す嘉麻市	・故郷を愛する心を育む学校づくり	・歴史ある観光地をつくりたい	・夜遅くまで利用できる学生が飲食できる（本庁舎や支所）	・歴史を残した施設、公園（川遊びそうめん）、駐車場（かほ）	・近代的な図書館が欲しい 学習スペースを広げよう				
	・東進せず高校に通えるバス路線を	・安全に川遊びできる場所	・飲食可、私語も学習スペースがあったらいいな	・そうめん流し	・教育に手厚い対策がされる嘉麻市	・教育で屋外事業の充実	・本庁舎裏の観水公園に遊び場（吊り橋など）	・市庁舎ができることと体育館が壊れるのでそれに代わる運動のできる場所	・観光案内所（かほ）	・劇場かイオン等人的集まる活動のできる場所があるといいな。（稲築）	
	・教育への一定額の財源確保	・教育への町づくり	・文化	・歴史の継承	・歴史を大切に	・図書館、公民館建設⇒文化教育の充実（稲築）	・図書館を早急に（新庁舎と一緒に）建ててほしい	・小学生が夏休み等の学習の場にもなり一人親世帯等の子どもの学力向上の場になる	・子どもと地域住民がふれあえる場所	・人が集まりコミュニティを深める施設の設置	・歴史文化を学べる発表するところ
							・図書館、公民館等の地元の人たちのコミュニティの場（稲築）	・図書館			
Ⅳ 生活環境	・人が集まる	・人が集える場所	・交通利便	・駐車場確保⇒立体駐車場の建設	・交通の利便性⇒市民の足の確保⇒高齢化社会（高齢化⇒車の事故）	・交通の楽な場	・バスセンター化、集会所併設	・公園（道の駅との連携 大任の道の駅（うすい））	・公園、カフェ、図書館（かほ）	・住宅地として活用	
	・嘉麻市内のスーパーに行きやすくなる	・どんな団地を増やし若い人が住みやすい家を建てて		・ゲートボール場	・駅が欲しい せめて最寄駅までのアクセスを良くしてもらいたい	・分譲地＋公園（稲築）（山田）	・大型スーパー（山田）（嘉穂）	・若年層向けの賃貸住宅（碓井）	・家、バスセンターのようなものをどこでもオッケー	・生活用品コーナー、病院、学校、保育園、イキキサロン（一緒に）	・病院、福祉施設、学校、商店等を一カ所に集積する
	・分譲地を造る（学校の近く）	・大規模なアスレチック広場が欲しい	・市バスの本数を増やしてほしい	・高速道路（有料道路）	・子どもと遊べる公園（夜間高層の公園をイメージ）	・病弱に対する不安（老後）	・生活拠点となる総合福祉施設の誘致	・地域内外移動に係る交通拠点の整備	・観光拠点の施設にしたい（駐車場含めて）（嘉穂地区）	・観光道歩道の中継場所的役割	・市内外の人の集まる場の整備（観光施設）
	・稲築地区から桂川方面（福岡）への交通体系	・環境を残すところは残す 変えるものは変える（建物など）	・車がなくても市内を回れる交通環境	・子育て世代が住みやすい住環境の整備	・交通弱者が困らない嘉麻市	・住宅地としての対応	・その地区の中心であるので喫茶店的なものがあると良い	・室内で楽しむことができる場所をつくる	・飲食店	・イベントができる広場の確保⇒祭り	
	・コミュニティを深める場所を設置した嘉麻市	・市内外を移動しやすい交通の確保	・暮らしに便利な施設の充実	・通学通勤しやすい交通網が整備された嘉麻市	・バスが家の近くまで来てほしい	・道の駅	・プレイパーク（公園等の広場）				
	・各地区にスーパーと入浴（温泉）施設、休憩所、サロンがあったらよい	・交通機関の発達	・予約タクシーの対策（高齢者の足）	・交通機関	・交通のバスがもっとあると良いです						
Ⅴ まちづくり 協働の	・都市と自然が融合した市	・市民と共にまちづくり（具体的な市情報提供）	・人間の豊かな町			・支所は窓口業務、会議のできる部屋	・支所を住民交流の場に	・本庁と支所との繋がり方	・支所の住民への活用を考える	・コミュニティセンター	
その他	・広報紙ではまず人口を見てしまいます。もっと増やす対策を	・公共施設が多すぎる	・大人も子どもも遊べる場所	・大きな本屋さん	・自然が多いのもっと子どもたちが住めるように	・本庁舎に食堂など	・支所は夢サイトに（嘉穂）山田は 生涯学習館に（山田）	・嘉穂が碓井 車を長期停車できる広場	・町並みを活かした観光施設（かほ）	・庁舎資産のスクラップアンドビルド ※公共施設の全て	
	・市内に市外からの移住者が増える（空き家問題解消）ような対策					・庁舎をシティマラソン、高校のマラソンの時に泊まれるようにする	・ハード面に加えてソフト面の充実				



〒820-
福岡県
嘉麻市
Tel 09

1173
-5018

第2次嘉麻市総合計画【基本構想】から一部抜粋

1. 新しい都市構造の形成

新庁舎の建築及び交通体系の再編に合わせて、市の構造が明確になるよう、各拠点を結ぶ骨格軸を中心に、計画的に「整備」「改善」「保全」するゾーンを設定し、訪れる人にもわかりやすい街づくりを進めます。

(1) 拠点の整備

新庁舎が建設される稲築地区中心部を“行政機能拠点”、碓井庁舎を中心とする地区を“教育文化・商業振興拠点”、嘉穂庁舎を中心とする地区を“観光・定住促進拠点”、山田庁舎を中心とする地区を“子育て・定住促進拠点”として、各拠点の機能を強化する土地利用を促進します。

2. 土地利用の方針

(1) 拠点

●行政機能拠点（新庁舎周辺、稲築地区）

嘉麻市役所稲築庁舎をはじめ、公民館や保健センター等の行政機能が立地しています。今後は嘉麻市役所本庁舎の建設が予定されており、新たな拠点として整備していく必要があります。

このため、本拠点は管轄官公署との連携による行政機能の拠点として地区の振興を図ります。

●教育文化・商業振興拠点（碓井庁舎周辺、碓井地区）

織田廣喜美術館、碓井平和祈念館、碓井郷土館、碓井図書館からなる碓井琴平文化館をはじめ、皿屋敷跡等の教育文化施設が立地するとともに、道の駅うすいといった商業振興施設が立地しています。

このため、本拠点は教育文化と商業の先導的な振興を図ります。

●観光・定住促進拠点（嘉穂庁舎周辺、嘉穂地区）

益富城址、鮭神社、麟翁寺といった歴史文化を伝える史跡や社寺をはじめ、酒蔵等の観光施設が国道211号沿道に多く立地しています。

このため、本拠点は歴史文化や緑豊かな大自然を活かした観光を振興していくとともに、住みよい環境を活かして定住化の促進を図ります。

●子育て・定住促進拠点（山田庁舎周辺、山田地区）

市民の交流・レクリエーション、福祉施設としての役割を担う山田ふれあいハウスをはじめ、山田生涯学習館、サルビアパーク等の施設が多く立地しています。また、幼稚園や保育所、小中学校、病院等の施設も多く集積していることから、子育てや居住面において優れた環境を有しています。

このため、本拠点は子育てしやすい環境を活かした子育て環境の整備や定住化の促進を図ります。

第2回 嘉麻市地域整備協議会 合同視察について 報告

－ 視察地の選定について －

視察地を選定する上で、類似団体、合併団体であることや財政状況の考慮を行っていること。また、特定の地域だけの計画ではなく、各地域の整備計画を検討している団体を視察地とすることにしました。各地域の整備計画まで計画している団体は非常に少なく、その中で、玉名市(玉名市、岱明町、横島町、天水町の1市3町が合併した市)は、既に新庁舎建設を行い、新庁舎建設に伴う旧庁舎の跡地と機能移転に伴う支所庁舎の余剰スペースについて、庁内関係各課で構成する専門チームを設置し検討を進めたうえで、地域協議会、区長会や利用者と協議を行っている自治体です。嘉麻市の地域整備と玉名市の地域整備の手法や内容は違いますが、嘉麻市の状況と内容が似ていますので玉名市を選定いたしました。

視察については、新庁舎建設を行い、地域づくりや支所が設置されている類似団体の状況を確認してもらい、経緯等を感じて頂きたいと思います。

嘉麻市と玉名市では状況が違いますので、当然、同じような形にはなりませんが、やり方や経過を参考にさせていただけたらと思います。

平成29年7月27日(木) 玉名市視察行程表

7月27日	内容	備考
8:20 ~ 8:30	受付	碓井住民センター前
8:30 ~ 9:30	移動	碓井庁舎～広川IC
9:30 ~ 9:45	休憩	広川IC
9:45 ~ 10:30	移動	広川IC～玉名市
10:30 ~ 11:30	会議室で玉名市より説明	文化センター(玉名市繁根木88-1)
11:30 ~ 12:00	移動	
12:00 ~ 12:45	昼食	草枕温泉てんすい お食事処「観海亭」翠微
12:45 ~ 13:00	移動	
13:00 ~ 13:30	視察	天水支所見学
13:30 ~ 13:40	移動	
13:40 ~ 14:00	視察	横島支所見学
14:00 ~ 14:30	移動	
14:30 ~ 15:00	視察	新庁舎見学
15:00 ~ 15:40	移動	玉名市～広川IC
15:40 ~ 15:50	休憩	広川IC
15:50 ~ 16:50	移動	広川IC～碓井庁舎
16:50	解散	碓井庁舎

玉名市の公共施設マネジメント（玉名市文化センター）



会場の様子



説明の様子

玉名市役所 企画経営部 企画経営課 福島課長より挨拶。
玉名市役所 企画経営課 経営戦略係 外村係長より、
「玉名市の公共施設マネジメント」について説明がありました。
「概要」

行財政運営の効率化のために、玉名市公共施設適正配置計画（基本ルール）を策定し、
取組状況の説明を受けました。また、具体事例として、天水地域の説明がありました。

天水地域の見学（天水ふれあい館付近）



天水保健センターふれあい館の様子



説明の様子

玉名市役所 教育部 コミュニティ推進課 天水町公民館長 村上氏より説明。

「概要」

天水保健センターふれあい館へ機能移転する説明を受けました。

公民館は除却済、天水支所やその他施設も除却予定です。

現場にて、建設予定図(イメージ図)を確認しながら、天水地域の見学を行いました。

横島地域の見学（横島支所）



横島支所、公民館の様子



説明の様子

玉名市役所 建設部 営繕課 保全計画係 前川係長より説明。

「概要」

横島支所、公民館、保健福祉センターが敷地内に建設されており、旧横島町役場、商工会事務所（貸付）を除却したとの説明を受けました。また、施設の利用状態や、建物建設に至る経緯についても説明を受けました。建物内に併設している横島支所や公民館等の状況を確認しました。

玉名市新庁舎の見学



新庁舎の様子



議場で受けた説明の様子

玉名市役所 企画経営部 管財課 藤森課長より説明。

「概要」

新庁舎建設について、4階の議場で説明を受けました。

新庁舎建設に至るまでの経過、現在の状況等についての説明を受けました。

4階から1階まで降りながら、各階の説明を受けました。

**まちづくりの将来像に関する
市民説明会の結果報告書**

平成29年7月

企画財政課・地域活性推進課

目 次

1. 市民説明会の報告について P1～P9

(1) 市民説明会 P1～P3

- ①開催会場及び参加人数 P1
- ②説明会の内容 P1
- ③市民説明会の開催広報等（主なもの） P2～P3

(2) 市民説明会での質問・意見 P4～P9

2. アンケートの結果報告について P10～P30

(1) アンケート調査の目的 P10

(2) アンケート調査対象 P10

(3) アンケート調査概要 P10

(4) アンケート結果 P11～P16

- 《問1》性別 P11
- 《問2》年齢 P12
- 《問3》お住まいの地域 P13
- 《問4》説明会を知った方法 P14
- 《問5》理解度 P15
- 《問6》興味があった内容 P16

(5) 自由意見の集約 P17～P29

(6) アンケート調査票 P30

1. 市民説明会の報告について

(1) 市民説明会

①開催会場及び参加人数

開催日	会場	参加人数
平成29年5月16日(火)	山田市民センター	29人
平成29年5月17日(水)	碓井住民センター	27人
平成29年5月18日(木)	稲築地区公民館	75人
平成29年5月19日(金)	夢サイトかほ	48人
合計参加人数		179人

②説明会の内容

- ◆まちづくりの方向性について(赤間市長説明)
- ◆総合計画・庁舎課題等について(井原教授説明)
- ◆質疑、意見交換

※説明会当日の配布資料

- ・レジュメ、市長説明スライド
- ・第2次嘉麻市総合計画(概要版)
- ・新庁舎建設等に関する取り組み状況
- ・新庁舎建設に関する主な取り組みについて
- ・アンケート



△説明会の様子
(平成29年5月18日開催:稲築地区公民館にて)

③市民説明会の開催広報等（主なもの）

- ・3月29日
市民説明会実施要領等の議会報告
- ・4月1日
嘉麻市ホームページ公表
- ・4月14日
市民説明会開催の案内のチラシ配布（行政区回覧）
- ・4月21日
新聞各社へ市民説明会開催記事の掲載依頼
- ・5月1日
「広報嘉麻5月号」に掲載
- ・5月15日
「（※リーフレット）新庁舎建設等に関する主な取り組み状況」の配布（全世帯配布）
- ・5月16日
嘉麻市内各小中学校に文書配布及び内容説明、新聞各社への記事掲載に関し再度依頼

嘉麻市の未来を

まちづくりの将来像に関する
市民説明会を開催！
(総合計画・新庁舎建設・支所整備・地域整備)

市民のみなさまのご参加をお待ちしています！

市の将来像やまちづくりの基本的な方向性を示した、第2次嘉麻市総合計画の概要及び新庁舎建設基本設計の完成に伴う、新庁舎の概要並びに地域整備に関する進め方等について市民説明会を開催いたします。

第2次嘉麻市総合計画は、平成29年度から向こう10年間の行政運営の要となる総合的な指針として、まちづくりの長期的な展望等に関する内容について説明を行います。

新庁舎の建設及び地域整備に関しては、新庁舎建設基本設計の完成に至るまでの協議経過や新庁舎の具体的な内容の説明、地域整備については、支所整備等を含めた各庁舎周辺の地域活性化策に関する検討の進め方などについて説明を行います。

説明内容

1

第2次
嘉麻市総合計画に
関する概要
について

2

新庁舎建設基本
設計の協議経過
及び概要について

3

各支所整備の
基本的な考え方
及び機能について

4

各庁舎周辺の
地域整備に関する
整備の進め方
について

日時・会場

開催日	時 間	会 場	説明者(予定)
5月16日(火)	午後7時～	山田市民センター	・市長 ・総合計画、新庁舎整備 審議会会長 (近畿大学 井原教授) ・その他関係職員
5月17日(水)		雅井住民センター	
5月18日(木)		稲葉地区公民館	
5月19日(金)		夢サイトかほ	

嘉麻市の未来に関わるとっても大切な説明会です。
ぜひ、多くの皆さんの参加をお待ちしています！

●問合せ先／嘉麻市役所【企画財政課】☎62-5661 又は、【地域活性化推進課】☎62-5677

H29.5月号.広報嘉麻 08

③市民説明会の開催広報等（主なもの）

**総合計画や新庁舎建設
嘉麻市が住民説明会**
4地区で



嘉麻市の第2次総合計画などを説明する赤間幸弘市長

（右）

嘉麻市は16日夜、山田市民センターで、2026年度まで10年間のまちづくりの方向性を示した「第2次市総合計画」や新市庁舎建設について住民説明会を開いた。説明会は確井住民センター（17日）、稲築地区公民館（18日）、夢サイトかほ（19日）の計4回。いずれも午後7時から。16日は住民約30人が参加

し、赤間幸弘市長や市総合計画策定審議会の井原徹会長（近畿大産業理工学部長）が説明。1950年のピーク時には旧市町合計で11万人を超えていた人口が、2015年の国勢調査では4万人を切っていることなど市の現状を訴え、山田地区は公共施設や病院などが集積していることから「子育て定住の拠点」とする計画などを紹介した。

稲築地区での新庁舎建設については、2020年度の供用開始、現在4庁舎に分散している市役所機能を本庁に集約することで維持管理費を抑制することなどを説明した。赤間市長は「定

住促進、人口規模に見合った行政運営を大きな方針として、市の未来づくりを実施していきたい」と話した。

（広田亜貴子）

嘉麻市 まちづくり市民説明会

16、19日に4回開催

嘉麻市は、市の将来像やまちづくりの方向性を示した「第2次総合計画」や、市役所新庁舎建設の基本設計などについて、16日から4回にわたって市民説明会を開く。

第2次総合計画は2017年度から向こう10年間、まちづくりの指針となるもので、2月に市総合計画策定審議会が基本構想案と基本計画案を答申した。一方、新庁舎を巡っては、2月に市新庁舎施設整備等審議会から出された建築設計についての中間答申を受け、基本設計が作成された。

説明会ではこれらの概要と合わせて、各支所の整備に関する基本的な考え方や、本庁舎・各支所周辺の地域整備などについて、両審議会の会長を務めた井原徹・近畿大産業理工学部長や赤間幸弘市長らが説明する。

日程は、16日山田市民センター▽17日確井住民センター▽18日稲築地区公民館▽19日夢サイトかほ。いずれも午後7時から。【平山千里】

△平成29年5月13日 毎日新聞

△平成29年5月18日 西日本新聞

(2) 市民説明会での質問・意見

質問・意見	回答
・庁舎のロビーは吹き抜けですか？雨が降り込まないのですか？ ・新庁舎付近にバスセンターをもってこれないのですか？何故、牛隈にバスセンターができるのですか？ ・市バスは通勤か買物に利用されています。稲築にはスーパー等が4、5件あり、それを目的に利用しているので、山田・嘉穂・稲築庁舎から全部集め、西鉄バスで桂川町や各駅を利用すればいいのではないですか。貧乏なまちなので一点に集中してエネルギーを集めた方が効率的だと思います。 ・最高決議機関の市会議員の中に女性の声が反映できる体制にして欲しい。 ・山田庁舎の情報公開室の資料は審議・答申内容などがわからないので新庁舎では分かりやすい情報公開室を展開して欲しい。 ・新庁舎の駐車台数は何台で設計したのか？	・エコボイドで雨は降りこみません。 ・嘉麻市にある西鉄バスの営業所が大隈地区にあり、そこからが大きなバスの流れで、交通の集積地的（要衝的）なものが牛隈だからです。 ・公共交通に関しては、28年度から福祉バス・市バス・民間バス等、総合的な検討を図る地域公共交通会議で基本計画を作成しています。また意見を募集中です。その計画の中で多数の関係者、住民の代表者の方に参加いただき、バスの乗継ポイントを牛隈に置く予定です。 ・女性議員の件は女性の意見を行政に反映させたいが本人の出馬意志がなければ何もできません。 ・情報公開室については内部で検討していきたいと思います。 ・駐車場台数は450台で計画しています。

・嘉麻市産材の利用とありますが、サイン表示だけでは残念です。あと、地域の特性を生かした農林業の振興の進行状況を伺いたい。 ・旧足白小学校にボルタリング施設として 5 千万を投資する価値があるか心配です。 ・桜並木は花が散り、雨が降ると掃除が大変です。対策はあるのか伺いたい。総合計画を元にやってるが実現するには施策、取り組みにかかっています。単に少子化対策だけではなく聞き取り調査等をして欲しい。また嘉麻市はこれだと言える 1 番を目指し、施策を実施すれば地域の魅力で市民の誇りになります。桜の件のみ回答してください。 ・安全面と掃除委託費用を最重要施策と考えたほうがいいのではないですか。 ・今の桜並木は掃除が大変なので安全性・吸水性のない物など専門職のアドバイスを聞いて欲しい。また、ボルタリングは最初からメーカー等に依頼して運営した方がいいのではないですか。	・地元産材使用は計画中であり、多くの利用をお願いしています。 ・西日本最大級の施設を計画しています。利用者数が増加してるので見込みがあると考えています。福岡県下に 14 施設ありますが半径 50 km 圏内です。室内スポーツジムで大型施設はないという近畿大学研究室の検査結果です。 ・嘉麻市の木は桜です。管理の件では今後の実施設計等の課題です。 ・検討材料にします。 ・専門的なアドバイスをいただく予定です。
--	--

・市民に開かれた庁舎で議場は傍聴席の方をむいてますか？市民が望んでるのは何か、有効で機能的な物にお金を使用して欲しい。 ・まちの活性化等あるが、市に担当専門部署がないとできないし、話をする窓口がありません。また免震採用だが東北の地震時にかなり破損しました。その辺の実施設計を教えて欲しい。 ・上臼井地区の地域防災会議の中で県内に西山断層がはしっていると新聞等にあったが碓井地区にもはしってるのかどうかの情報を教えて欲しい。庁舎が断層の上にある場合、被害が拡大する恐れもあるのでよく検討して欲しい。また地震発生後、被害者を受け入れる仮設の施設としての要件を備えてるような計画もお願いしたい。 ・産炭地域は坑道があり被害が拡充・増大する可能性もあるので場所も含んで検討して欲しい。 ・駐車場の屋根やさくらの設置費用は 40 億以内に含むのか。	・議場は現状イメージ図なので貴重な意見として受け取ります。 ・中身については検討したいと思います。 国土交通省の指針に準拠する設計で対応し、指針に合わせた形で実施設計を確認していきたいと思います。 ・近畿大学と地震計を持っている九州大学の情報交換により、市と情報を共有し、通知していきたいと思います。 ※井原教授が回答しました。 ・新庁舎の地盤は設計業者により調査し、状況確認後、基本設計を行いました。また免震の件は実施設計で設計事務所と協議して設計したいと考えています。 ・40 億円以内に含みます。
---	---

・碓井庁舎は耐震化工事後、新庁舎建設まで使用するがその後は他の庁舎同様に解体するのですか。 ・現状と違った意見が協議会で出た場合は反映されるのですか。 ・人口・教育問題の解決策は企業をつくることだと思う。稲築は少し企業が入ってるのでイベントや楽しめる広場があればいいのではないですか。具体案があれば伺いたい。 ・現庁舎、公民館、駐車場を合わせると約 100 台駐車可能ではないか。イベント会場は新庁舎前のスペースでもいいか知りたい。イベントは市民の楽しみの 1 つで必要だと思います。 ・地域おこし協力隊員の進行状況、時期と人数が知りたい。	・基本的な原案として、新庁舎を整えながら旧庁舎は最終的には除却したいと考えています。その段階として、古い庁舎については合併特例債が使えるうちに除却したいと考えています。 ・協議会でも内容を含め検討します。その中で技術面等は外部コンサルタントを導入し検討する予定です。また、公募委員も募集しています。 ・企業がないのはその通りです。企業誘致したいが工業団地がありません。企業が来れるような土地問題を今後 10 年間で解決したい。また教育問題はプロジェクト K（コーディネーション理論）を実施中で少しずつ成果が出ており続けていきたいと思っています。新庁舎の駐車場は駐車機能だけではなく、多目的広場として利用する計画です。 ・地域整備協議会を各地域に設置し、ご指摘いただいた内容等検討させていただきたいと思います。 ・今年度は 4 人です。内容は期間を 1 年から 3 年の間で体験や経験をしながら定住の可否を決めてもらいます。今、募集要項等を揃え準備作業中で今年度中には配置し募集したいと考えています。
--	---

・施策を数値化し、目標・成果・分析結果を市民周知して欲しい。 ・新庁舎は嘉穂等から遠いので市民の利便性の考え方からも平等ではないのではないですか。 ・まちづくりの方向性についての説明で本庁機能の分散に伴う住民サービスの低下とは何か。職員間で問題提起を共有し解決、対策に対して努力、協力してるのか。また新庁舎になった時、サービスが十分に充実出来るかの方向性を伺いたい。 ・喫茶店やレストランの計画はありますか？ ・住みよい嘉麻市とあるがバスの便が非常に悪い。市バスは年間、赤字運営で無料の福祉バスがあるが高齢化が進み、人口も減るため後々の方に負担になるので回収方法を考えて欲しい。 ・少子高齢化が進み将来、借金を残したくないので新庁舎は 40 億以内では是非お願いしたい。	・貴重な意見とし、検討課題にしたいと思います。 ・庁舎建設の経過を説明。 ・今は 1 庁舎で全てまかなえない状態。皆さんの住民サービスが低下しないように新庁舎 1 本化を考えています。 ・審議会や住民の方からコンパクトで経費をおさえた新庁舎建設といわれてますので計画に入っていません。しかし、人が集まり賑わいの施設を設置したいと考えています。 ・福祉バスは全市民が乗れないので統一を考えています。また公共交通会議等々で協議します。地域公共交通会議で公共交通の関係者、市民の代表者を集め公共交通網形成計画を策定中です。また意見を募集し、1、2 年をかけて公共交通の見直しを予定しています。 ・新庁舎は 40 億円以内を維持します。
--	---

・要望として、地域整備協議会で出た意見を是非いかして欲しいことと、教育や文化の拠点施設等の維持管理にアウトソーシングを絡めてほしくないです。 ・嘉穂支所は夢サイトかほの並びに建てるといういろんなメリットがあり、また土日祝日も開ける提案も少数の方に賛同をいただきました。場所に関しては嘉穂地区の方に決めてもらうように市の幹部の方から提案されてはどうか。 ・まちの中心はさびれてきており支所が別の場所になるともっと寂しくなるので夢サイトかほに支所を設置するのは私は反対です。	・貴重な意見、要望として受け取らせていただきます。 ・様々な可能性があるので地域協議会の中で議論頂きたいと考えています。 ・貴重な意見ありがとうございます。
---	--

2. アンケートの結果報告について

(1) アンケート調査の目的

まちづくりの将来像に関する市民説明会への参加者やご意見を把握・分析するために実施しました。

(2) アンケート調査対象

まちづくりの将来像に関する市民説明会に参加していただいた方。

開 催 日	会 場	参加人数	アンケート回答人数
平成29年5月16日（火）	山田市民センター	29 人	28 人
平成29年5月17日（水）	碓井住民センター	27 人	24 人
平成29年5月18日（木）	稲築地区公民館	75 人	72 人
平成29年5月19日（金）	夢サイトかほ	48 人	42 人
合計人数		179 人	166 人

(3) アンケート調査概要

配布・回収方法 … 各市民説明会会場にて資料と一緒に配布し、帰る際に提出してもらう。
配布数・回答数 … 配布数：179枚 回収数：166枚
回収率 … 92.7%

(4) アンケート結果

《問1》性別

出席者全体の性別では、男：104人（62.7%）、女：61人（36.7%）、その他：0人（0.0%）未記入：1人（0.6%）となった。【図5】
碓井・稲築会場は男の割合が60%以下であった。

会場名	性別	人数	比率	図番号
山田会場	男	19	67.9%	図 1
	女	9	32.1%	
	その他	0	0.0%	
	未記入	0	0.0%	
碓井会場	男	14	58.3%	図 2
	女	10	41.7%	
	その他	0	0.0%	
	未記入	0	0.0%	
稲築会場	男	43	59.7%	図 3
	女	28	38.9%	
	その他	0	0.0%	
	未記入	1	1.4%	
嘉穂会場	男	28	66.7%	図 4
	女	14	33.3%	
	その他	0	0.0%	
	未記入	0	0.0%	
全会場	男	104	62.7%	図 5
	女	61	36.7%	
	その他	0	0.0%	
	未記入	1	0.6%	

図 5

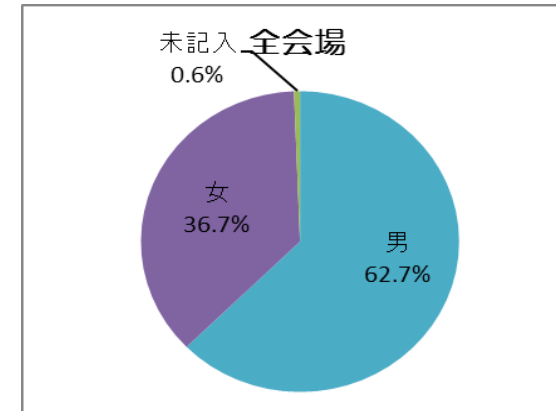


図 1

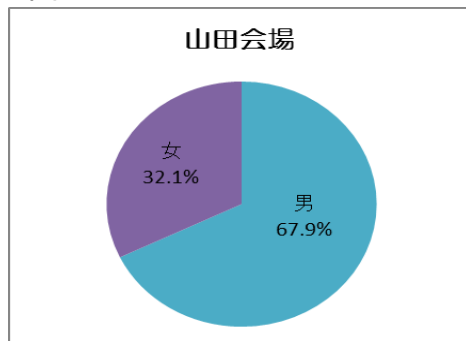


図 2

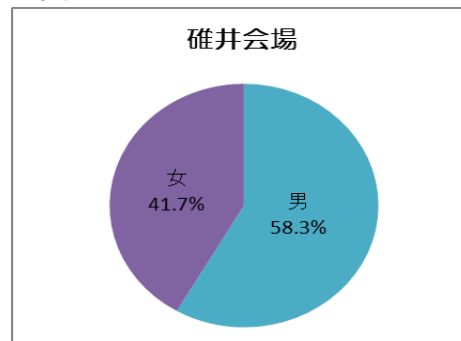


図 3

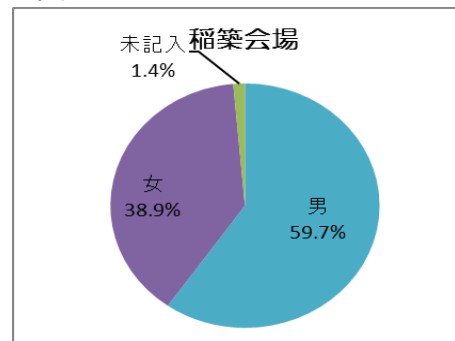
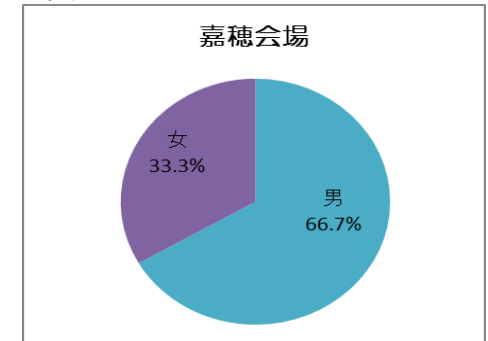


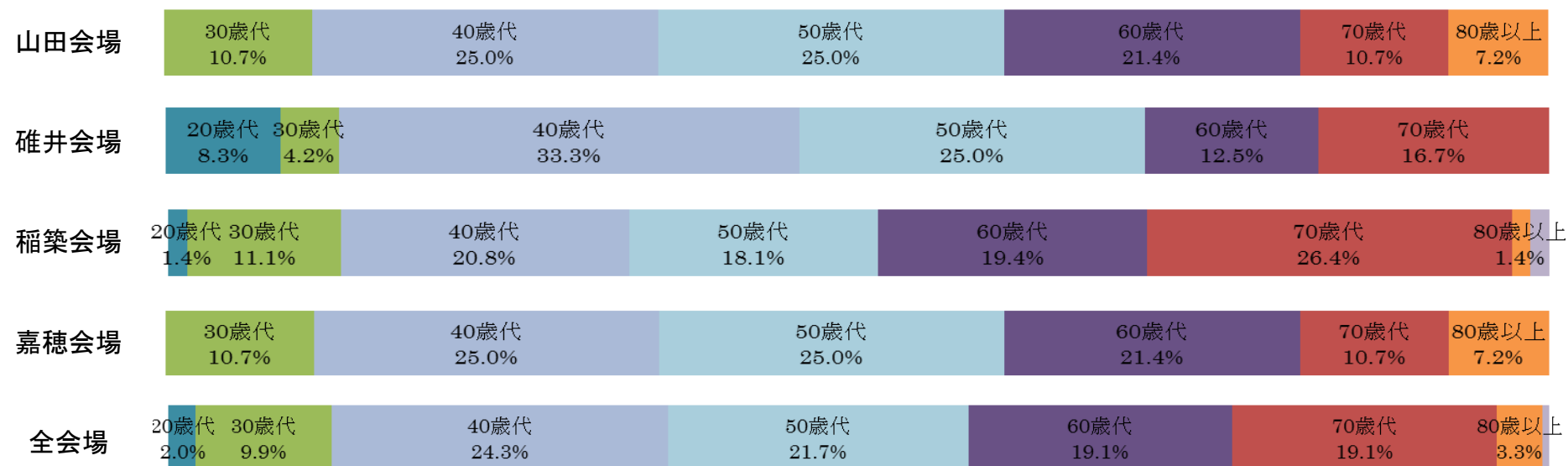
図 4



《問2》 年齢

年齢については、40歳代、50歳代の参加が多く、働き盛り世代の関心が高いことが伺える。
60歳代、70歳代の参加も多かったが、20歳代、30歳代の参加が少なく若者の関心が低いことが伺える。

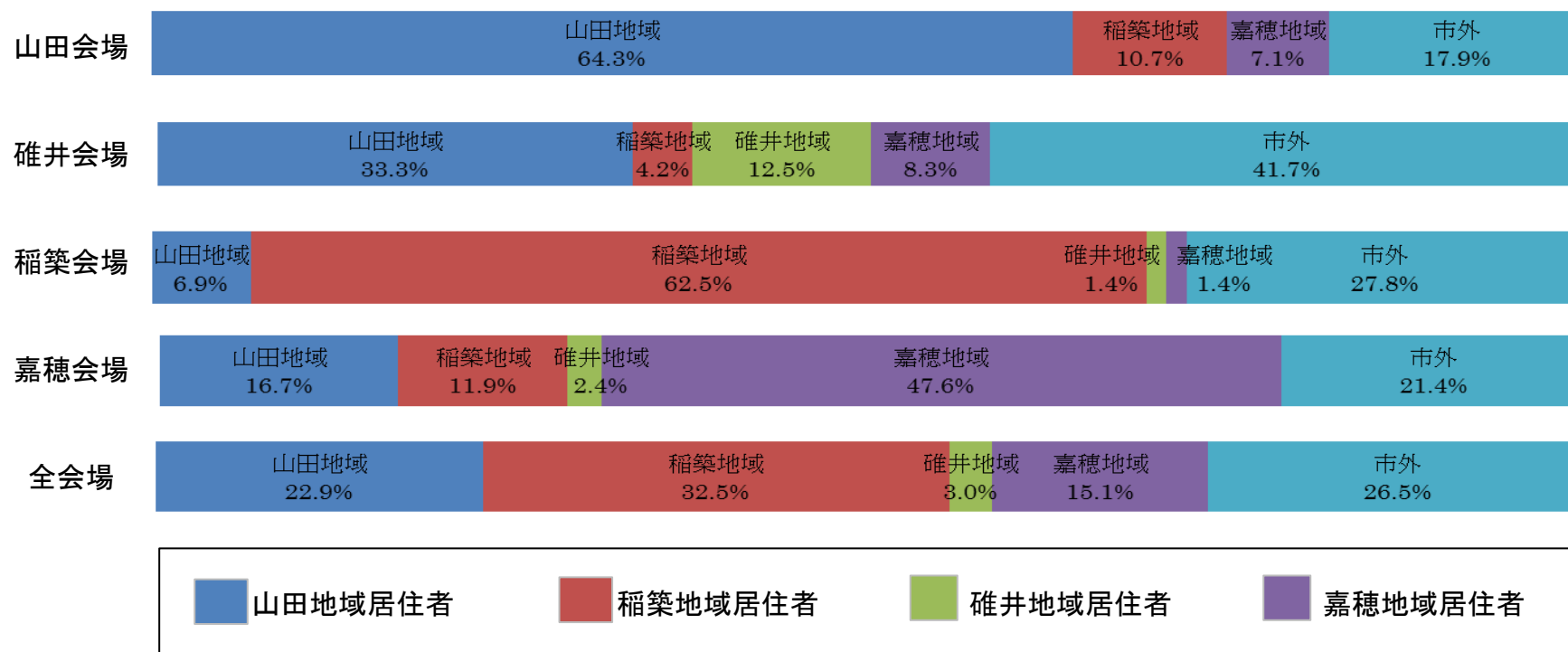
会場名		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	空白
山田会場	人数	0	0	3	7	7	6	3	2	0
碓井会場	人数	0	2	1	8	6	3	4	0	0
稲築会場	人数	0	1	8	15	13	14	19	1	1
嘉穂会場	人数	0	0	3	7	7	6	3	2	0
全会場	人数	0	3	15	37	33	29	29	5	1



《問3》お住まいの地域

各会場への参加者を確認してみると、山田地域居住者は山田会場への参加が多いように居住地に近い会場への参加が目立つ。特に山田会場、稲築会場では、地域の方の関心が高かったようだ。

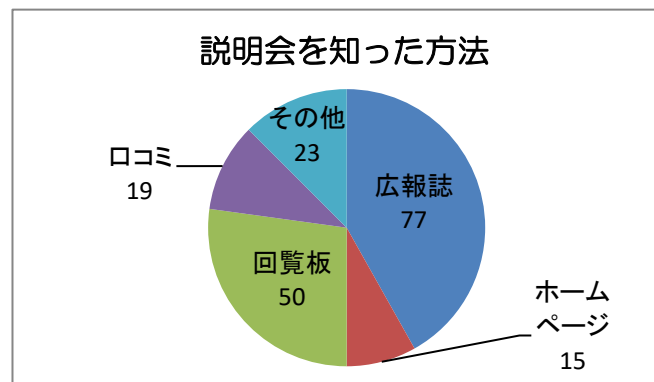
会場名		山田地域居住者	稲築地域居住者	碓井地域居住者	嘉穂地域居住者	市外
山田会場	人数	18	3	0	2	5
碓井会場	人数	8	1	3	2	10
稲築会場	人数	5	45	1	1	20
嘉穂会場	人数	7	5	1	20	9
全会場	人数	38	54	5	25	44



《問4》説明会を知った方法（複数回答）

説明会を知った方法は、広報誌が1番多く（77人）、2番目に回覧板であった（50人）。
広報誌と回覧板で説明会を知った人は127人と全体の69%を占め、情報の提供には広報誌・回覧板が有効な手段と思われる。

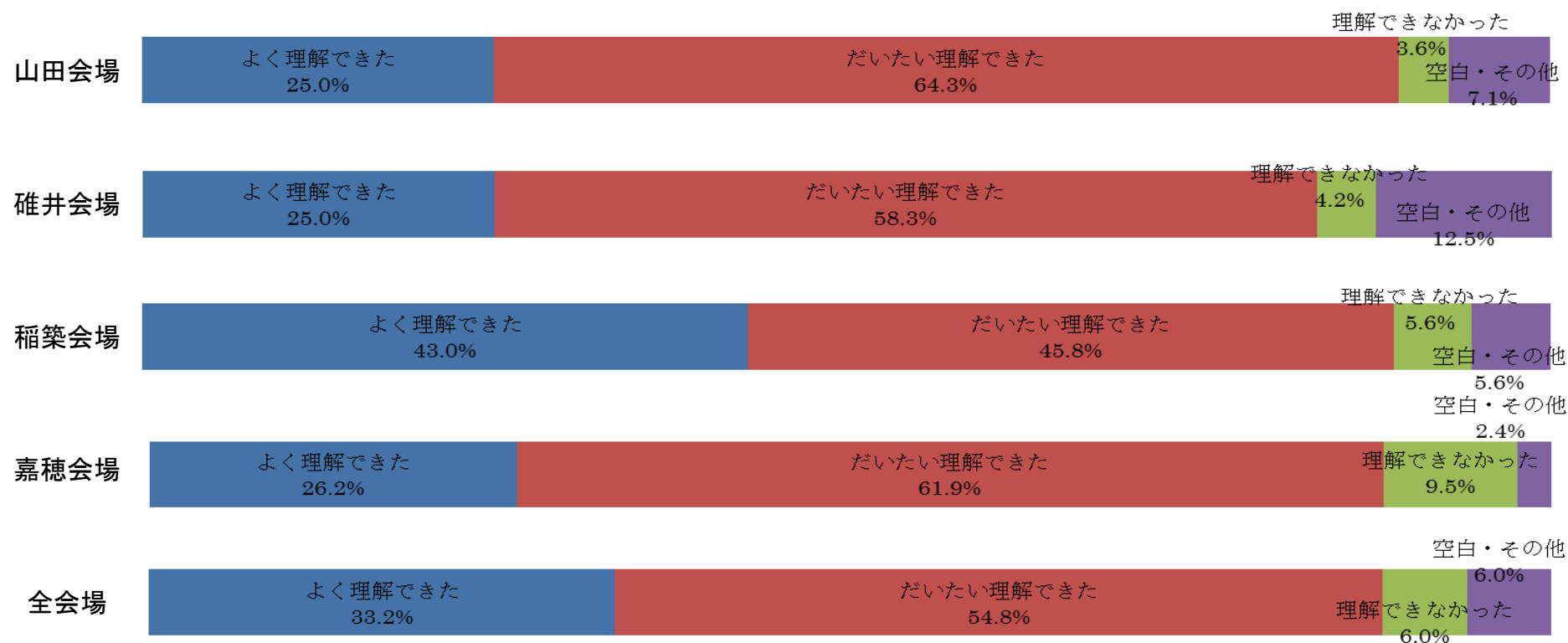
説明会を知った方法	人数（人）
広報誌	77
ホームページ	15
回覧板	50
口コミ	19
その他（新聞等）	23



《問5》理解度

どの会場も「よく理解できた」、「だいたい理解できた」が80%以上を超えている。
 全会場の集計では、「よく理解できた」、「だいたい理解できた」の割合が88%と理解度が高いのが伺える。

会場名		よく理解できた	だいたい理解できた	理解できなかった	空白・その他
山田会場	人数	7	18	1	2
碓井会場	人数	6	14	1	3
稲築会場	人数	31	33	4	4
嘉穂会場	人数	11	26	4	1
全会場	人数	55	91	10	10



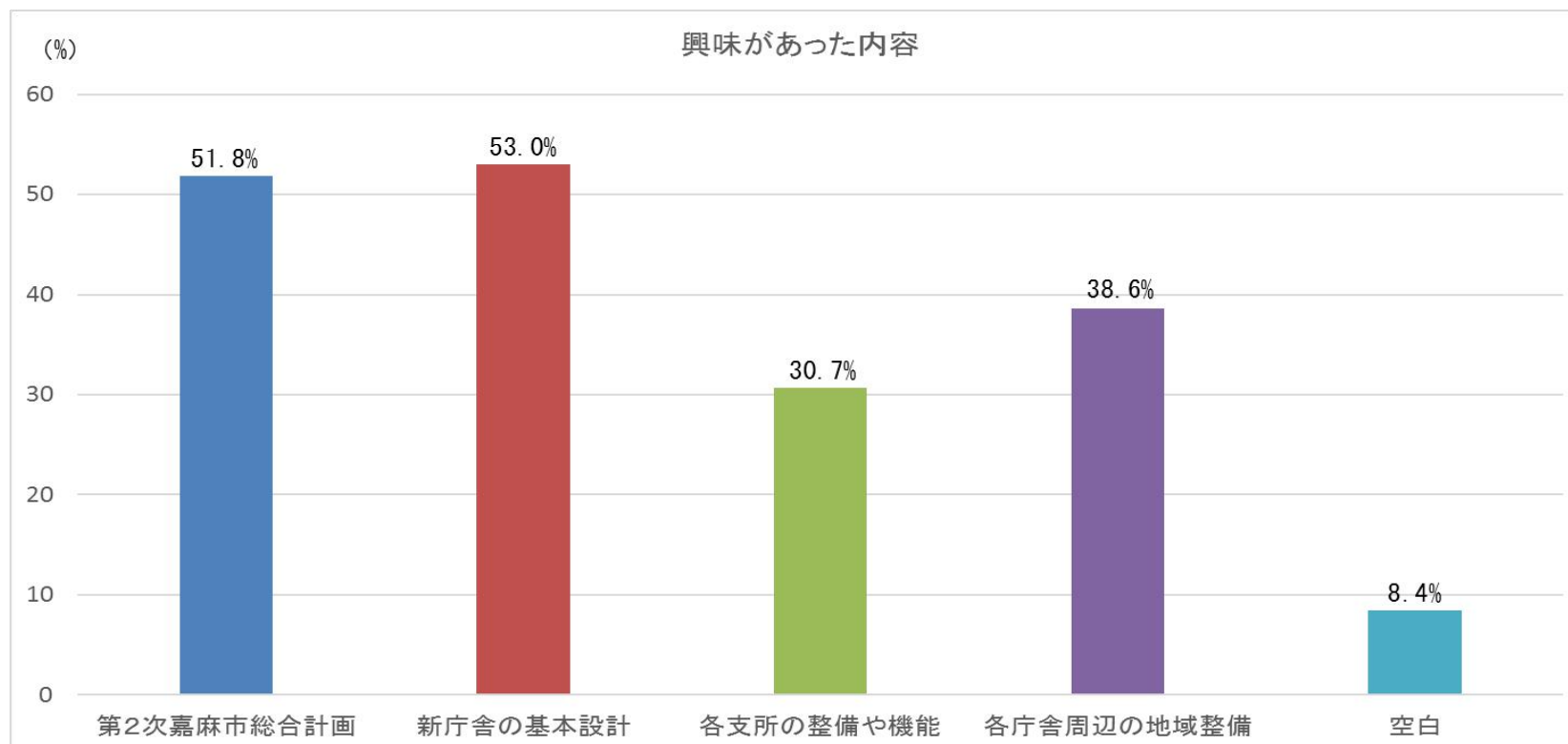
《問6》興味があった内容（複数回答）

どの項目も概ね興味があったように思われる。

複数回答のためアンケート回答人数166人での比率をみると、「第2次嘉麻市総合計画」51.8%、「新庁舎の基本設計」53.0%、「各支所の整備や機能」30.7%、「各庁舎周辺の地域整備」38.6%、「空白」8.4%となる。【図6】

「第2次嘉麻市総合計画」、「新庁舎の基本設計」については、参加者の半分以上の方が興味があった内容という結果になった。

会場名		第2次嘉麻市総合計画	新庁舎建設の基本設計	各支所の整備や機能	各庁舎周辺の地域整備	空白
山田会場	人数	16	14	9	12	3
碓井会場	人数	12	16	9	8	1
稲築会場	人数	36	37	17	25	7
嘉穂会場	人数	22	21	16	19	3
全会場	人数	86	88	51	64	14



(5) 自由意見の集約（アンケート記載事項）

感想・気づいた点・意見についてのとりまとめ（アンケート自由意見）

- ・立派な総合計画や庁舎建設の協議がされ、ご苦労様です。これを実りあるものにする為には今後の施策の実施にかかっています。他の自治体と同じ取り組みでは実現不可と思える。各取り組みも No.1 を目指して頑張ってください。
- ・参加者が必ずしも多くなかったのが残念ですが参加してよかったと思います。ご案内有難うございました。関係者の皆様お疲れ様でした。
- ・嘉麻市の将来の展望について説明を聞いて、未来予想図がしっかりと描かれていると感じました。残念なのは市民の方がもう少したくさん来場されて、未来像を描いてほしいと感じました。
- ・参加人数が少ないと感じた。
- ・人口減少については若い人の定住促進が必要。審議員がこの場で質問はおかしい。審議委員会で決まり中間答申しているのに。
- ・貴重な場にも関わらず、市民の参加が少ないことが残念でした。もっと周りの人にも声かけを頑張りますので、職員の皆さんも頑張ってください。
- ・新庁舎の建設については説明で納得できました。
- ・私は14年前に移住して参りましたが、今後は山田地区でまちづくりをします。
- ・質問できませんでした。時間が少ない。
- ・支所の整備、機能について質問がなかったようで残念でした。
- ・施設の体系の（将来像）はもっともなことです。本当に実現できるか、長生きして見とどきたいものです。
- ・第2次嘉麻市総合計画が未来へ向かって前進して住みやすい街づくりを推進していく様子がこの説明会で良く解りました。ただ、市民説明会でありながら市民の方が少ないのが残念です。
- ・民間の企業が参入しないと、やはり人口減少に歯止めは効かないなと思います。
- ・大きな事業については成行きを見守るだけですが碓井町県営住宅（口戸団地）全員移転され嘉麻市の人口は減数してないかも（山野団地へ）。碓井はストアーも閉店し（活気ある商業振興に期待してます）。碓井は商店街はなくなり福祉施設ばかりになるのでは？

- ・①人口流出・人口減に対する具体的アクションを強化願いたい。②市民所得倍増政策の推進③高齢者（65才以上の行政力への参加を強力に推進して下さい。
- ・人口減少対策として、働く場所が必要だと思いました。
- ・はっきり決まった事です。これからは大変と思いますが、皆様と一緒に協力して頑張ってください。
- ・若い方の参加が少ないのが……。仕方がないのかな。
- ・嘉麻市の将来像の方向性はいいが、実行について広報誌等で説明し、創造倒れしないように。
- ・「新庁舎建設等に関する取り組み状況」のP5（1）建物の防災機能について、国道から1．2m高くすることにより被害を防ぐと記載あるが私は懸念します。
- ・人口の高齢化のため、活気が無くなっていくのが心配です。
- ・新庁舎建設は決定しているが、今後の活動の一つであるイベント、スポーツ広場等の位置と設置を含め、早急に計画等を示してほしい。
- ・計画だけでなく人口が増え、明るい町にお願いします。
- ・財政の面からの事業計画の説明がほしい。実施計画について責任、権限をもったみえる化計画で結果と反省をする機会をもってやってほしい。人口と財政バランスを、特に福祉医療の削減できる計画等の提示を！4地域ではなく、一括としての計画等を！地域にわけなくて、嘉麻市として、役割としてすぐれているから、その地区にそれをお願いします。
- ・若い方の参加が少ない事が気になりました。少し残念な気がしました。
- ・教育には力を入れるべきと思う。観光についてももう少し説明が欲しい。
- ・新庁舎一刻も早く待ってます。絵に描いた餅にならない様、頑張ってください。
- ・まちづくりの方向性について、嘉麻市の第一の課題、人口減少について、人口減少＋高齢化であることに課題が大きいと考えます。市長には財源不足のなかで高齢者対策についてふみこんで話してほしいです。
- ・人口増に向けて、企業の誘致が必要。子育て、教育、福祉を充実させ、住みよい、住み続けたい嘉麻市を目指して下さい。
- ・数値化の質問（良）。ぜひ行ってほしい。
- ・説明会の内容であった3.各支所の整備や機能について、4.各庁舎周辺の地域整備について、この2点についてももう少し具体的に知

りたかったです。今後の計画策定に期待しています。地域間交通の整備（循環バス）もよろしくお願いします。前2回の説明会と比べ、前準備がきちんとされていることが感じられ、スムーズな進行、対応、回答だったと思います。来てよかったです。

- ・将来設計に向けた、人口減少の歯止政策や、新庁舎の必要性～概要及び地域整備等の基本計画が大変良く理解出来ました。地域に担った総合計画をしっかりと進めて行ってほしいものです。宜しくお願いします。
- ・（１）新庁舎事業費 39.5 億円を超えないように。（２）どこに住んでいても、いつでも住民サービスが受けられる支所づくりを。
- ・人口減少に向けた嘉麻市の課題について、ハードの部分は分かった。がんばってください。
- ・協議会の議論の充実、地元の意見の反映、実現を希望します。＊高齢化への対応が？？
- ・大隈町は昔からの城下町です。どんどん淋しくなります。まちを大切にしてください。まちおこし等秀吉の陣羽織もありますので資料館等を作って載きたいと思っていますのでよろしくお願いします。
- ・新庁舎、平面図等の説明においては、プロジェクターを利用して、正面スクリーン上で説明を行って欲しい。
- ・大変ききやすい説明でした。
- ・様々、頭を悩ませながらの未来への計画。大変だと思います。ここ1年市報が様変わりし、市民中心の発信になってると感じています。若い人たちが土日休みの農業経営に従事できるような取り組みを農協さんと取り組んでいければ、また収入が労働にみあったものになれば若者が楽しく農業を継いでくれると思います。荒れた農地を何とかまちづくりに活用できることを願います。井原先生はプロと思いますが地域を元気にするのは地元の若者だと思います。また企業(旅行業者)や食(安心、安全、おいしい)(ジビエ料理)などを売り出してくれる仕掛人とか若者が来なくなるレストランなどバスツアーに取り組んでもらうとか小石原焼とタイアップして季節はずれの小石原みんとう祭などをひらいたり小石原も若い作家さんのすてきな作品もあってすごく人気があります。皿山とか歩いてところどころ茶店を出してジビエハンバーガーとか〇〇牧場のアイスとか若い女性をターゲットになるようなことも考えてみて下さい。交通の便が悪くても SNS でどんどん広がっていくと思います。がんばってください。私も嘉麻市大好きです。
- ・新庁舎に一番遠い嘉穂地区はこのままでは「疲弊」するばかりです。各支所の整備はそれぞれの特性を生かし十分に審議をつくし充実させてほしいです。特に嘉穂の支所の有効活用は嘉麻市全体にとっても重要だと思います。
- ・こうした説明会に参加するのは初めてでしたが大変わかりやすかったです。市外の者ではございますが嘉麻市さんの取り組みや市

民の方の声が見れる、聞ける場がもっとあればと思います。特に高齢者の方が多い地域ではあるかと思いますが、もっと若者が参加し自分達が住んでる地域のことについて考える機会が増えればと思いました。現状、説明会に参加されてるかたの年齢層は高いようでしたので資料はもっと見やすくしてほしいです（文字の大きさやデザイン等）。本日はありがとうございました。

- お疲れ様でした。
- 住民の立場に立った説明会ではなかった。
- 一番庁舎反対が多い地区での市民説明会で非常に興味があったのですが残念ながら市民の方々の少なさにはびっくりしました！自分達の将来設計に対する意識をもっと強くし深く追求してほしいと感じました。新しい未来に向かって走り出してる嘉麻市をみんなで協力し嘉麻市に住んで良かったという実感を感じとってほしいと願うばかりです！有り難うございました！お疲れ様でした！＊貴重な意見が最後で出ましたので良かったです。
- 井原教授の話は机上の理想だと思いました。当分は国の人口はどんどん減少していくのですから嘉麻市だけが勝組になれる訳ないと思います。少なくなることを想定した町づくりを考えるのが一般的な考え方だと思います。どこの町も何とか策をねっているのです。人口が減ることを逆手にとって何か良いアイデアがあればいいですね。
- 今回で4回目です。アンケートも同じように出しました。市民の意見を聞くことが大事ですしこのような機会は何回でもいつでもどこでも開くことがそれこそ「協働のまちづくり」につながるものと考えます。4日間、たいへんでした。お疲れさまでした。
- 今回説明会の目的は、配布された資料の通り、第2次総合計画及び新庁舎建設についての説明あるいは合意づくりだったと思います。その点から言えば、まちづくりの基本として市内どこに住んでいても必要な住民サービスが受けられるかどうかが据わっていただかなければと思います。合併後11年経った今、これまでの11年をふり返り、これからの10年間、さらにはそれ以降も見据えたまちづくりの展望が示されたのかという点で疑問が残るものです。その意味で設問「[5] 嘉麻市の…」欄で、「③理解できなかった」としたものです。感想として、1. 参加者が少ない 2. 質問時間の1分間は短い 3. 市民どうしの意見のすれちがいは、もう少し意見交換できれば。（嘉穂支所の移動先は、夢サイト近くにといい意見と大隈小もなくなり支所もなくなったら大変との意見）
- なし。

質問についての取りまとめ（アンケート自由意見）

質問	回答
・立派なものが出来ているが、今後具体的事業として何をするのか見えない。山田地区に於いては庁舎の活用が出来ないのか？例えば基本方針 1-4、創業支援、企業誘致など他にないような有利な条件で使ってもらおうとか……。 ・「市民に開かれた庁舎」との事で、パブリックスペースや利活用についてもっと事前に市民に問うてもらいたかった。設計デザインが決まってからではどうしようもないので……。5Fまでの分かりやすい図を載せてほしかったと思います。議場は傍聴席を向いておりましようか？美観や材質がきちんと機能重視になっておりますか？※後発で建設なされる物は安全性や機能性で優れたものでなければなりません。先進の物の反省や対策が加味されるはずだから……。 ・男・女・その他とありますが、性別にその他とは理解に困ります。その他の意味を教えてください。	・総合計画は市の将来像やまちづくりの基本的な方向を示し、将来像を実現するために分野ごとに重点的に取り組む主要な施策を示したものです。そのため、総合計画にあるまちづくりの基本的な方向性を基に各分野の担当課が事業を実施していきます。庁舎等については、各地域整備協議会で利活用を検討していきます。（企画財政課・地域活性推進課） ・議場は、市民に開かれた議場機能を持たせた計画としています。設計にあたっては、先進地の事例や、嘉麻市新庁舎施設整備等審議会からの答申を最大限に尊重し計画しています。傍聴席は、議員席後方から議長席に向かって配置した計画としています。また、議会閉会中は、市民に開かれた議場づくりとして、フラットな床や可動式の議場家具などの設置を検討し、議場の壁には地域産材を活用するなど、安全性や機能性を考慮し計画を進めています。（地域活性推進課） ・性的少数者の方々への配慮とし、（ ）の中に自己認識している性を記入していただくように記入欄を設けました。 （人事秘書課・男女共同参画推進課）

・地域活性会委員に応募したいと思いますが、選出方法は？どの課なのか、年齢的にも制約があるのか。 ・市職員の方で嘉麻市在住の方はどれくらい、また市外に在住の方はどれくらい居るのでしょうか。またその割合は。嘉麻市職員自身が“いきたい”“住みたい”“つながりたい”まちなのでしょうか。 ・市バスの件ですが、西鉄バスと連絡していないので利用できません。月に数回 20 分ほど待つ稲築支所へ行くことがあります。新庁舎が出来までの実現を望んでいます。福祉バスが小さくなり、乗れない人が出る時間帯もあります。実態をご存知でしょうか。 ・庁舎前でイベントを行うのであれば、「さくら通り」は障害になるのではないかと。来客用駐車場の芝生敷きにしたら草刈り、除草、水やりなど管理コストがかかるのではないかと。市民からこのような意見が出されても答申を遵守する必要があるのか、答申に縛られるのか。さくら通り、芝生は見直すべきではないかと。	・嘉麻市地域整備協議会の担当課は地域活性推進課です。選出方法は、選考委員会において、市が定める委嘱基準及び公募実施規定に基づき、男女の構成比及び新規募集者の優先、更には他の附属機関との兼任状況を勘案して選考します。また、年齢は平成 29 年 5 月 1 日現在において 20 歳以上であることが資格要件となっています。(地域活性推進課) ・第 1 次総合計画に引き続き、第 2 次総合計画においても魅力あるまちづくりを行うことで、市職員も含め市民の方々が“いきたい”“住みたい”“つながりたい”まちになるように総合計画の各施策を実施していきます。(企画財政課・人事秘書課) ・市バスは、対応できるものは対応しています。福祉バスは、平成 29 年 4 月から車両を変更しており、実態は把握していますので検討していきたいと思います。(総務課・社会福祉課) ・来客用駐車場の芝生敷きについては、イベント広場としての活用と合わせて、景観、環境対策などを考え、芝生敷きにしています。なお、嘉麻市新庁舎施設整備等審議会の答申を最大限に尊重し、市の内部決定により、新庁舎建設の計画を進めていますので、ご理解下さい。(地域活性推進課)
---	--

・全体的に大雑把にしか分からなかった。ひとり親世帯への支援の充実の具体例を知りたい。子育てへの経済的支援の充実の具体的対応例を知りたい。被保護世帯の自立支援の対策例。職員給与の適正化では嘉麻市民間企業にあわせてください。	・総合計画は市の将来像やまちづくりの基本的な方向を示し、将来像を実現するために分野ごとに重点的に取り組む主要な施策を示したものです。そのため、総合計画にあるまちづくりの基本的な方向性を基に各分野の担当課が事業を実施していきます。 ◎ひとり親世帯への自立した生活の確立に向け、母子・父子自立支援員を配置し、相談受付及び問題解決の支援やアドバイスを行っています。（相談・支援体制の充実）また、児童扶養手当の支給による経済的支援、18歳までの子及び父又は母の医療費の一部助成（中学校3年生までは無料）、就職の促進及び雇用の安定を図るための母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金の支給事業を実施しています。（生活・子育て・就業等に関する支援） ◎子育てへの経済的支援については、児童手当等の支給による経済的支援、（中学校3年生までの医療費の無料化）、保育料基準の軽減等により、子育て家庭の生活の安定を図っています。 ◎被保護世帯の自立支援対策として、就労支援員を2名配置し、ケースワーカーと協力し就労支援を実施しています。これは、支援対象者に対し、定期的な面接の中で就労意欲の喚起から企業面接の方法、履歴書の書き方まで幅広く具体的に支援を行うとともに、ハローワークと連携しながら求人情報提供等を実施しています。 ◎職員給与については、地方公務員法を準拠し、国及び他の地方公共団体の職員並びに民間事業の従事者の給与その他の事情を考慮して定められています。（企画財政課・こども育成課・市民課・保護課・人事秘書課）
---	--

・市のまちづくり 5 つの方針とあり、市民のみなさんと共にしようとの説明がありましたが、社協に協議体（予算 950 万円）委託していますが、市幹部の参加は、1 度説明（したら即帰った）、1 度職員が参加したらもう参加なし、毎月の開催にもこのような状態です。市長は民間出身ですのでどう思われますか？（投げ渡しではだめ）パブリックコメントも必要ですが受身ではなく、市の職員が現場に出て真の意見を身をもって聞き、策定、実施検証していくことがまちづくりの基本ではないでしょうか。今日も飯塚市民の方から松岡前市長から赤間市長に変わってどうですかとの質問がありました。市民説明会や審議会もよいのですが、行政区長会や老人会、民児協等々に市の幹部が参加して市民の生の声を是非聞いて欲しいと思います。そして計画を策定する。期待しています。

・協議体の事業は、生活支援体制整備事業といって 5 つの協議体（日常生活圏域＝中学校区）毎に、元気な高齢者等が社会参加・社会的役割を持つことで生きがいや介護予防につながるように、地域住民が一つの社会資源となって地域高齢者に対し、どのような生活支援が行えるか、地域の高齢者がそのような地域社会の活動に参画することで自らの生きがいと健康増進、介護予防につなげていこうとする地域が地域を支える体制づくりを考えていくものです。

この事業は、平成28年度から市が嘉麻市社会福祉協議会に委託し、今年度は、社協の職員である協議体を取りまとめる生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を中心に事業を進めており、事業委託料は平成29年度予算での約670万円を計上しています。

この協議体は、おおむね月に 1 回集まりがあり、それぞれの協議体のテーマに沿った活動がなされております。

確かに幹部職員は年度当初の初回の協議体にてご挨拶申し上げ、その後他の業務のため退席したことがございますが、今年度は出来るだけ日程を調整し、それぞれの協議体に市職員が 2 名程度参加しております。

第 2 次総合計画では市民参画の手法として「市民意向調査」、「市民が参加した審議会での審議」、「ワークショップの開催」、「パブリックコメント」を実施し、市民の意見を計画策定に反映いたしました。今回いただきましたご意見を参考にさせていただき、次の総合計画策定時には、市民の生の声を聞く機会を増やすなど新たな市民参画の手法を取り入れ、総合計画に市民

・質問にありましたが、庁舎の位置はどのような経過から現在の場所を選定したのでしょうか？ 赤間市長説明「まちづくりの方向性」のうち、課題②財源不足「地方交付税の額は減少する」として説明では2020（平成32）年度は、2015（平成27）年度に比べ約9億円減るとの説明がありました。それでは、 ・実際、平成27、28年度の減った実績はどうだったのか。	の意見がより反映されるよう検討いたします。（高齢者介護課・企画財政課） ・市議会の特別委員会での慎重な審議を経て、複数の候補地（碓井庁舎増築、碓井グラウンド、稲築多目的運動広場、牛隈交差点）から投票により稲築多目的運動広場が議会の意思として選定され、住民の利用が多く、交通事情がよく、他の官公署との距離が近いこと等を理由に、庁舎の位置を定める条例の一部改正条例が議員から提案され、法律的な確定力をもつ条例議決により、本庁舎の位置は稲築多目的広場に決定しています。（地域活性推進課） ・臨時財政対策債を含めた地方交付税交付額は、 平成27年度：約115億4千7百万円、 平成28年度：約110億3千8百万円で、約5億9百万円の減となっています。（企画財政課）
--	---

・総合計画最終年度前の平成 37 年度は、13 億円、本当に減る見込みなのかどうか。

従って、意見は以下です。地方交付税が減らされて歓迎するものではありません。法の定めとは言え、合併特例法第 17 条の定めに従って交付税を減らされることは、未だまちづくりの途上の嘉麻市にとって困るとの声を国に上げるべきではないのですか。合併特例法の特例の特例を作っても。

同じく課題②財源不足の項、「本庁機能の分散」のため、非効率、移動のムダがあるとの説明でした。そこで疑問です。

・本当にどのような非効率、移動のムダが行政運営上あるのか。言葉だけでなく、リアルな実態が示されなかった。(だから、新庁舎建設が必要との論拠につながるのでしょうか)

・現行制度のままであれば、平成 37 年度の交付見込額は、平成 27 年度に比べ 13 億円程度の減となる約 102 億 8 千万円を見込んでいます。

なお、嘉麻市では、全国の合併市で設立された「合併算定替終了に伴う財政対策連絡協議会」を通じ、合併団体の実態を十分に踏まえた普通交付税の算定方法の見直しなど、新たな財政支援措置を国に強く求めてきました。この結果、平成 26 年度より合併後の市町村の実情を反映した新たな交付税措置がなされましたが、平成 29 年度以降に措置される予定のものもあるため、国の動向に注視し、引き続き必要な要望を行います。

(企画財政課)

・本庁機能の分散に伴う住民サービスの低下・簡素で効率的な組織構築の阻害要因・行政運営における業務効率の低下・人件費や燃料費、公用車に係る余分な経費及び老朽化の進む各庁舎の維持管理費に係る経費の増加などがあげられます。具体例の一例として、会議や決裁のための庁舎移動、災害対策本部等の招集の遅れ、また、軽微な申請以外は各庁舎へ移動しなければならないという住民のたらいまわしの問題もあります。(地域活性推進課)

・逆に市民からみれば、利便性がそこなわれることはないのか。一例です。次のような市民の声もあります。「今まで、選挙の期日前投票は、各支所でできたが新庁舎ができたら支所ではできなくなるのでは」との疑問にどう応えますか。選挙という限定的期間の問題であっても、必ず選挙はあるし、ないがしろにできない疑問であると思います。 同じく課題②財源不足の項、「老朽庁舎…対応・職員の適正化…」に関し、20年間で約148億円抑制できるとの説明でした。 ・職員の適正化について 今でも、部署・課では目いっぱいの仕事をしているのにそれ以上に職員を減らすことになるのか ・その結果、今職員が何人いて職員の適正化によって大体、新庁舎に入る職員は、保育所や清掃現場などの出先機関は別にして何人ぐらいになるのだろうか。	・支所業務の基本的な考え方としては、諸証明の発行や簡易な申請及び相談に関する事務にとどまらず、期日前投票の実施や地域振興・コミュニティ拠点としての機能を有したものとして考えています。（地域活性推進課） ・職員定員適正化計画に基づき実施していく予定です。 （人事秘書課・地域活性推進課） ・職員定員適正化計画における平成39年度の庁内職員数は370人を想定しています。（人事秘書課・地域活性推進課）
---	--

・維持管理経費 80.3 億円の中に、人件費は入っているのですか。入っているとすれば、当然、国の補助があると思うのですが。 ・庁舎整備をするとき…68.2 億円はすべての市の負担ですか。前と同じく国の補助があると思うのですが。 ・市営住宅の建設予定はありますか？＊現在の市営住宅が古すぎるため。	・本庁業務 1 本化と既存 4 庁舎を利用する場合の総職員数を比較しているため、人件費は計上しています。なお、普通交付税の基準財政需要額には、職員人件費相当分が算入されていますが、標準的な団体をベースとして算入されており、実際の職員数とそれに係る人件費が算入されるものではありません。 (地域活性推進課・企画財政課) ・庁舎の維持補修事業は合併特例債対象外となっています。 (地域活性推進課・企画財政課) ・本市の市営住宅は、全国の類似団体と比べ多くの管理戸数を抱えていることから、現在、長寿命化計画に基づき老朽化した住宅を除却し、適正な管理戸数へと縮小のため、除却工事を推進しているところであり、新規の市営住宅建設予定はありません。(住宅課)
---	--

(6) アンケート調査票

まちづくりの将来像に関する市民説明会アンケート（平成29年5月開催）

今日は、市民説明会へのご参加ありがとうございました。
説明会に関するご意見をいただき、とりまとめたものをホームページ等で、
お知らせしたいため、以下の質問に対するアンケート調査にご協力ください。

【1】あなたの性別を記入してください。（どれか1つに○をつけてください）

・男 ・女 ・その他（ ）

【2】あなたの年齢を教えてください（該当する番号に○を付けてください）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上

【3】あなたのお住まいの地域はどちらですか？（該当する番号に○を付けてください）

1. 山田 2. 稲妻 3. 碓井 4. 嘉穂 5. 市外

【4】本日の説明会をどこで知りましたか？（該当する番号に○を付けてください）

1. 広報誌 2. ホームページ 3. 掲示板 4. 友人・知人等の口コミ
5. その他（具体的に記入ください： ）

【5】嘉穂市のまちづくりの将来像は理解できましたか？（該当する番号に○を付けてください）

1. よく理解できた 2. だいたい理解できた 3. 理解できなかった

【6】説明会の中で興味があった内容はどれですか？（該当するものすべてに○を付けてください）

1. 第2次嘉穂市総合計画について 2. 新庁舎建設の基本設計について
3. 各支所の整備や機能について 4. 各庁舎周辺の地域整備について

【7】本日の感想、お気づきの点など、ご自由に記入してください。

	↓
	↓
	↓
	↓

※ お帰りの際、回収箱に入れてください。
アンケートにご協力いただきありがとうございました。

29 嘉地第 158 号

平成 29 年 6 月 30 日

嘉麻市山田地域整備協議会

会 長 村上 曙生 殿

嘉麻市長 赤 間 幸 弘

地域整備に伴う下記事項について、嘉麻市地域整備協議会条例（平成 29 年嘉麻市条例第 1 号）第 3 条の規定により、貴協議会の意見を求めます。

記

- 1 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること。
- 2 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること。
- 3 その他山田地域整備に関し、市長が特に必要と認める事項に関すること。

諮 問 理 由

現在の分庁方式から本庁方式へ移行するにあたり、従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な 4 つの地域として活性化され発展することが重要であります。市ではこのことを重要な課題と位置付け、「嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）」の中において、既存庁舎や周辺の利活用についても計画したところでありますが、平成 28 年 2 月 17 日の「嘉麻市新庁舎施設整備等審議会」の答申の中で、「支所の設置場所、内容及び防災機能、災害時における支所の対応並びに地域の活性化の方向性等については、各種協議会等と連携し、地域の住民と協議・検討を行うこと。」と示されたことにより、各地域に協議会を設置し、支所のあり方、庁舎資産の活用方法等について、住民の方々と協議、検討を行うことといたしました。

財源の乏しい本市においては、既存庁舎の除却や支所の設置に対する有利な財源である合併特例債を活用できる期限での早急な対応が必要であること、また、山田地域の特性をいかした地域づくりを行うため、地域整備基本計画（案）を策定し、貴協議会にて協議いただくことといたしました。この取り組みは、本市の将来のまちづくりを行う上で、重要な役割を担うものであると考えられます。

以上のことから、貴協議会におかれましては、より良い地域の発展を形とできるような、山田支所のあり方、山田庁舎及び庁舎周辺の活性化につきまして、大所高所からの調査協議をお願いし、地域整備の取り組みに対し、答申を賜りたく諮問する次第であります。

年齢階級別人口（平成28年1月1日現在）

団体等	性別	総数	0～4歳		5～9		10～14	
全国	計	125,891,742	5,103,264	4.1%	5,409,669	4.3%	5,620,177	4.5%
	男性	61,444,444	2,615,008	4.3%	2,774,451	4.5%	2,880,325	4.7%
	女性	64,447,298	2,488,256	3.9%	2,635,218	4.1%	2,739,852	4.3%
福岡県	計	5,062,751	227,932	4.5%	234,468	4.6%	230,683	4.6%
	男性	2,403,896	116,883	4.9%	120,212	5.0%	118,041	4.9%
	女性	2,658,855	111,049	4.2%	114,256	4.3%	112,642	4.2%
嘉麻市	計	40,264	1,357	3.4%	1,541	3.8%	1,676	4.2%
	男性	18,720	683	3.6%	810	4.3%	856	4.6%
	女性	21,544	674	3.1%	731	3.4%	820	3.8%
山田地域	計	9,226	285	3.1%	302	3.3%	365	4.0%
	男性	4,209	148	3.5%	167	4.0%	193	4.6%
	女性	5,017	137	2.7%	135	2.7%	172	3.4%
稲築地域	計	16,991	602	3.5%	693	4.1%	766	4.5%
	男性	7,836	292	3.7%	360	4.6%	388	5.0%
	女性	9,155	310	3.4%	333	3.6%	378	4.1%
碓井地域	計	5,584	202	3.6%	223	4.0%	203	3.6%
	男性	2,678	112	4.2%	119	4.4%	103	3.8%
	女性	2,906	90	3.1%	104	3.6%	100	3.4%
嘉穂地域	計	8,463	268	3.2%	323	3.8%	342	4.0%
	男性	3,997	131	3.3%	164	4.1%	172	4.3%
	女性	4,466	137	3.1%	159	3.6%	170	3.8%

（参考）合計特殊出生率の推移と比較

	全国	福岡県	嘉麻市
平成15～19年	1.31	1.31	1.37
平成20～24年	1.38	1.43	1.48

※合計特殊出生率とは1人の女性が一生に産む子どもの数

（参考）嘉麻市の出生数

	計	男性	女性
H17.10～H18.9	308	164	144
H18.10～H19.9	319	170	149
H19.10～H20.9	330	173	157
H20.10～H21.9	299	153	146
H21.10～H22.9	297	162	135
H22.10～H23.9	298	146	152
H23.10～H24.9	247	128	119
H24.10～H25.9	298	145	153
H25.10～H26.9	261	137	124
H26.10～H27.9	236	104	132
H27.10～H28.9	248	130	118

山田市福祉のまちづくり整備基本計画について

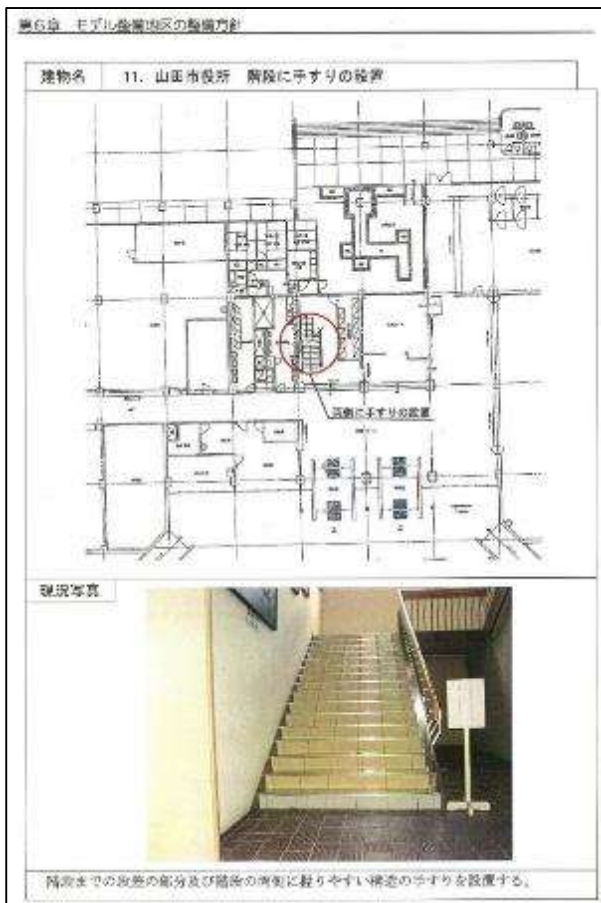
平成14年度から15年度にかけて審議された山田市福祉のまちづくり整備基本計画について現在どのように整備されているかを調査しました。個別の整備計画について主な一覧を、また成果の一部を示させていただきます。

個別の整備計画（参考）

番号	整備計画箇所
1	サルビアパーク前 道路につながる歩道
2	サルビアパーク 観覧席の腰壁
3	杉町橋 欄干の高さ
4	山田市役所 階段に手すりの設置
5	山田市役所 福祉事務所前の誘導ブロック設置
6	山田市民センター 階段手すり
7	山田市役所下の交差点



階段に手すりの設置（山田市役所（当時））

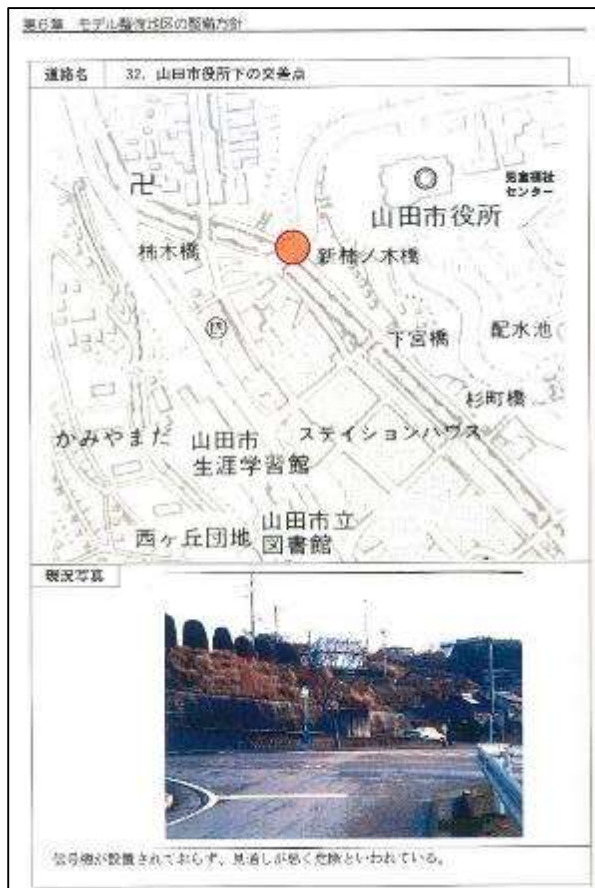


階段の両側に手すりがない。階段手前から支えられるよう、並行した手すりを取り付ける必要がある。

現在



山田庁舎下の道路



信号機が設置されておらず、見通しが悪い。本線と支線の区切りが分かりづらい。

現在



サルビアパーク前の橋



サルビアパークへの歩道整備ができていない。橋から人が横断できるように横断歩道の設置を検討しなければならない。

現在



パターン1 山田生涯学習館敷地

資料11



(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い
- ・バス事務所裏の敷地も併せて活用を検討できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで駐車場の確保がしやすい

(デメリット)

- ・設置の際に倉庫の除却が必要であり設置に手間と時間がかかる
- ・倉庫（車庫）の代替施設が必要
- ・駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる
- ・敷地裏に民家がある



黄枠は、
平屋の広さ



赤枠は、
2階建て広さ

パターン2 山田生涯学習館敷地



(メリット)

- 生涯学習館との距離が近い
- 市バスの停留所が近い
- バス事務所裏の敷地も併せて活用を検討できる
- 生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- サワラテ緑道公園を駐車場にすることで駐車場の確保がしやすい

(デメリット)

- 設置の際に倉庫の除却が必要であり設置に手間と時間がかかる
- 倉庫（車庫）の代替施設が必要
- 駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる
- 敷地裏に民家がある

パターン3 山田生涯学習館敷地



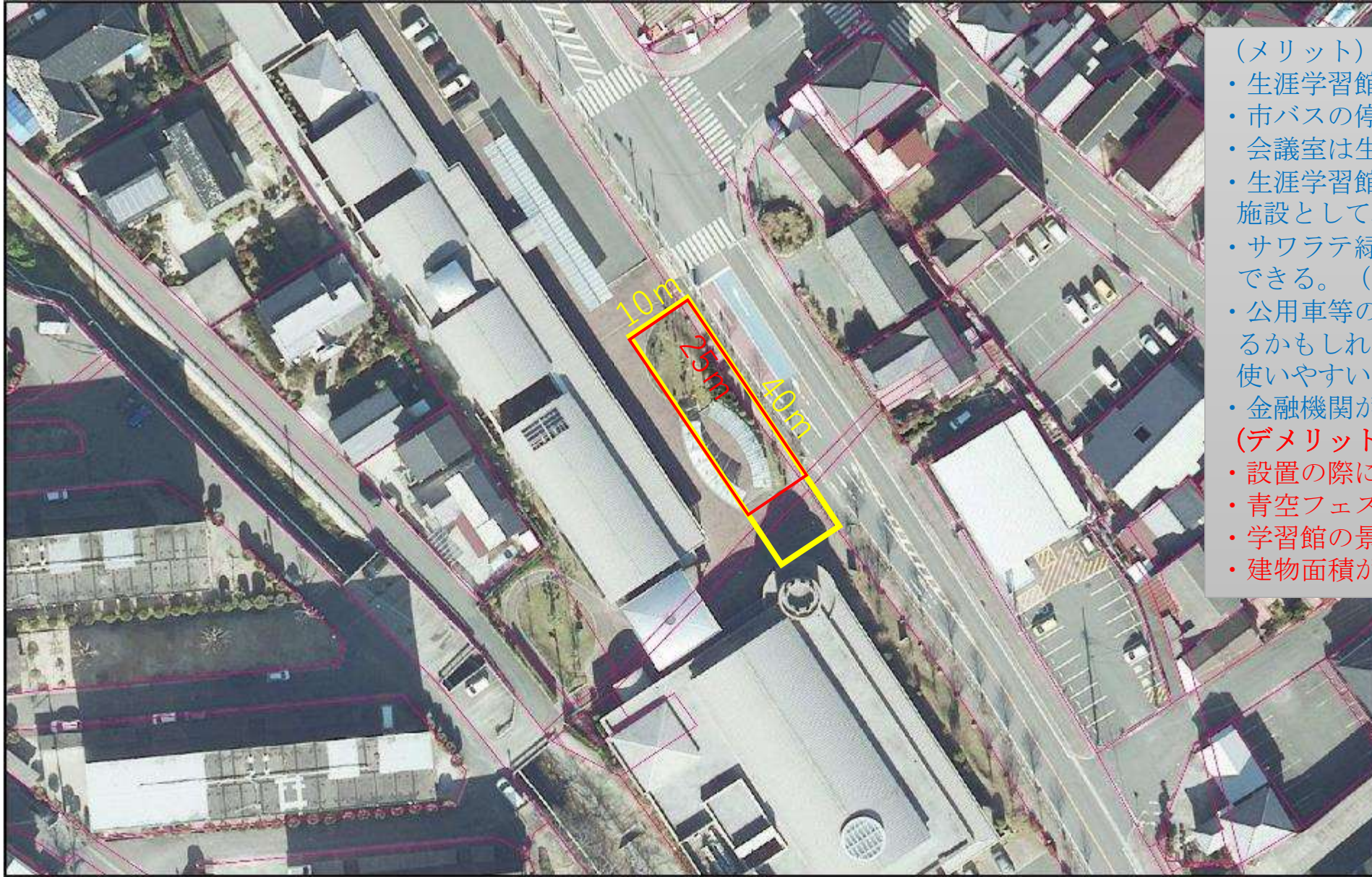
(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い
- ・バス事務所裏の敷地も併せて活用を検討できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで駐車場の確保がしやすい

(デメリット)

- ・建物面積が385㎡となる。
- ・駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる
- ・敷地裏に民家がある

パターン4 山田生涯学習館敷地（駐輪場付近）



(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い。
- ・会議室は生涯学習館を利用できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで解決できる。（駐車場の確保がしやすい）
- ・公用車等の駐車場は学習館の車庫で代用できるかもしれない（前の壁を除却できると更に使いやすい）
- ・金融機関が近い

(デメリット)

- ・設置の際に駐輪場の除却が必要である
- ・青空フェスタの開催に一部支障がでる？
- ・学習館の景観に支障を来す可能性がある
- ・建物面積が400㎡となる。

パターン5 サワラテ緑道公園敷地



(メリット)

- ・土木課所有地(公園)で造成がしやすく施工が容易であり設置も早い
- ・駐車場のスペースが確保できる
- ・市バスの停留所が近い

(デメリット)

- ・生涯学習館、図書館との距離は遠くなる。

山田庁舎跡地の利活用について

● 第3回山田地域整備協議会での意見集約 ●

庁舎跡地の利活用について

定住促進のための分譲地

宅地

- ・嘉麻市に職場がないため、ベッドタウン化。
- ・ベッドタウン化のためには、交通アクセスが必要。
- ・桂川駅までの交通網整備。
- ・土地を安く売る。
- ・分譲地は完売している。
- ・定住促進のための補助金必要。

企業向けの独身寮

宅地

- ・企業誘致が難しければ行政からアプローチをする。

高齢者が住める住宅

宅地・民間

- ・高齢者でのルームシェア施設。
- ・生涯定住できる高齢者用養護施設。
- ・スーパーがないので買い物もできる併合施設。
- ・老人のまち一本でいく(特色をだす)。
- ・全てバリアフリー化する。
- ・幼稚園と連携し孫とのコラボ。
- ・美奈宜の杜での事例参照。

誘致企業

民間

- ・働く場所が必要。
- ・若者が流出している。

商業施設

商業

- ・上山田マルシン閉店に伴い、買い物弱者がいるのではないか。
- ・スーパーが必要。
- ・飲食店としてコーヒー店。(周辺を回遊する際)

有害鳥獣の解体施設

施設

- ・有害鳥獣捕獲後の利用。

地域特性

高齢者が多い

- ・4地域の中でも高齢化率がトップである。
- ・シルバー人材センターがある。

生涯学習館付近

- ・こども・高齢者が集まる。
- ・催し物があっている。
- ・金融機関やATMがある。
- ・平地に位置している。
- ・山田らしさがでている
- ・交通の拠点となりうる。
- ・農地がない(上山田周辺)

公共施設

- ・まとめて、充実している(小学校・中学校・図書館・サルビアパーク等)
- ・こどもが多い(生涯学習館やサルビア付近)
- ・コンパクトにまとまっている。(集中している)

教育

- ・体験学習での職場経験で夢のある子を育てる。
- ・地域がこどもを育てる。
- ・家庭教育をしっかり行う。
- ・公民館が地域に与える役割は大きい。
- ・地域に住んでいることの意識付けをする。
- ・こどもが地域からでていき戻ってこない。

歴史文化

- ・昔の下山田地域の歴史(炭鉱の町)、上山田の歴史(商業)を後世にのこせないか。

資料 8 「諮問」に関する意見

氏名 廣瀬 公彦

- ① 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方について
- ② 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方について

番号	意見
①	・稲築新庁舎までの市バスを2ルートにする ①上山田～下山田～牛隈経由 ②上山田～下山田～稲築東地区経由（買物もできる）
②	・現山田庁舎跡地にはIT産業の誘致を（支店でもOK） 住宅用は空き家の利用が優先（古民家をリフォーム） ・支所は日曜も開ける（図書館と合わせるやり方も） 公用車を1台置く（地域密着で） ・サワラテ緑道付近に設置の場合は、2F建てとする。 山田川に近いので、2Fに宿直、防災備蓄品

資料8 「諮問」に関する意見

名前 古賀稲子

①山田地域の地域特性を生かした地域整備のあり方について

②山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所の在り方について

番号	意見
①	・一点確認したいことがあります。上山田に引っ越してきて16年ほどになりますが、その頃に「町づくり委員会」なる協議会に参加いたしました。その頃の上山田周辺地域においての建物の設備面や道路状況などの検討がなされ、実際にすぐに整備されたものや年を重ねて整備されたようなものもあったように思いますが、すべて整備されたのでしょうか？子供から高齢者までが住みよいバリアフリーな町づくりのプランがあったように思います。娘が身体の障害のため車いす生活を送っており、1人でも移動しやすい町になったらいいなあと思っていました。 ・昨今、地震や大雨などの被害がいろいろなところでおこるのを見てみると、まずはこの地域の状況（公共施設の使いやすさ、また避難場所として適しているか、市民が多く出入りする建物が使いやすいか、問題点はないか 公営、道路の問題点、等々）の見直しをまず行うことは重要ではないかと思う。 ・新しい取り組み（まだはっきりと思いつきませんが）も必要ですが、昔炭鉱の町として栄えていたころの下山田地域の歴史、商業として栄えていた上山田地域の歴史などを後世に残していけるようなものがあつたらどうでしょうか？何気にお聞きした昔のお話がとても興味深く感じるがありました。昔を知ること、新しい何かが生まれるような気がします。
②	・支所について 山田生涯学習館そばにできることは賛成です。ただ、高齢者が使いやすいくしてほしいこと（支所まで行かなくてもいいような様々な手続きの方法など）を踏まえながら、進めていただきたいと思います。 ・上山田マルシンが閉店となり、それまでここでしか買い物ができなかった人はどうされているのだろうと思っています。 ・皆が集まりやすい商業施設などがあってもいいのではないかと思います。

支所の位置



(メリット)

- ・土木課所有地(公園)で造成がしやすく施工が容易であり設置も早い
- ・駐車場のスペースが確保できる
- ・市バスの停留所が近い

(デメリット)

- ・生涯学習館、図書館との距離は遠くなる。

(メリット)

- ・生涯学習館との距離が近い
- ・市バスの停留所が近い
- ・バス事務所裏の敷地も併せて活用を検討できる
- ・生涯学習館、図書館との距離が近く一体的な施設として利用していただける。
- ・サワラテ緑道公園を駐車場にすることで駐車場の確保がしやすい

(デメリット)

- ・建物面積が385㎡となる。
- ・駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる
- ・敷地裏に民家がある

【山田 地域整備協議会の議論の状況報告】

①の位置に設置の方向で概ね決定。(①と②で比較検討を行う。)

- ・隣接する生涯学習館と相互に連携使用し、可能な限りコンパクトに設置することです承。
- ・生涯学習館の利用状況等の資料を参考にしながら支所機能を検討する。
- ・駐車場についての検討を行うこと。

山田地域整備協議会

現庁舎敷地

◆現庁舎

庁舎除却の方向で決定

(決定理由)

山田庁舎は昭和49年建築（43年経過）

耐震補強の必要性がある

除却して山田地域にない広場にできないか

現実的に建物の利活用は難しい

◇庁舎跡地

高齢者用施設（レジャー、定住促進など）

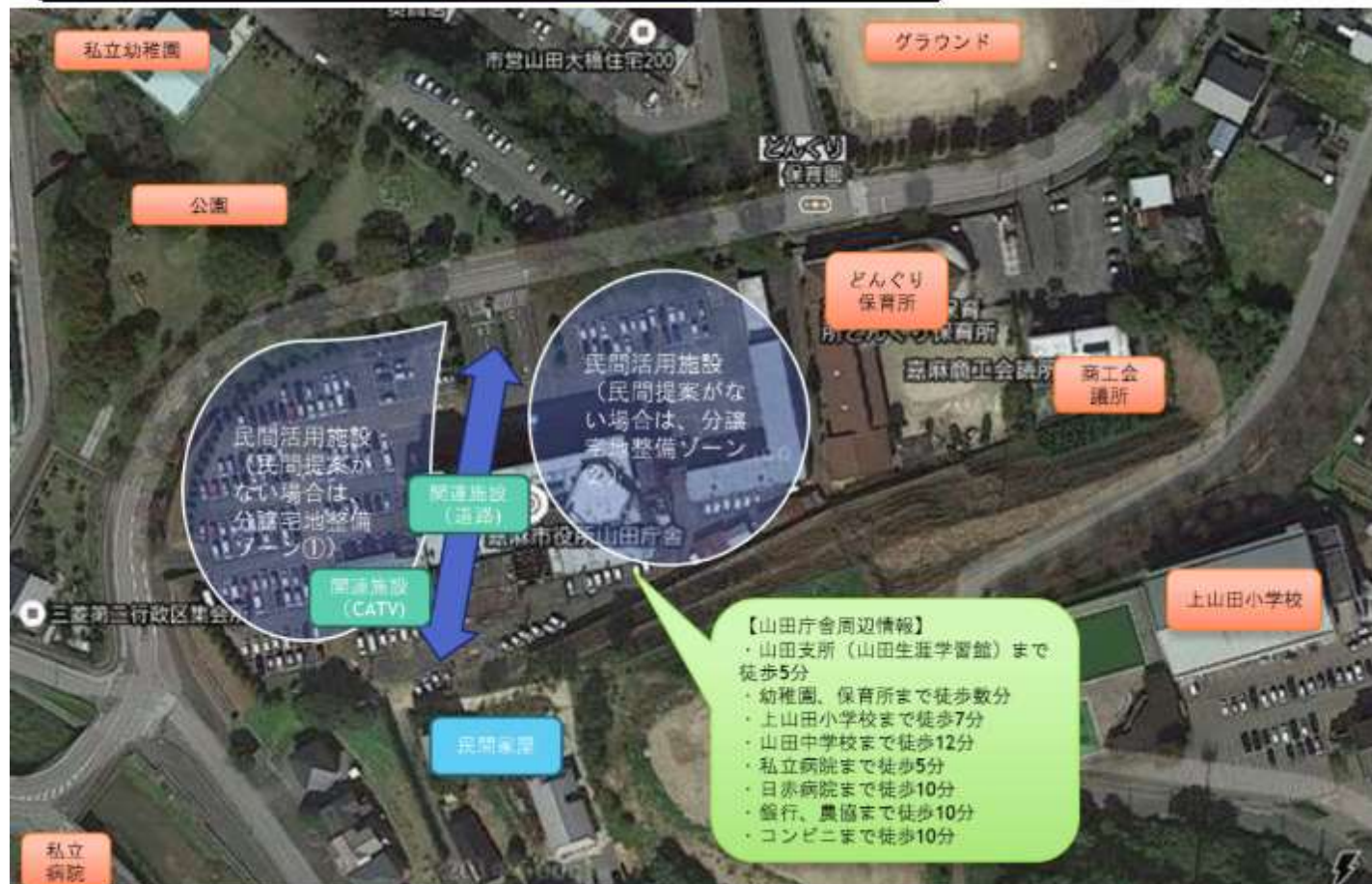
IT産業の誘致

定住促進の分譲地

合宿所などの宿泊施設

民間への公募も検討

※庁舎資産利活用イメージ（山田庁舎）



稲築地域整備協議会

現庁舎敷地



- ①稲築地区公民館
- ②稲築母子健康センター
稲築住民センター
- ③稲築保健センター
- ④稲築労働会館
- ⑤商工会
- ⑥ライオンズクラブ

【稲築 地域整備協議会の議論の状況報告】

◇現庁舎

庁舎除却の方向で決定

(決定理由)

稲築庁舎は昭和26年建築（66年経過）

昭和52年建築の②稲築母子健康センター・稲築住民センターと④稲築労働会館も除却の方向で了承

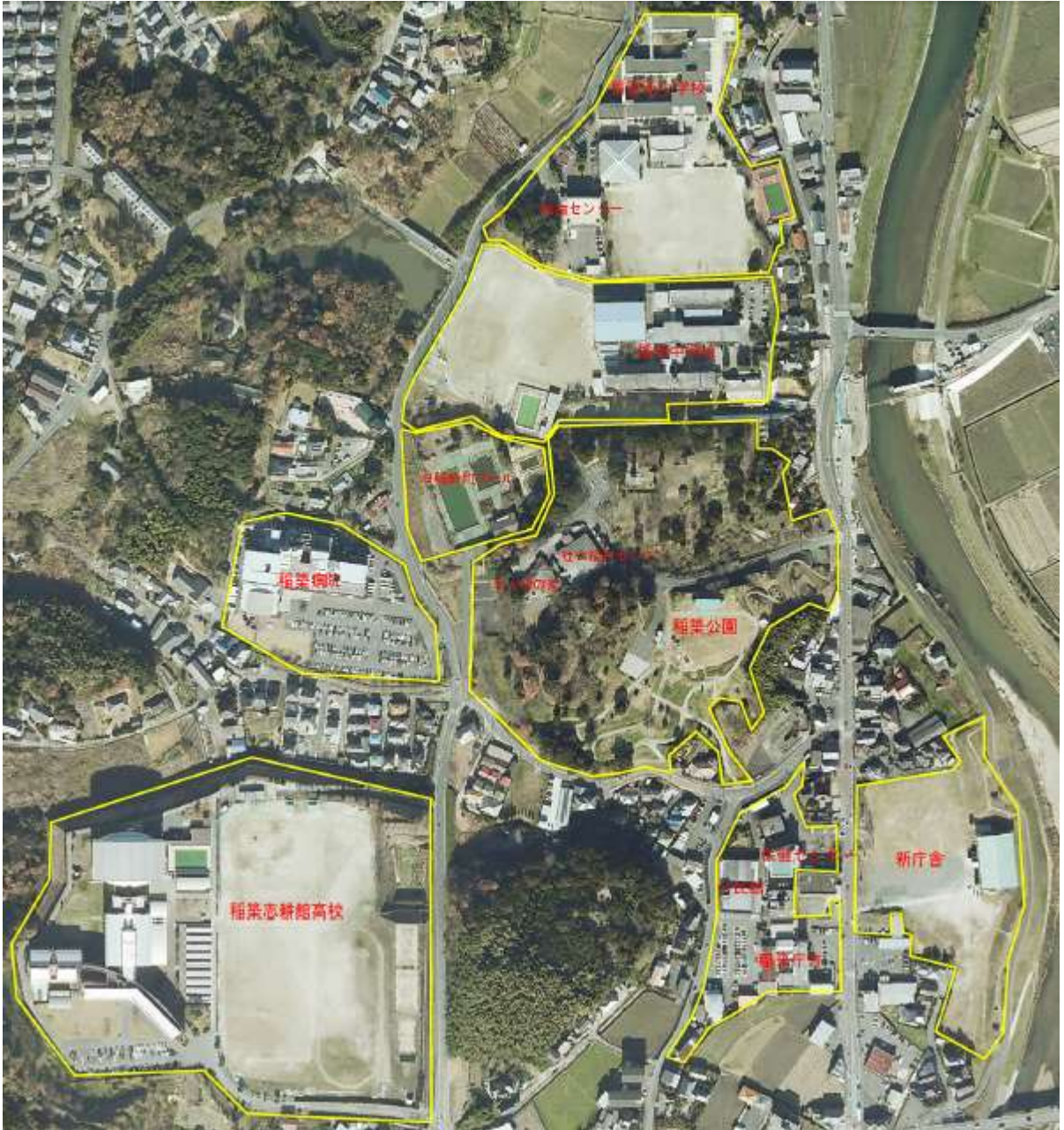
◇地域整備対象区画

黄色枠の部分で検討することを了承

赤枠については公民館基本計画で協議中、⑤⑥に他団体の建物があり、平成46年度までの借地契約のため協議対象外。

稲築地域整備協議会

地域整備



◇庁舎跡地

民間への公募（一体的な整備ができないか）

◇その他

民間事業者施設（N T T）は中央部にあり、移設等何らかの対応ができないか？

除却施設（貸出等の対象者（特に社会福祉協議会）の行先などを検討し、各活動に支障がないよう取り組んでほしい。

調理場は利用されているので、公民館整備の中で検討すること。

稲築保健センター：そのまま利活用

碓井地域整備協議会

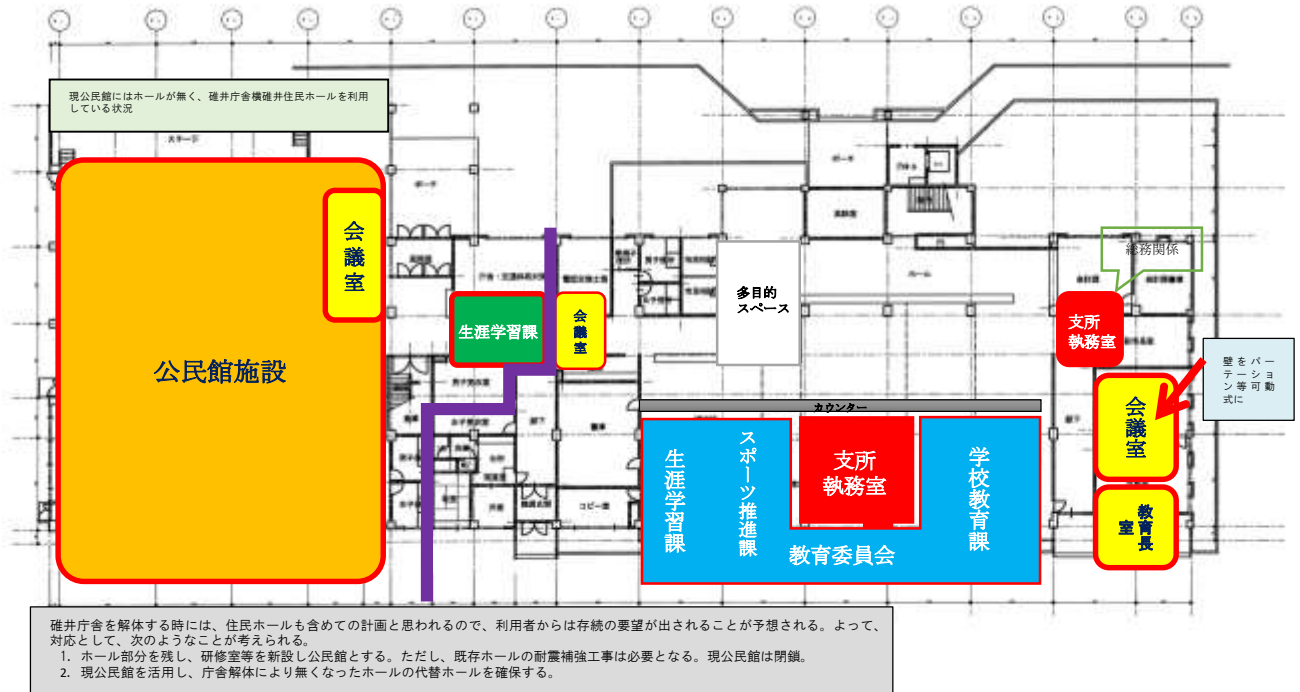
支所について

【碓井 地域整備協議会の議論の状況報告】

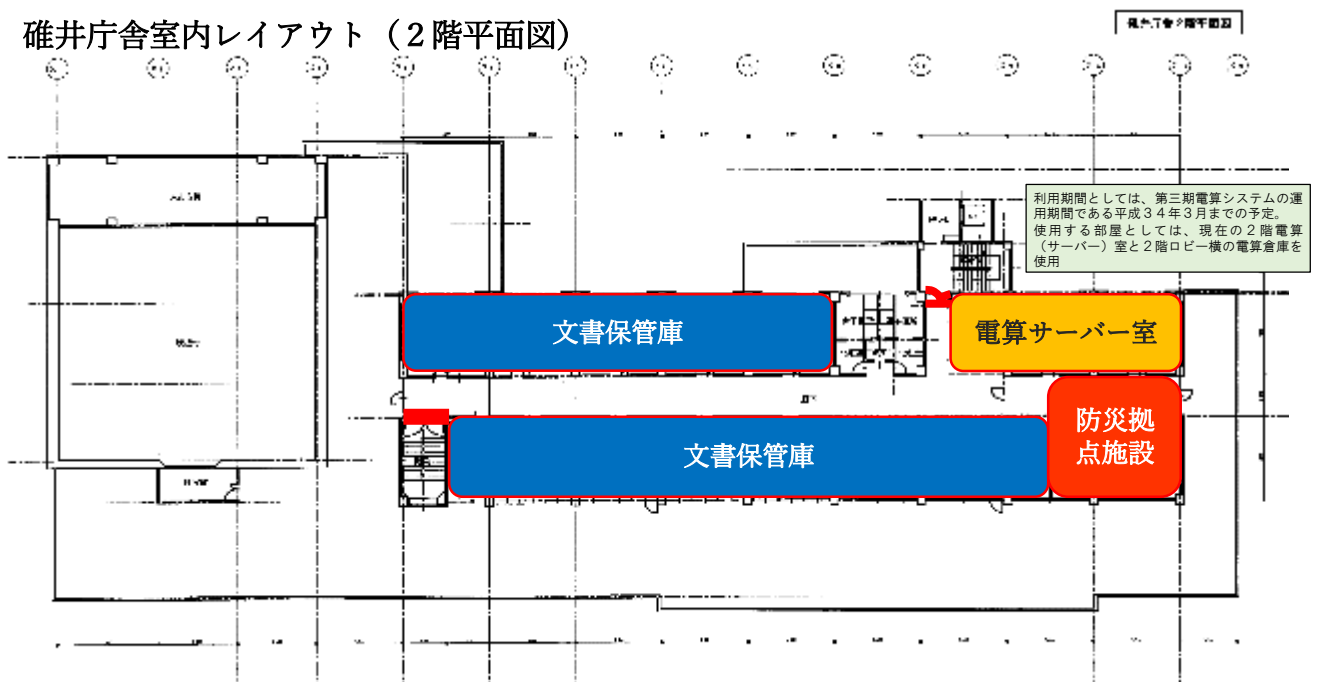
◇現庁舎・・・ 原案とおりで異論なし

・碓井庁舎が老朽化した後も、山田地域、嘉穂地域と同程度の支所設置を要望。

碓井庁舎室内レイアウト（1階）



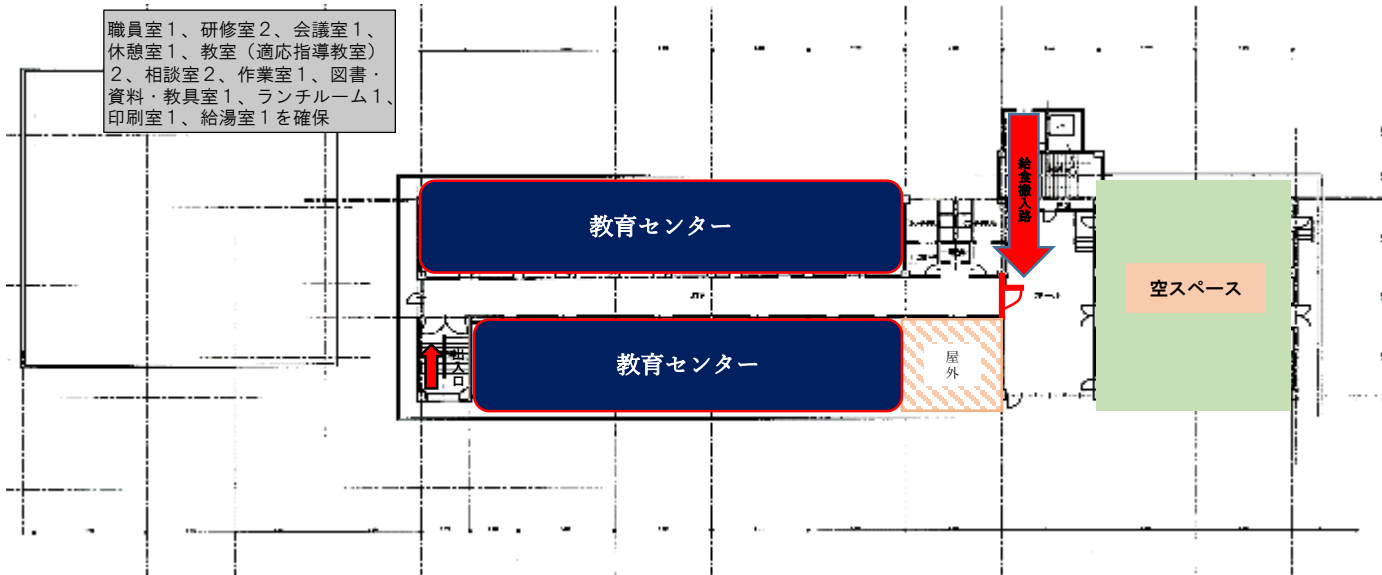
碓井庁舎室内レイアウト（2階平面図）



碓井地域整備協議会

支所について

碓井庁舎室内レイアウト（3階平面図）



◇庁舎前面敷地

食事できる場所、遊ぶ場所（遊具付き芝生広場）などの意見がでている状況

- ・ 個人事務所の借地、母子健康センターの取り扱い。
- ・ 道の駅から美術館までに回遊性のある一体的な整備が望まれる。
- ・ 意見がたくさん出ているため、採用、不採用に拘らず大切に扱ってほしい。



嘉穂地域整備協議会

支所のあり方

- ◇支所整備・・・①嘉穂庁舎跡に設置、②夢サイトかほの敷地に設置、③夢サイトかほ内に設置 で意見がでている状況。
各メリット・デメリット等の比較資料を要求し、次回協議し、方向性を定める。
(※嘉穂地域においては、1回程度の追加協議を行う可能性あり。)



新庁舎建築概要（現状報告）

(1) 新庁舎事業費（※平成28年3月予算資料より）

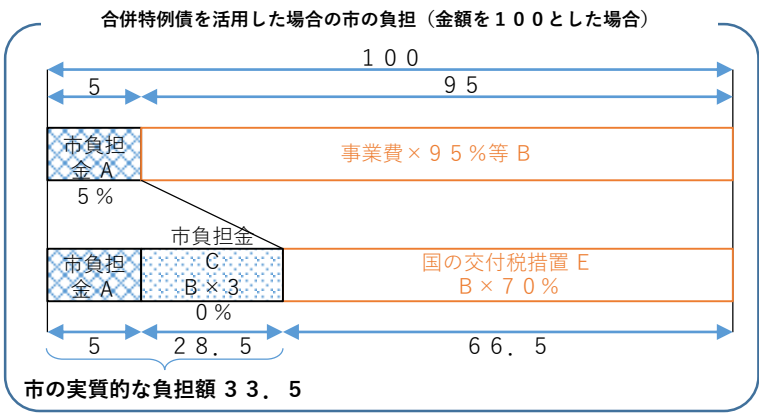
- ①構造:RC5階程度、免震構造
- ②延床面積:9,000㎡
- ③予算算定条件:設計費、施工費、施工監理費
- ④施工範囲:本体建築、浄化槽、外構
- ⑤事業年度:平成28～31年度（継続費）※平成28年3月継続費議決

※設計に際し、インフラ途絶時の事業継続日数については、次のとおり設定する。

新庁舎設計に関するBCP（事業継続計画）
電力： 3日間
上水： 7日間
排水： 7日間
LPガス： 3日間

（単位:千円）

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計
測量、調査、設計費	62,096	106,594	0	2,073	0	170,763
施工費	0	0	1,681,350	2,043,416	0	3,724,766
施工監理費	0	0	29,670	29,670	0	59,340
計	62,096	106,594	1,711,020	2,075,159	0	3,954,869



各地域現庁舎に関する予算

(1) 支所整備事業費

- ①碓井地域：現庁舎（3,305㎡）の耐震補強工事
- ②地域整備事業

平成28年度

碓井庁舎耐震補強工事 54,859千円 決算見込み

平成29年度

地域整備に関する予算 19,193千円 当初予算

内訳 地域整備協議会関係 4,526千円

計画作成委託業務 14,667千円

各地域現庁舎に関する見込み額

(1) 支所整備事業費

- ①山田地域：RC（鉄筋コンクリート）平家建 延床面積：500㎡を想定 現庁舎（5,302㎡）は除却
- ②嘉穂地域：RC（鉄筋コンクリート）平家建 延床面積：500㎡を想定 現庁舎（2,690㎡）は除却
- ③碓井地域：現庁舎（3,305㎡）の大規模改修
- ④稲築地域：現庁舎（3,129㎡）除却

平成30年度以降（※合併特例債が使える平成32年度までに以下の項目を終了させないと以下の見込金額が全て市の負担額となる。）

- 支所設計（2箇所）見込額 10,000千円程度
- 支所設置（2箇所）見込額 240,000千円程度
- 庁舎除却（3か所）見込額 334,000千円程度
- 庁舎改修（碓井）見込額 改修内容により決定

平成33年度以降 未定

支所の規模及び機能について

(1) 支所の配置人員及び規模

山田地区、嘉穂地区、碓井地区に支所を設置し、支所別に1課2係制とし、職員15人程度（嘱託臨時職員を含む）の配置を基本とします。

支所の規模については、職員の執務室、期日前投票や各公共的団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設をイメージし、500㎡程度の建物を整備することで検討します。

(2) 支所業務の基本的な考え方

諸証明の発行や簡易な申請及び相談に関する事務にとどまらず、期日前投票の実施や地域振興・コミュニティ拠点としての機能を有するものとします。

(3) 防災拠点施設としての位置づけ

災害の発生に伴い、本庁に災害対策本部が設置された場合、各支所においては所管区域内の防災拠点の役割を担う地域対策支部として地域防災計画に位置づけられます。

地域対策支部は、被害状況の把握や避難状況等の災害情報を災害対策本部に連絡し、連携を取りながら補完的な活動を行うものとし、その機能を発揮できるよう、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保することができる構造とします。

地域整備の方向性（拠点整備）

9. 地域整備の基本計画（骨子案）の概要及び協議スケジュール

※ 第2次嘉穂市総合計画基本構想より

【碓井地域】

●行政機能拠点（新市会周辺、碓井地区）
嘉穂市役所第2庁舎をはじめ、公民館や保健センター等の行政機能が立地しています。今後は嘉穂市役所本庁舎の建設が予定されており、新たな拠点として整備していく必要があります。
このため、本拠点は管轄官公署との連携による行政機能の拠点としての役割を担います。



【碓井地域】

●教育文化・商業振興拠点（碓井総合公園、碓井地区）
碓井公園、碓井平和記念館、碓井都立公園、碓井共同公園等からなる複合文化施設をはじめ、市歴史館等の教育文化施設が立地するとともに、道の駅等といった商業振興施設が立地しています。
このため、本拠点は教育文化と商業の先進的な振興を図ります。



【嘉穂地域】

●観光・定住促進拠点（嘉穂市会館、嘉穂地区）
嘉穂市会館、嘉穂市会館、嘉穂市会館といった歴史文化を伝える施設や市会館をはじめ、嘉穂市の観光施設が国道211号沿道に多く立地しています。
このため、本拠点は歴史文化や観光や自然を活かした観光を振興していくとともに、住みよい環境を創出して定住化の促進を図ります。



【山田地域】



●子育て・定住促進拠点（山田市会館、山田地区）
市民の交流・レクリエーション、福祉施設としての役割を担う山田市会館をはじめ、山田市会館、山田市会館等の施設が多く立地しています。また、子育て支援施設、中学校、病院等の施設も多く集積していることから、子育てや福祉面において優れる環境を有しています。
このため、本拠点は子育てしやすい環境を創出した子育て環境の整備や定住化の促進を図ります。

【地域整備の協議スケジュール】

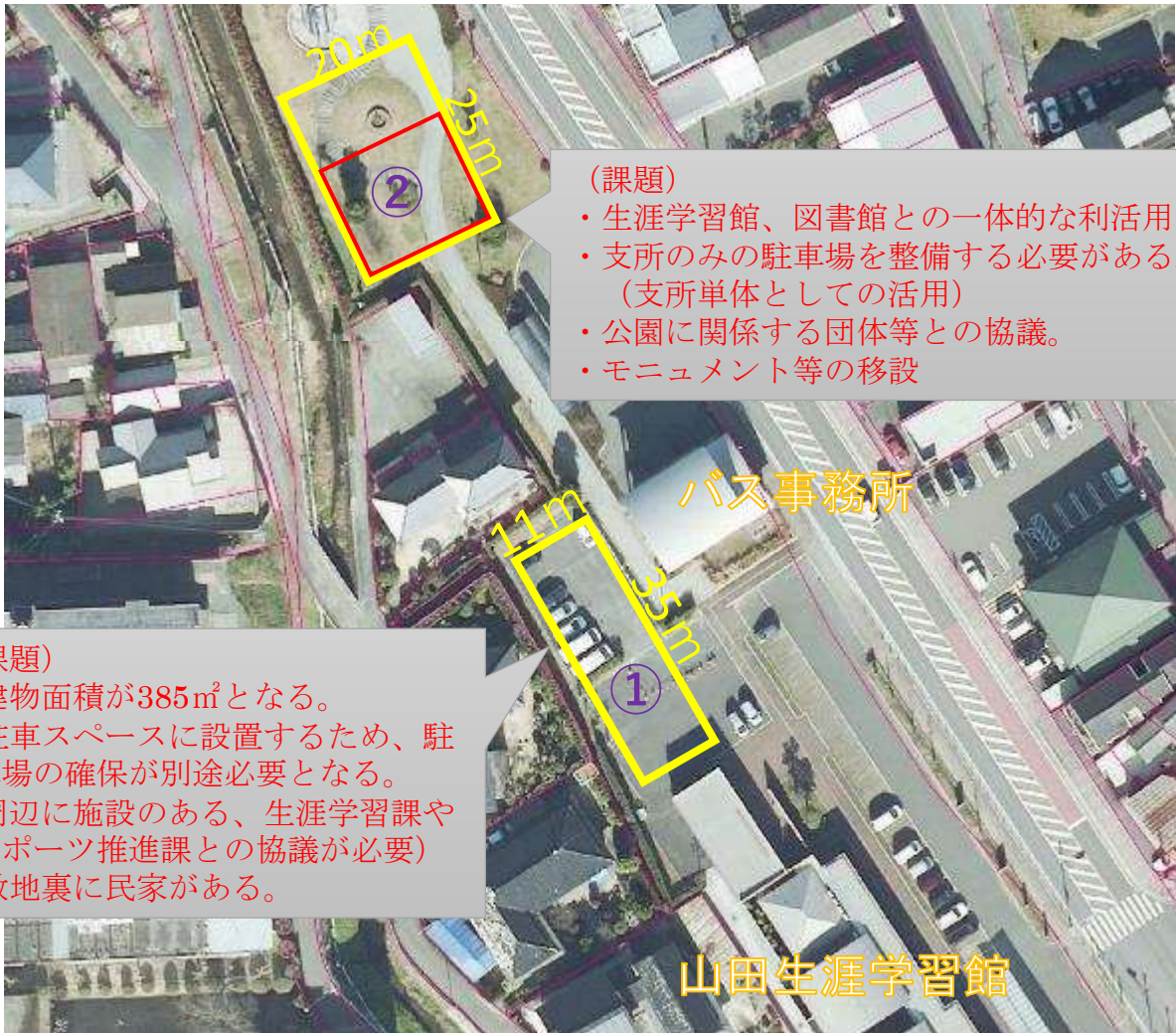
平成29年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	備考
各種協議会 協議会	協議（協議会として7月報告予定）				協議が終わり次第協議会の午後に終了するため、早い時期に終了し協議会もある。
連絡調整 委員会	連絡調整委員会（4月予定）				各協議会からの報告を受けた委員は、全ての協議会が終了するまで事務を継続する。
嘉穂市 市民説明会	説明会	説明会（2回）			基本計画策定

支所の位置

【山田地域整備協議会の議論の状況】

①の位置に設置の方向で概ね決定。（①と②で比較検討を行う。）

- ・生涯学習館と相互に連携使用し、可能な限りコンパクトに設置することで了承。
- ・生涯学習館の利用状況等の資料を参考にしながら支所機能を検討する。
- ・駐車場についての検討を行うこと。



(課題)

- ・生涯学習館、図書館との一体的な利活用が困難。
- ・支所のみの駐車場を整備する必要がある。
(支所単体としての活用)
- ・公園に関する団体等との協議。
- ・モニュメント等の移設

(課題)

- ・建物面積が385㎡となる。
- ・駐車スペースに設置するため、駐車場の確保が別途必要となる。
(周辺に施設のある、生涯学習課やスポーツ推進課との協議が必要)
- ・敷地裏に民家がある。

山田生涯学習館基本情報

開館時間：午前9時から午後10時まで

会議室：視聴覚室、第1～4研修室、和室、市民ギャラリー

(第1、第2研修室は可動式の仕切り有、(合計99㎡))

第3研修室は男女共同参画推進課が使用中)

利用者：平成28年度利用者数490団体10,248人

(月30団体～50団体、850人前後が使用)

駐車場：70台分(図書館側50台、学習館側20台(身障者用2台含む))

建設見込額等

面積385㎡の場合	9,240万円	アスファルト除去約30万円
面積500㎡の場合	1億2,000万円	モニュメント等除去費用
		駐車場設置費用約90万円

支所の位置及び具体的な機能

建設比較

【サワラテ緑道公園内に支所を設置する場合の金額】

生涯学習館と隣接しないため、来客用の駐車場が必要となる。

⇒支所の前に駐車場を整備した場合、1台当たり25㎡で仮定すると10台分で250㎡の舗装整備が必要となる。

- ・舗装整備費用 約90万円
- ・モニュメント等の撤去費用が想定される。



【生涯学習館内に支所を設置する場合の金額】

生涯学習館と隣接するため、来客用の駐車場を併用する。

⇒支所建設のための舗装撤去385㎡で計算。

- ・舗装撤去費用 約30万円

支所の位置及び具体的な機能

職員駐車場について

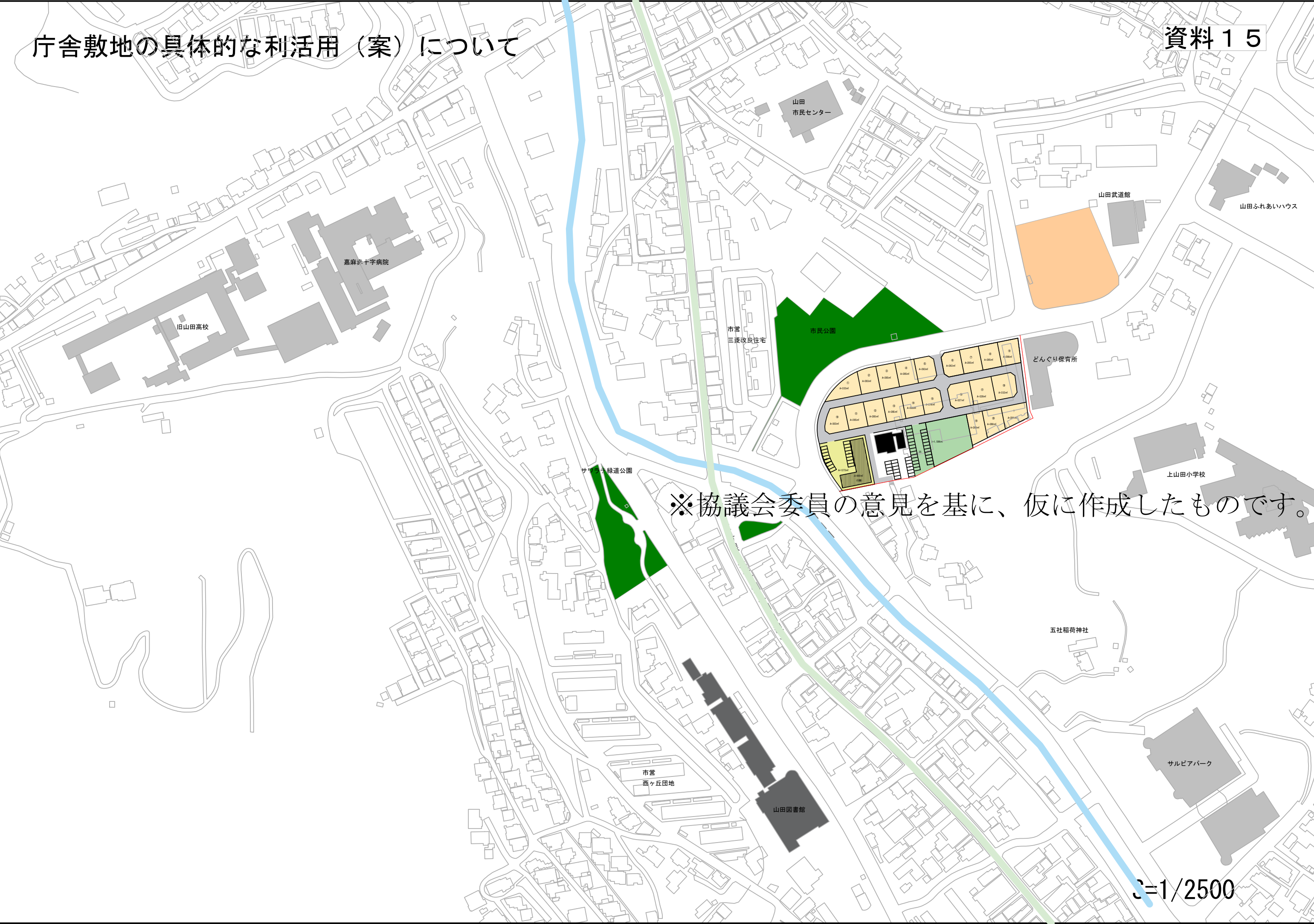
支所及び生涯学習館職員の駐車場として、サルビアパーク、上山田住民ホールの駐車場を活用することも視野に入れて検討。



具体的な機能

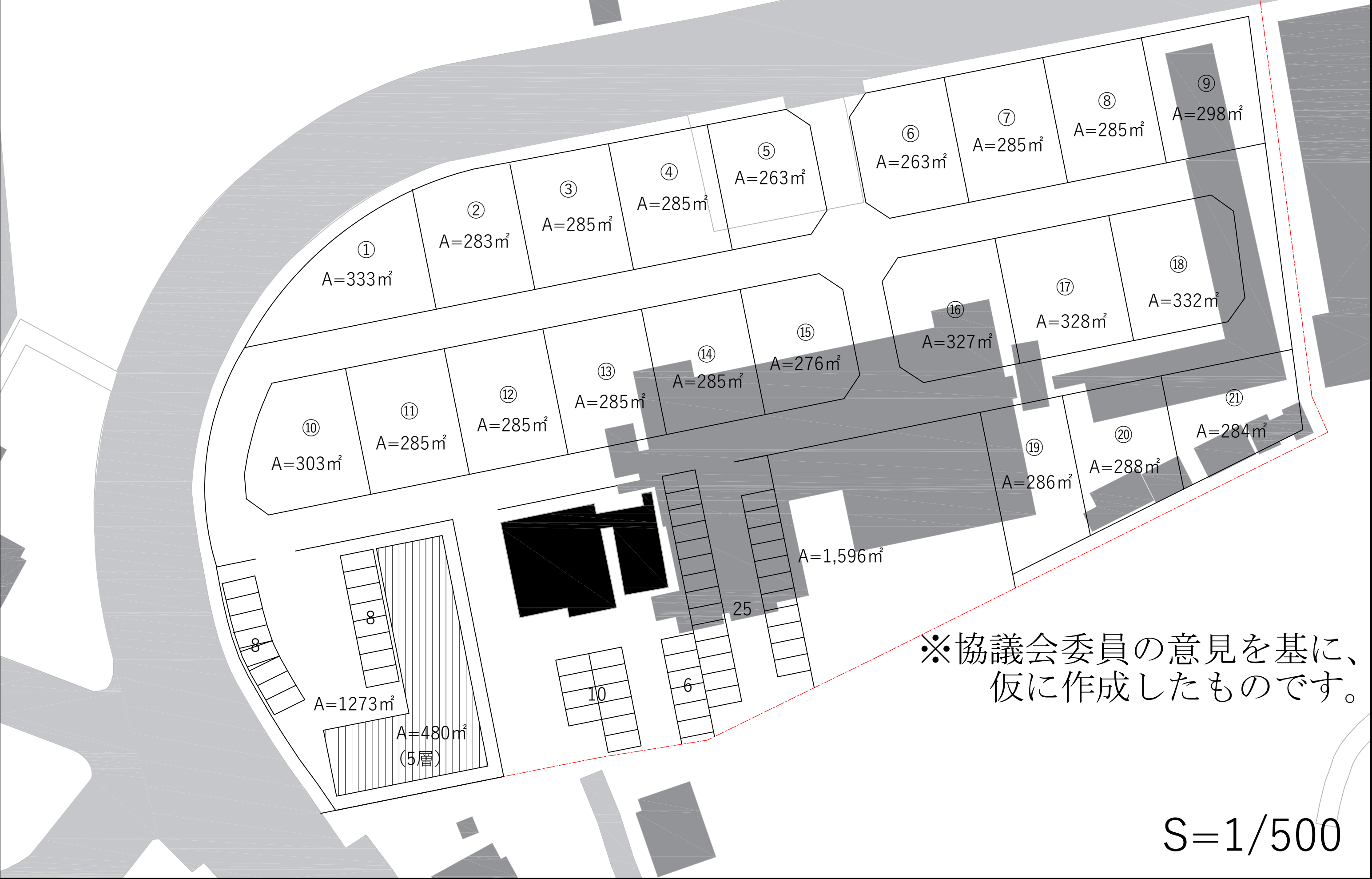
番号	名称	用途	備考
1	執務室	証明書の発行 会計事務 簡易な申請・相談 地域振興 コミュニティの拠点 情報収集伝達機能（防災）	1 課 2 係制 職員15人 50㎡
2	会議室	期日前投票 各公共的団体が使用	期日前投票のスペース12×6＝72㎡ （碓井、山田の会議室参考）
3	防災 スペース	防災資機材を置くことができる 物資備蓄機能	倉庫兼用
4	トイレ	市民、職員兼用	多目的トイレは生涯学習館内
5	給湯室 ロッカー室	職員使用	
6	玄関ホール	市民待合室	
7			

庁舎敷地の具体的な利活用（案）について



※協議会委員の意見を基に、仮に作成したものです。

山田庁舎敷地活用平面図（案）



山田庁舎敷地活用平面図（案）



山田庁舎利活用にかかる概算費用について

昭和49年建築の山田庁舎は至る所で経年劣化や雨漏りによる外壁の剥離、天井の破損箇所を目の当たりにすることができ、建物はもとより設備等の老朽化も進み維持管理費も増大している。耐震診断の結果（Is 値 0.82）については一般的な建物の耐震基準（Is 値 0.6 以上）を満たすものの、庁舎として必要な耐震基準（Is 値 0.9 以上）を下回っているため、除却、若しくは、支所庁舎とは別の利活用方法を模索する必要がある。

基本情報	
庁舎区分	山田庁舎
建築年	昭和49年
構造	本館 鉄筋コンクリート造 地上3階 搭屋1階 別館 鉄骨コンクリート造 地上2階
敷地面積	13,430 m ²
庁舎延床面積	5,302 m ²
経過年数	42年（平成28年末時点）
償却残余年数	平成32年度末時点で4年

山田庁舎を利活用する場合には、老朽化が激しいため施設の大規模改修が必要となるが、利活用内容と範囲により費用が大きく異なる。ここでは、利活用の方向性が定まっていないため、山田庁舎本館を全面改修し、事務所として利用できるような場合を想定する。その場合、大規模改修費は、約464,000千円が見込まれる。

また、行政機能として利用する場合、耐震補強が必要となり耐震補強工事費は、約234,000千円が見込まれ、総事業費として約698,000千円見込まれる。

ただし、大規模改修工事による建物が使用できる期間は一般的に15年程度である。しかし、建物の耐用年数は50年であり、平成32年度時点で償却残余年数が4年（平成36年度末で耐用年数が終了）となる山田庁舎の大規模改修工事を実施しても、15年使用できるかは不明である。（躯体の地耐力がなくなれば建物自体がもたない）大規模改修費に約464,000千円を使い、その後、更に約159,000千円の除却費用がかかることを考えると、除却が望ましい。

以下の表は概算費用の算出について表したものである。

＜概算費用の算出＞

工種の種類	設計監理費 (千円)	工事費 (千円)	合計 (千円)	備考
大規模改修	53,000	411,000	464,000	
耐震補強工事	27,000	207,000	234,000	
計	80,000	618,000	698,000	

※庁舎除却費用については、159,000千円を見込んでいる。

算出条件

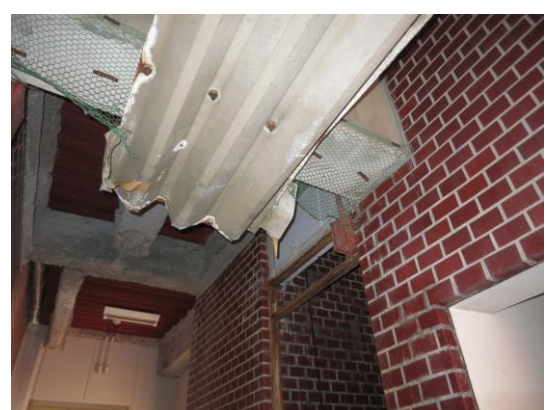
- 大規模改修の費用は、庁舎を事務所として利活用することを想定して設定。
- 山田庁舎本館の全面改修として設定。(昇降設備、躯体等は既存のものを利用)
- 面積は本館延床面積の4,111㎡にて算出。
- 大規模改修費用は100千円/㎡を見込む。(一般事務所の新設工事において、内装仕上、機械設備が全体の50%程度であることから)
- 耐震補強工事は、社会資本整備総合交付金の1㎡当りの施工単価に耐震補強工事に必要な面積を乗じて算出。

山田庁舎の経年劣化・破損状況について

平成 2 7 年時点



平成 2 9 年現在



新たな破損個所が発生。

平成29年12月1日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市山田地域整備協議会
会 長 村 上 曙 生

嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について（案）

平成29年6月30日付け、29嘉地第158号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本協議会において慎重に協議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、協議の資料等については、別添「協議会参考資料」の通りです。

記

【協議結果】

- 1 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
 - ・ 支所設置付近である山田生涯学習館や近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを目標に地域整備を行うこと。
 - ・ 子育て、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備を行うこと。
- 2 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること
 - (1) 整備方針について
 - ・ 山田庁舎については、建物の老朽化や耐震性を考慮し、除却することを前提とした活用を検討すること。
 - ・ 活用については民間譲渡区画として、分譲宅地や商業、高齢者施設等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図ること。
 - ・ 公募がなかった場合は、分譲宅地や多目的広場、高齢者用施設等を想定した整備等を検討すること。
 - (2) 支所のあり方について
 - ・ 支所は山田生涯学習館と連携できるよう、雨避けを設置するなど容易に行き交いできることや、多目的トイレを共用するなど相互に補完できる施設を検討すること。

- ・ 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員１５人（正規職員数は１０人）が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- ・ 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- ・ ユニバーサルデザインに準じた、市民の利用しやすい支所とすること。

3 その他附帯意見

- ・ 定住促進に向け、交通利便性の向上を図ること。
- ・ 支所設置の際は近隣住民に十分配慮すること。
- ・ 支所設置に伴い減少する駐車場については、周辺施設との連携活用を検討すること。
- ・ 旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。

【協議会経過及び開催状況】

(1) 第1回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年6月30日(金) 19:00～20:30

各地域整備協議会と合同会議を実施、その後嘉穂地域整備協議会を開催した。

<協議概要>

委員へ委嘱書の交付を行った。村上会長及び山藤副会長が選任された。
会長及び各委員に諮問を行い、スケジュールや協議内容の通知を行った。

(2) 第2回 嘉麻市山田地域整備協議会(合同視察)

日時 平成29年7月27日(木) 8:30～17:00

各地域整備協議会合同で熊本県玉名市に視察を行った。

<視察内容>

- ・玉名市文化センターで玉名市公共施設マネジメントの取組状況について説明を受け、質疑応答を行った。
- ・天水地域の視察。天水支所や公民館等を天水保健センターふれあい館へ機能移転する等の説明を受け、質疑応答を行った。
- ・横島地域の視察。横島支所、公民館、保健福祉センターが同一の敷地内に建設されており、現状についての説明を受け、質疑応答を行った。
- ・玉名市新庁舎の見学。議場で新庁舎建設の説明を受け、4階から1階まで下りながら各階の説明を受け、質疑応答を行った。

(3) 第3回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年8月4日(金) 19:00～20:50

<報告事項>

- ・第2回 嘉麻市地域整備協議会合同視察の報告。
- ・まちづくりの将来像に関する市民説明会の報告。

<協議事項>

- ・資料5について

⇒支所のあり方や機能について協議を行った。

- ・諮問について

⇒高齢者に目を向けた対応を検討してもいいのではないかといった意見や、山田のいいところを意識した跡地の利活用や、新しい山田らしさを見出したシナリオ作りが必要ではないかといった意見が出た。

(4) 第4回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年9月1日(金) 19:00～20:20

<協議事項>

- ・第1回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・支所の機能について協議を行った。

⇒平成39年度以降、碓井庁舎の将来についての協議や支所の防災機能拠点について協議を行った。

- ・碓井庁舎周辺地域の利活用について協議を行った。

⇒各委員から様々な意見の提案があったので、事務局で整理し次回検討を行う。

(5) 第5回 嘉麻市山田地域整備協議会

日時 平成29年10月6日(金) 19:00～19:45

<報告事項>

第2回 嘉麻市地域整備協議会連絡調整会議の報告。

<協議事項>

- ・第3回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・支所の位置及び具体的な利活用について協議を行った。

⇒協議会案は山田生涯学習館横に決定した。

⇒山田生涯学習館と連携できるような工夫をしてほしい。

- ・庁舎敷地の具体的な利活用(案)について

⇒庁舎敷地の利活用は民間活力を活用することで一致した。

(6) 第6回 嘉麻市山田地域整備協議会(予定)

日時 平成29年11月2日(木) 19:00～

<協議事項>

- ・第4回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

- ・嘉麻市地域整備基本計画(案)等に関する答申について(案)

(6) 第7回 嘉麻市山田地域整備協議会(予定)

日時 平成29年12月1日(金) 19:00～

<協議事項>

- ・第5回の会議録の承認について

⇒協議会内で承認された。

<答申>

- ・村上会長より市長へ答申が行われた。

【協議会委員名簿】

区 分	団 体 名	氏 名	備考
1 号委員	近畿大学産業理工学部	井 原 徹	
2 号委員	山田地区行政区長会	村 上 曙 生	会長
		山 藤 やす子	副会長
	嘉麻市教育委員会	佐 竹 正 利	
	嘉麻市 PTA 連合会	松 岡 広 樹	
	株式会社 福岡銀行	石 崎 聖 尚	
	嘉麻商工会議所	白 金 聖 臣	
	嘉麻市観光まちづくり協会	廣 瀬 公 彦	
	嘉麻市子ども会指導者連合会	伊 藤 文 聡	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	深 町 晴	
3 号委員	公募委員	古 賀 稲 子	
	公募委員	高 倉 香代子	